

令和4年度

学 校 要 覧



明るく元気で ねばり強く 思いやりのある児童生徒

沖縄県立 森 川 特 別 支 援 学 校

〒903-0128 沖縄県中頭郡西原町字森川151番地

TEL (098) 945-3008

FAX (098) 946-5567

<http://www.morikawa-sh.open.ed.jp/>

m a i l : school@morikawa-sh.open.ed.jp

校章のねがい



……人の和、協調を表す。



……人文字を表し、先の方は、それぞれ学校・病院・家庭の三者からの支援と学業を意味する。



……若葉、成長を表し、3枚の葉は、それぞれ3学部の生徒を表す。

「学校、病院、家庭の三者の支援、指導のもとに3学部の児童生徒は、すすくと成長していく」という意味。

学校案内図



目 次

I	学校の沿革	
1	設置学部	1
2	沿革	1
3	校地面積・建物面積	(割愛)
4	校舎配置図	(割愛)
	教室配置図	(割愛)
II	学校経営方針	
1	学校教育目標	1 0
2	目標の達成方針	1 0
3	本年度の重点目標	1 0
4	教育課程編成の基本方針	1 1
5	指導計画作成等に当たっての配慮事項	1 1
6	本校経営の基本構想図	1 2
III	各学部の教育課程	
1	小学部の教育課程（本校・病院内訪問学級）	1 3
2	中学部の教育課程（本校）	2 3
3	高等部の教育課程（本校）	3 5
4	中学部の教育課程（病院内訪問学級）	5 8
5	高等部の教育課程（病院内訪問学級）	6 9
6	週時程表	8 0
7	使用教科書一覧	8 4
	学校保健計画	8 7
	学校安全計画	8 8
IV	年間行事予定表	8 9
V	組織及び運営	
1	教職員組織	(割愛)
2	学校組織図	(割愛)
3	校務分掌	(割愛)
4	各種委員会	(割愛)
VI	児童生徒の実態	
1	在籍数と学級編制	1 0 0
2	病類別児童生徒数	1 0 1
3	高等部卒業生の進路状況	1 0 1
4	市町村別幼児児童生徒数	1 0 2
VII	学校防災計画	
1	基本方針	1 0 3
2	消火及び避難の実施	1 0 3
3	防火に対する日常の措置及び避難訓練の実施	1 0 3
4	長期休業中の防火管理	1 0 3
5	台風対策	1 0 3
6	防火計画	1 0 4
	火元取締責任者（校内管理）分担表	(割愛)
VIII	緊急時体制	
1	救急処置の意義と目標	1 0 7
2	緊急時連絡体制	1 0 7
3	緊急時の心得	1 0 8
4	本校児童生徒の予想される緊急事態	1 0 8
5	医療的ケアについて	1 0 8
IX	本校関係病院一覧表	1 0 9
X	職員一覧表	(割愛)

沖縄県立森川特別支援学校校歌

与那覇綾子／作詞

源 啓祐／作曲



み どり に は え る ま な び や は

5
あ さ な ゆ う な ー に と り の こ え

9
の ぞ み を だ い て あ つ ま っ た わ れ

13
ら も り か わ と く べ つ し え ん が っ こ う ね ば り づ

18
よ ー ー く ま な ぼ う よ

一
みどりに映える学び舎は

朝な夕なに鳥の声

希望を抱いて集まった

われら森川特別支援学校

ねばり強く学ぼうよ

二
花咲きかおる学び舎は

朝な夕なに語る夢

手に手をとって集まった

われら森川特別支援学校

明るく共に進もうよ

三
未来を開く学び舎は

朝な夕なに響く歌

明日を信じて集まった

われら森川特別支援学校

心豊かにはばたこう

I 学校の沿革

1 設置学部 小学部、中学部、高等部

2 沿革

昭和54	4・1・10	開校準備委員として指導主事 中地名吉 発令
	2・22	沖縄県立鏡が丘養護学校宜野湾分校として認可される。校長 平良銀永発令
	3・16	開校準備委員として教諭 仲栄真昭子 発令
	4・1	教頭真栄城徳仁着任
	4・3	分校管理棟としてプレハブ1棟（131.5㎡）完成
	4・17	県立那覇病院訪問学級開級式
	4・18	県立名護病院訪問学級開級式
	4・19	琉球大学保健学部附属病院訪問学級開級式
	4・20	県立中部病院訪問学級開級式
	4・27	県立鏡が丘養護学校宜野湾分校開校式並入学式举行（小学部14人、中学部10人）
	5・7	沖縄赤十字病院訪問学級開級式
	5・11	沖縄協同病院訪問学級開級式
	5・27	宜野湾分校PTA結成総会、初代会長仲村隆盛氏選出
昭和55	3・21	第1回卒業式並修了式举行（卒業生小学部3人、中学部4人）
	4・7	昭和55年度入学式並始業式举行（新入生小学部8人、中学部3人）
	5・1	学校基本調査 児童生徒数43名、教職員数26名
昭和56	3・30	第2回卒業式並修了式举行（卒業生小学部8人、中学部4人）
	4・7	昭和56年度入学式並始業式举行（新入生小学部3人、中学部6人）
	5・1	学校基本調査 児童生徒数45名、学級数18、教職員数28名
	4・25	那覇市立病院訪問学級開級式
昭和57	1・23	校地造成工事始まる
	3・20	第3回卒業式並修了式举行（小学部10人、中学部5人）
	4・1	教頭真栄城徳仁 大平養護学校へ転任
	5・1	学校基本調査 児童生徒数50名、18学級、教職員数30名
		教頭 嶺井幹史着任（教育センター指導主事から昇任）
	4・7	昭和57年度入学式並始業式举行（新入生小学部2人、中学部4人）
	4・16	校舎建築起工式
	7・6	県立南部病院訪問学級開級式
	12・9	新校舎へ移転
昭和58	3・23	第4回卒業式並修了式举行（卒業生小学部9人、中学部1人）
	4・1	校長金城順亮着任
	5・1	学校基本調査 児童生徒数53名、17学級、教職員数34名
	4・7	昭和58年度入学式並始業式举行
昭和59	3・24	第5回卒業式並修了式举行（卒業生小学部5人、中学部4人）
	4・1	独立開校により沖縄県立森川養護学校と校名を改める。 （昭和58年沖縄県条例31号）
		初代校長 当銘正幸着任（北城ろう学校から）事務長中村勢子着任（北城ろう学校）
	4・7	昭和59年度入学式並始業式举行
	5・1	学校基本調査 児童生徒数48名、18学級、教職員数39名
	5・16	開校式並びに独立校祝賀会举行
昭和60	3・23	第1回卒業式並修了式举行（卒業生小学部8人、中学部8人）
	4・8	昭和60年度入学式並始業式举行
	5・1	学校基本調査 児童生徒数49名、18学級、教職員数38名
昭和61	3・24	第2回卒業式並修了式举行（卒業生小学部4人、中学部3人）
	4・7	昭和61年度入学式並始業式举行
	5・1	学校基本調査 児童生徒数55名、18学級、教職員数40名
昭和62	3・24	第3回卒業式並修了式举行
	3・26	校門両側つつじ園造園
	3・31	研究紀要第1号発刊
昭和62	4・7	昭和62年度入学式並始業式举行
	5・1	学校基本調査 児童生徒数50名、18学級、教職員数41名
	11・24	九州地区病弱教育研究協議会沖縄大会開催、24日迄
昭和63	1・29	特別教室（理科室、図書室）着工
	3・24	第4回卒業式並修了式举行（卒業生小学部6人、中学部5人）
	4・1	第2代校長渡嘉敷通弘着任（古堅中より）
	4・7	昭和63年度入学式並始業式举行

	5・1	学校基本調査 児童生徒数52名, 18学級, 教職員数42名
平成元	10・14	高等部棟(高等部教室, 特別教室「音楽室, 視聴覚室, 家庭科教室, 美術・技術教室」) 中学部1教室増築着工
	12・8	校舎周辺にミカン類(13本)植樹
	3・24	第5回卒業式・修了式举行(卒業生小学部4人, 中学部7人)
	3・25	高等部棟竣工
	4・7	平成元年度入学式・始業式举行
	4・8	平成元年度高等部第一期生入学式举行(11人)
	5・1	学校基本調査 児童生徒数55名, 18学級, 教職員数50名
	5・17	高等部開設並びに校舎落成記念式典・祝賀会
平成2	12・11	つつじ園造成植え付け(玄関側・高等部棟玄関前)
	3・22	校章制定
	3・24	第6回卒業式並びに修了式(卒業生小学部7人, 中学部5人)
	3・31	校長渡嘉敷通弘定年退職 教頭大城勇一那覇養護学校へ転任(校長昇格)
	4・1	第3代校長 屋良朝輝着任(首里高等学校教頭から昇任) 教頭 親泊俊吉着任(沖縄盲学校教諭から昇任)
	4・7	平成2年度始業式並びに小学部・中学部入学式举行(小学部2人, 中学部5人)
	4・9	平成2年度高等部入学式举行(7人)
	5・1	学校基本調査 児童生徒数59名, 20学級, 教職員数55名
平成3	10・24	校歌制定(作詞 与那覇綾子, 作曲 源啓祐)
	3・27	学校旗樹立(デザイン 新垣輝夫)
	3・23	第7回卒業式並びに修了式(卒業生小学部1人, 中学部5人)
	3・28	特殊教育諸学校「花と緑と野鳥の住む学園」構想推進コンクール入賞(努力賞)
	4・1	事務長 村山勝信着任(西崎養護学校から)
	4・8	平成3年度始業式並びに小学部・中学部入学式举行(小学部2人, 中学部2人)
	4・9	平成3年度高等部入学式举行(5人)
	5・1	学校基本調査 児童生徒数58名(小18, 中17, 高23) 教職員数60名
平成4	12・2	中庭造成(「花と緑と野鳥の住む学園構想」推進)
	3・24	第8回小学部・中学部・卒業式並びに修了式举行(小学部5人, 中学部5人)
	4・7	平成4年度小学部・中学部入学式並びに始業式举行
	4・8	平成4年度高等部入学式
	5・1	学校基本調査 児童生徒数45名(小16, 中16, 高13) 19学級, 教職員数58
平成5	10・20	ブロンズ像制作(西村貞雄先生)
	12・2	県指定教育課程研究一年次発表会
	3・12	高等部第2回卒業式举行(卒業生6人)
	3・17	「花と緑と野鳥の住む学園」緑化コンクール優良賞受賞
	3・24	第9回小学部・中学部卒業式並びに修了式举行(卒業生小学部2人, 中学部4人)
	3・31	校長 屋良朝輝定年退職
	4・1	第4代校長崎山用豊着任(八重山養護学校・ラスパルマス日本人学校から)
	4・7	平成5年度始業式並びに小学部・中学部入学式(小学部2人, 中学部4人)
	4・8	平成5年度高等部入学式(4人)
	5・1	学校基本調査 児童生徒数41名(小17, 中14, 高10) 18学級, 教職員数56
平成6	12・3	平成4・5年度沖縄県教育委員会指定 特殊教育教育課程研究校研究発表会
	3・11	高等部第3回卒業式(5人)
	3・24	第10回小・中学部卒業式並びに修了式(卒業生小学部1人, 中学部3人)
	4・1	教頭 森屋耕一着任(那覇養護学校から)
	4・8	平成6年度小学部・中学部・高等部入学式(小1人, 中1人, 高3人)
	5・1	学校基本調査 児童生徒数40名(小20, 中12, 高8) 19学級, 教職員数55
平成7	6・26	第6回創立10周年記念大運動会 創立10周年記念式典並びに祝賀会
	2・10	県教育委員会指定グループ研究発表会
	3・10	高等部第4回卒業式(1人)
	3・24	第11回小学部・中学部卒業式並びに修了式(卒業生小学部5人, 中学部7人)
	4・1	第5代校長 銘苅愛子着任(県立教育センター特殊教育課長から昇任) 事務長 仲本逸子着任(沖縄ろう学校から)
	4・10	平成7年度小学部・中学部・高等部入学式(中学部5人, 高等部6人)
	5・1	学校基本調査 児童生徒数39名(小15, 中12, 高12) 22学級, 教職員数58
	6・16	文部省指定平成7・8年度学校週5日制研究推進校を受ける
平成8	11・21	第35回九州地区病弱虚弱教育研究協議会(沖縄大会)開催 22日迄 文部省初等中等教育局特殊教育課教科調査官 横田雅史 来校
	2・27	第5回沖縄県高等学校文芸誌コンクール(県高文連) 奨励賞 高等部文芸誌「紙風船」第2号

	3・2・2	第12回小学部・中学部卒業式並びに修了式 第5回高等部卒業式並びに修了式
	4・8	平成8年度小学部・中学部・高等部始業式
	4・9	平成8年度小学部・中学部・高等部入学式（中3人，高2人）
	5・1	学校基本調査 児童生徒数34名（小13，中10，高11）15学級，教職員数54
平成9	・2・1・8	第6回県高等学校文芸誌コンクール 優良賞「紙風船」第3号
	3・2・4	第13回小学部・中学部卒業式並びに修了式 第6回高等部卒業式並びに修了式
	4・1	校長銘苅愛子県立泡瀬養護学校へ転任 第6代校長仲田永太着任（県立教育センター特殊教育課長から昇任）
	4・8	平成9年度小学部・中学部・高等部入学式（小2人，中4人，高2人）
	5・1	学校基本調査 児童生徒数34名（小19，中15，高10）15学級，教職員数47
	1・1・5	平成8・9年度文部省指定「病気療養児の教育に関する調査研究」報告会
	1・1・2・2	第5回水のエッセイコンテスト 優秀賞 高等部1年 末吉玲子
平成10	・2・2・3	県高等学校文芸誌コンクール表彰式「紙風船」優良賞
	3・2・4	第14回小学部・中学部卒業式並びに修了式 第7回高等部卒業式並びに修了式
	4・1	通学生受け入れ実施 教頭 与那嶺順子着任（島尻養護学校から） 事務長 幸地愛子着任（西崎養護学校から）
	4・8	平成10年度小学部・中学部・高等部入学式（小1人，中1人，高2人）
	5・1	学校基本調査 児童生徒数38名（小19，中13，高6）18学級，教職員数50
	5・1・2	中頭病院訪問学級開級式
	1・1・6	全国高等学校文化連盟文芸コンクール 優良賞 高3 金城太亮 詩「水の天使」
	1・2・2	文部省指定インターネット利用実践地域指定事業 「インターネット利用推進協力校」研究発表会
平成11	・1・2・9	全国盲，ろう，養護学校文化祭 造形美術部門 種別会長賞 小4 西平直樹
	3・9	家庭科室側遊歩道整備
	3・2・4	第15回小学部，中学部卒業式並びに修了式 第8回高等部卒業式並びに修了式
	3・3・1	校長仲田永太定年退職，事務長幸地愛子勸奨退職
	4・1	第7代校長 宮城房枝着任（大平養護学校教頭から昇任） 事務長 伊佐光枝着任（大平養護学校から）
	4・7	平成11年度小学部・中学部・高等部始業式
	4・8	平成11年度小学部・中学部・高等部入学式（小1人，中2人，高4人）
	5・1	学校基本調査 児童生徒数36名（小20，中8，高8）16学級 教職員数52名
	1・2・1	文部省指定「マルチメディアを活用した補充指導の調査研究」発表
平成12	・1・2・8	全国文化連盟作品展書道の部優秀賞 中2年（琉大訪問）平良嘉章
	2・1・4	第38回書き初め展学校賞，金賞，銀賞各5名
	3・2・4	第16回中学部，第9回高等部卒業式並びに平成11年度修了式
	4・1	教頭 新城哲夫着任（美咲養護学校から）
	4・7	平成12年度小学部・中学部・高等部始業式並びに入学式（小1，高4）
	5・1	学校基本調査 児童生徒数31名（小13，中8，高10）15学級，教職員数55
平成13	・1・3・0	第7回全国盲・聾・養護学校文化祭・美術部門優秀賞 中学部3年 大城渉
	3・2・3	第17回小学部，中学部，第10回高等部卒業式並びに平成12年度修了式
	3・3・0	2階図書室前に避難用ピロティー増築，窯業室増築
	3・3・1	校長宮城房枝定年退職
	4・1	第8代校長 照屋盛順着任（宮古養護学校から） 事務長 知念節子着任（那覇養護学校から）
	4・9	第18回小学部・中学部，第11回高等部入学式（中6人，高1人）
	5・1	学校基本調査 児童生徒数36名（小13，中13，高10）16学級，教職員数56
	5・1・8	図書館側階段の安全ドア設置
	1・2・1・2	文部科学省指定「特色ある総合的な学習の時間の実施に関する研究」最終報告会
平成14	・1・2・9	第8回全国盲・聾・養護学校文化祭 書道の部 優秀賞 大城渉（高2）
	3・1・4	県立南部病院訪問学級閉級
	3・2・2	第18回小学部・中学部，第11回高等部卒業式（小1人，中3人，高4人）
	3・3・1	校長 照屋盛順定年退職
	4・1	第9代校長 仲松忠着任（桜野養護学校から）
	4・7	第19回小学部・中学部，第12回高等部入学式（中1人，高3人）
	5・1	学校基本調査児童生徒数28名（小11，中10，高7）15学級，教職員数53名
	7・2・2	校内ラン施工工事開始
	1・2・1・3	防蛇ネット工事完了
平成15	・3・2・4	第19回小学部・中学部，第12回高等部卒業式（小1人，中2人，高3人）
	4・1	教頭 重森誠司着任（泡瀬養護学校から）事務長
	4・7	第20回小学部・中学部，第13回高等部入学式（小3人，中1人，高3人）
	5・1	学校基本調査 児童生徒数36名（小19，中11，高6）17学級 職員数52
	1・0・2・2	九州地区病弱虚弱教育研究協議会沖縄大会開催「沖縄女性センター」24日迄

平成16・3・24 第20回小学部・中学部，第13回高等部卒業式（小1人，中7人，高1人）
 4・1 仲松忠校長転任（鏡が丘養護学校）第10代校長宮城進着任（高等養護学校から）
 4・7 第21回小学部・中学部，第14回高等部入学式（小3人，中1人，高7人）
 5・1 学校基本調査 児童生徒数35名（小17，中6，高12）17学級 職員数55
 9・21 進路講演会「自立生活と大学生活」卒業生 大城渉君
 11・14 第11回運動会
 平成17・2・22 創立20周年記念式典・祝賀会
 3・24 第21回小学部・中学部，第14回高等部卒業式
 4・1 教頭 新城哲夫着任（大平養護学校から）
 事務長 城間みね子着任（西原高等学校から昇任）
 4・7 第22回小学部・中学部，第15回高等部入学式（高等部3人）
 5・1 学校基本調査 児童生徒数37名（小19，中6，高12）18学級 職員数56
 10・4 高等部修学旅行（千葉二泊三日）
 10・24 高等部県内修学旅行（一泊二日）
 平成18・3・23 第15回高等部卒業式
 3・24 第22回小中学部卒業式（小4人・中4人・高1人）
 4・1 宮城進校長転任（教育庁副参事）新城哲夫教頭転任（那覇養護校長）
 第11代校長 森屋耕一着任（名護養護学校から）又吉幸子教頭（島尻養護学校）
 他，21名の新職員着任
 4・7 第23回小中学部，第16回高等部入学式（小4・中4・高1）
 4・10 学校給食開始
 5・1 学校基本調査 児童生徒数35名（小17・中8・高1）17学級 職員数48
 5・19 移転に伴う県立南部医療センター・こども医療センターの訪問学級開き
 平成19・2・22 校訓碑除幕式
 3・16 第16回高等部卒業式（卒業生6人）
 3・22 病院内訪問学級修了式・卒業式（卒業生1名）
 4・1 又吉幸子教頭転任（桜野養護学校長），城間みね子事務長転任（沖縄ろう学校）
 新垣伸次教頭着任（県教育庁から），伊志嶺勲事務長着任（中部商業高等学校から）
 他，13名の新職員着任
 4・9 第24回小中学部入学式（小2人・中3人）高等部入学生なし。
 4・10 中部病院内訪問学級入学式（中学部1名）
 こども医療センター院内訪問学級入学式（中学部1名）
 5・1 学校基本調査：小15名，中11名，高2名，計28名14学級，職員41名
 6・6 小学部プール学習（～10月）：サピリアティ浦添
 6・19 中高等部交流及び共同学習（カトリック中高等学校）
 6・20 平和講演会「沖縄からのメッセージ」講師：会沢芽美氏
 9・12 進路講話「なんくるないさー 希望に向かって」講師：吉野やよい氏
 10・1 高等部就業体験
 10・2 中学部修学旅行（福岡県2泊3日）
 10・16 中学部県内修学旅行（中・北部2泊3日）
 10・24 読書講演会「本の読み聞かせ・パレオシアター」講師：ちんなんの会
 11・11 第12回文化祭
 12・6 中学部2年達成度テスト
 12・19 県指定グループ研究発表会
 平成20・3・17 第17回高等部卒業式（卒業生1名）
 3・24 第24回小学部卒業式（卒業生2名）
 3・31 森屋耕一校長定年退職
 4・1 第12代校長岸本悦子着任（那覇国際高等学校から）
 4・7 第25回小中学部，第17回高等部入学式（小2名，中2名，高1名）
 5・1 学校基本調査 児童生徒数30名（小16・中11・高3）
 15学級 職員数42名
 6・18 平和講演会「忘れられない出来事」講師：金城ツル氏
 6・19 カトリック中高との交流学習会
 9・29 高等部就業体験（～10月3日）
 10・26 第13回運動会
 11・19 高等部修学旅行（～21日：京都・大阪）
 12・5 みんなのハートアート展（～11日：サンエー西原シティー）
 平成21・3・16 第18回高等部卒業式（卒業生2名）
 3・24 第25回小・中学部卒業式（卒業生・小1名，中2名）
 4・1 新垣伸次教頭転任（鏡が丘特別支援学校），
 伊志嶺勲事務長転任（那覇工業高等学校）
 金城馨教頭着任（島尻特別支援学校から），津波守彦事務長着任（那覇国際高等学

		校から) 他, 18名新職員着任
	4・7	第26回小中学部・第18回高等部入学式(中2名, 高1名)
	5・1	学校基本調査 児童生徒数32名(小19名, 中8名, 高5名)
	5・13	プール学習(～10月): サンアビリティ浦添
	5・23	高等部進路学習会, 講師: 當間恵子
	6・17	平和講演会「子どもの目で見た沖縄の戦場」講師: 崎山トミ子
	10・14	読書フェスタ講演会 講師: 朗読会「道」
	11・1	第13回文化祭
	12・9	みんなのハートアート展: サンエー西原シティー
平成22	・3・23	平成21年度各病院内訪問学級修了式
	3・24	第26回小・中学部卒業式(卒業生: 小1名, 中3名)
	4・7	第27回小中学部・第19回高等部入学式(小2名, 中1名, 高2名)
		平成22年度障害者雇用支援月間ポスター原画 厚生労働大臣賞受賞
	5・1	学校基本調査 児童生徒数33名(小18名, 中9名, 高6名)
	9・7	国際交流員交流会
	10・17	第14回運動会
	10・26	高等部就業体験
	12・6	みんなのハートアート展: サンエー西原シティー
	12・22	進路講話「自分の可能性を求めて」講師: 井上了充
平成23	・2・4	平成22年度沖縄県児童生徒等表彰 中学部・津波古陽介
	3・23	平成22年度各病院内訪問学級修了式
	3・24	第27回小学部・中学部卒業式(卒業生: 中2名)
	3・31	岸本悦子校長定年退職
	4・1	金城馨教頭転任(高等特別支援学校), 第13代校長盛山泰秀着任(久米島高等学校), 幸地英之教頭着任(県教育庁)
		他12名新職員着任
	4・7	第28回小中学部・第20回高等部入学式(小1名, 高2名)
	5・1	学校基本調査 児童生徒数29名(小13名, 中9名, 高7名)
	9・15	小学部修学旅行(～16日: 本島北部)
	9・27	中学部修学旅行(～29日: 福岡県)
	10・4	高等部修学旅行(～6日: 大阪府)
	10・30	第14回文化祭
	12・3	みんなのハートアート展: サンエー西原シティー
平成24	・3・16	第19回高等部卒業式(卒業生: 高1名)
	3・22	平成23年度各病院訪問学級修了式
	3・23	平成23年度小学部・中学部卒業式(卒業生: 小2名, 中2名)
	3・31	津波守彦事務長転任(美咲特別支援学校)
	4・1	知念豊事務長着任(久米島高等学校から)
	4・9	第29回小中学部・第21回高等部入学式(小2名, 中1名, 高2名)
	5・1	学校基本調査 児童生徒数29名(小17名, 中6名, 高6名)
	6・4	高等部就業体験(～14日)
	9・20	小学部宿泊学習(～21日)
	10・28	第15回運動会
	12・4	みんなのハートアート展: サンエー西原シティー
平成25	・3・15	第20回高等部卒業式
	3・21	病院訪問学級修了式
	3・22	第29回小・中学部卒業式 平成24年度小・中・高等部修了式
	3・31	盛山泰秀校長転任(陽明高等学校), 幸地英之教頭転任(桜野特別支援学校)
		知念豊事務長転任(浦添工業高等学校)
	4・1	第14代校長比嘉朝子着任(総合教育センター), 友利敏博教頭着任(県教育庁)
		前本薫事務長着任(南部工業高等学校)
	4・8	第30回小中学部・第22回高等部入学式(小1名, 中1名, 高1名)
	5・1	学校基本調査 児童生徒数24名(小12名, 中6名, 高6名)
	6・10	高等部就業体験(～14日)
	10・27	第15回文化祭
	12・4	みんなのハートアート展: サンエー西原シティー
平成26	・3・14	第21回高等部卒業式
	3・24	第30回小・中学部卒業式 平成25年度小・中・高等部修了式
	4・7	第31回小・中学部・第22回高等部入学式(小1名, 中1名, 高3名)
	5・1	学校基本調査 児童生徒数35名(小14名, 中15名, 高6名)
	6・9	キャリア教育推進週間(～13日)
	9・24	中学部修学旅行(～26日: 福岡県)

	10・19	第16回運動会
	12・2	みんなのハートアート展：サンエー西原シティー（～9日）
平成27	・2・7	全国特別支援学校文化祭 造形美術部門 最優秀賞 中学部 上原美桜
	3・13	第22回高等部卒業式
	3・24	第31回小・中学部卒業式 平成26年度小・中・高等部修了式
	3・31	比嘉朝子校長転任（県教育庁） 友利敏博教頭転任（那覇特別支援学校） 前本薫事務長転任（泊高等学校）
	4・1	第15代校長平田実着任（島尻特別支援学校） 平良浩希教頭着任（沖縄高等特別 支援学校） 上原和弘事務長着任（沖縄ろう学校）
	4・7	第32回小・中学部・第23回高等部入学式（小0名，中3名，高5名）
	5・1	学校基本調査 児童生徒数46名（小18名，中12名，高16名）
	6・8	キャリア教育推進週間（～12日）
	6・19	平和講演会 大城友弥さんを招いて平和コンサート
	9・15	中学部・高等部修学旅行（～18日：京都、大阪）
	10・18	第16回文化祭
	11・9	高等部インターンシップ体験（～13日）
平成28	・1・5	沖縄病院との渡り廊下撤去（122.35㎡）
	1・7	みんなのハートアート展：サンエー西原シティー（～14日）
	3・11	第23回高等部卒業式
	3・24	第32回小・中学部卒業式 平成27年度小・中・高等部修了式
	4・7	第33回小・中学部・第24回高等部入学式（小0名，中3名，高10名）
	5・1	学校基本調査 児童生徒数51名（小11名，中17名，高23名）
	6・17	平和講演会 新崎每子先生を招いて、平和お話し会
	9・14	中学部修学旅行（～16日：福岡）
	10・16	第17回運動会
	11・10	小学部修学旅行（～11日）
	11・15	高等部修学旅行（～18日：東京、千葉）
平成29	・1・17	みんなのHEART ART展（～24日：サンエー西原シティー店）
	1・26	県指定グループ研究報告会
	3・14	第24回高等部卒業式
	3・24	第33回小中学部卒業式
	3・31	平田実校長転任（那覇特別支援学校），平良浩希教頭転任（南風原高等支援学校） 上原和弘事務長転任（糸満高校）
	4・1	第16代校長又吉安一着任（沖縄ろう学校），池間千佳子教頭着任（西崎特別支援 学校），比嘉艶子事務長着任（泡瀬特別支援学校）
	4・7	第34回小・中学部・第25回高等部入学式（小0名，中8名，高3名）
	5・1	学校基本調査 児童生徒数 54名（小11名，中20名，高23名）
	6・22	平和講演会 謝花勇武さんを招いて平和コンサート
	9・26	高等部修学旅行（～29日：東京、千葉）
	10・22	第17回文化祭
	10・31	中学部修学旅行（～11月2日：福岡・大分）
	11・28	小学部宿泊学習（～29日）
平成30	・1・23	みんなのHEART ART展（～30日：サンエー西原シティー店）
	3・16	第25回高等部卒業式（高6名）
	3・22	第34回小中学部卒業式（小1名，中5名）
	4・9	第35回小・中学部・第26回高等部入学式（小0名，中1名，高5名）
	5・1	学校基本調査 児童生徒数 59名（小16名，中21名，高22名）
	6・19	平和週間（平和集会：崎原 真弓さん 他）
	10・21	第18回運動会『熱く 楽しく がんばる 友情と笑顔のベストマッチ』
	11・14	中学部2，3年生合同修学旅行（～16日／福岡県・大分県）
平成31	・1・16	みんなの HEART ART展（～1月22日／サンエー西原シティー店）
	1・23	高等部2，3年生合同修学旅行（～25日／大阪府）
	2・13	第2代校長渡嘉敷通弘先生瑞宝双光章叙勲伝達式
	3・15	第26回高等部卒業式（10名卒業）
	3・15	第35回小中学卒業式（小2名，中5名卒業）
	3・31	又吉安一校長転任（島尻特別支援学校），比嘉艶子事務長転任（沖縄盲学校）
	4・1	第17代校長友利敏博着任（はなさき特別支援学校），富里靖事務長着任（八重山 特別支援学校）
	4・8	第36回小・中学部・第27回高等部入学式（小1名，中4名，高4名）
令和元	・5・1	学校基本調査 児童生徒数 38名（小11名，中15名，高12名）

- 6・18 平和週間（平和集会：下地 輝明さん）
- 10・20 第18回文化祭
『響く！心の奥！心躍るステージ！成長しようぜ！嬉し 楽し おもしろ令和！ww』
- 12・18 高等部2，3年生合同修学旅行（～20日／東京都、千葉県）
- ・1・15 みんなの HEART ART展（～21日／サンエー西原シティ店）
- 3・10 第27回高等部卒業式（3名卒業）
- 3・23 第36回小学部・中学部卒業式（中7名卒業）
- 3・31 池間千佳子教頭転任（桜野特別支援学校）
- 4・1 嘉手納清教頭着任（鏡が丘特別支援学校浦添分校）
- 4・7 第37回小・中学部・第28回高等部入学式（小0名、中0名、高10名）
- 令和2・5・1 学校基本調査 児童生徒数30名（小1名、中11名、高18名）
- 12・10 ふれあい天文学「宇宙の大きさや銀河、宇宙人の話、すばる望遠鏡について」
- 12・15 文化庁芸術講演（管弦楽器5重奏）
- 1・13 みんなの HEART ART展（～19日／サンエー西原シティ店）
- 3・9 第28回高等部卒業式（4名卒業）
- 3・23 第37回小学部・中学部卒業式（中1名卒業）
- 3・31 校長友利敏博転任（泡瀬特別支援学校）、富里靖事務長退職
- 4・1 第18代校長新屋敷誠校長着任（はなさき特別支援学校）、上原周一事務長着任（はなさき特別支援学校）
- 4・7 第38回小・中学部・第29回高等部入学式（小0名、中1名、高0名）
- 令和3・5・1 学校基本調査 児童生徒数29名（小5名、中8名、高16名）
- 5・21 出前講座「障害特性」講師：下里 佳代子
- 6・15 第18回沖縄特P協議会定期総会（web）
- 6・18 全国特別支援学校校長研究協議会（web）
- 7・12 就業体験学習（～7／16）
- 7・14 アバター実証研修会（院内職員対象）
- 8・18 九病連：佐賀大会（～19日）
- 9・15 沖縄県特別支援学校中学部総合文化祭（～9／30：web）
- 11・2 校内研修「引きこもり問題からみた不登校について」
講師：県立総合精神保健福祉センター所長 宮城 治
- 11・11 中学部修学旅行：日帰り（～12日）
- 12・13 公開研修「子どもの心を支え心を育むための支援を考える」
講師：関西発達臨床研究所 所長 高橋 浩
- 令和4・1・12 ハートアート展（1／18） サンエー西原シティ店
- 3・17 第29回高等部卒業式
- 3・23 第38回小学部中学部卒業式
- 3・31 教頭 嘉手納 清（那覇特別支援学校）他16人教職員転任
- 4・1 教頭 仲本一郎（はなさき支援学校）他14人教職員着任

Ⅱ 学校経営方針

1 学校教育目標

病気や障害の状態及び発達段階に応じた適切な教育を施し、心身の調和的発達を促し、力強くたくましく生きる意志や態度を養い、病気や障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服し、自立し社会参加できる児童生徒を育成する。

本校の校訓		
明るく元気で	ねばり強く	思いやりのある児童生徒

2 目標の達成方針

病弱・身体虚弱教育を担う特別支援学校として、社会参加・自立へ向かうための自信と意欲を育み、社会の変化に主体的に向き合い関わりを持てる児童生徒の育成を目指して、医療機関・家庭・関係機関等との密な連携のもと、以下の方針で教育実践にのぞむ。

- (1) 社会参加・自立に向けて「何ができるようになるか」の視点のもと、個別的教育支援計画、個別の指導計画、個別の移行計画を作成し、個々のニーズに応じた教育の実践に努める。
- (2) 効果的に教育目標の達成がなされるよう、知識・技能を活用・発揮する活動を意識した授業作りに努める。
- (3) 病院内訪問学級で学ぶ児童生徒に対しては、原籍校への復帰に向けての学習の保障・心理的サポートに努める。
- (4) 「何ができるようになったか」の視点で教育活動の成果を捉え、評価に応じた授業及び教育課程の改善に取り組み、カリキュラムマネジメントの確立を図る。
- (5) 多様な教育ニーズに応じた教育が効果的に実践でき、児童生徒が安心して学習できるよう基礎的環境整備・合理的配慮・連続性のある多様な学びの場の保障等、教育体制・学習環境の整備に努める。
- (6) 保護者支援・連携へ取り組むとともに、病弱・身体虚弱教育及び特別支援教育全般における地域のセンター校としての役割を果たせるよう努める。

3 本年度の重点目標

(1) 豊かな学びのある学校づくり

- ① 人と関わる力、協働する力等、社会でより良く生きる力を身につけるため「自立活動」「道徳」「特別活動」の充実を図る。
- ② 学習の基盤となる資質・能力（言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等）や現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力の育成に向け、教科等横断的な学習の充実を目指し、「総合的な学習の時間」「総合的な探求の時間」の取り組みを深める。
- ③ 小・中・高の系統性のある「キャリア教育」を実践する。
- ④ ICT活用や授業におけるユニバーサルデザインを取り入れて、児童生徒の学びの深化・定着を図る。
- ⑤ 児童生徒のニーズに合わせた「交流及び共同学習」や他の特別支援学校との交流学习の充実を図る。
- ⑥ 自らの病気理解と健康管理について意識を高め、健康的な生活習慣の確立を図る。
- ⑦ 個に応じた継続的な学習の取り組みを通して、学習習慣を身に付け自信と意欲を育てる。

(2) 信頼される学校づくり

- ① 家庭との密な連携により、指導の目標の共有、児童生徒、保護者のニーズの把握に努める。
- ② 教育相談の充実、地域のニーズに応じた公開研修会の実施等により、センター的役割の充実に努める。
- ③ 家庭や地域、関係機関等との連携により教育・支援ニーズへの対応の充実を図る。
- ④ 学校に係る情報発信を積極的に行う。

(3) 教職員が主体的に働く学校づくり

- ① PDCAサイクルによる指導目標の達成に向け、アセスメント、授業、評価に関する資質向上を図る。
- ② チーム支援・連携により、児童生徒に関する情報及び指導方針の共有のもと、指導実践を行う。
- ③ 指導の充実に向けた取り組みが、個人やチーム等により主体的に行われるような組織づくりに努める。
- ④ 校内外の研修、県外研修への積極的参加と伝達報告会を通して、情報の共有及び資質向上に努める。
- ⑤ 評価システム(育成・評価記録書)・学校評価を通して、学校経営参画の意識の醸成と向上を図る。
- ⑥ 指導の専門性の向上の一環として、認定講習等により当該特別支援学校教諭免許状を取得する。

4 教育課程編成の基本方針

- (1) 児童生徒の人間として調和のとれた育成を目指し、その病気や障害の状態及び発達段階や特性等並びに地域の実態を十分考慮して適切な教育課程を編成する。
- (2) 児童生徒の「生きる力」をはぐくむことを目指し、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力をはぐくみ、主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かす教育の充実に努める。また、児童生徒の言語活動を充実させるとともに、家庭との連携を図りながら、学習習慣が確立するように配慮する。
- (3) 人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を生活の中に生かし、豊かな心を持ち、伝統と文化を尊重し、我が国と郷土を愛し、個性豊かな文化の創造を図るとともに、児童生徒が基本的な生活習慣、社会生活上の決まりを身につけ、善悪を判断し、人間としてしてはならないことをしないようにすることなどに配慮し育成する。
- (4) 学校の教育課程全般を通して、児童生徒が生涯を通じて健康・安全で活力のある生活を送るための基礎が培われるよう配慮し育成する。
- (5) 自立活動の指導は、病気や障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服し、自立し社会参加するための資質を養うため、学校の教育活動全体を通じて行うよう努める。
- (6) 法令及び新学習指導要領及び移行措置に対応し、小学部・中学部学習指導要領、高等部学習指導要領を踏まえて編成する。

5 指導計画作成等に当たっての配慮事項

学校の特性を考慮した上で、全体として調和の取れた具体的な教育課程・指導計画を作成する。

- (1) 各教科等及び各学年相互の関連を図り、系統的、発展的な指導ができるようにすること。
- (2) 児童生徒の実態や地域のニーズに応じ、その病気や障害の状態や発達段階を考慮しつつ、効果的、段階的に指導するようにすること。
- (3) 各教科の各学年の指導内容については、そのまとめ方や重点の置き方に適切な工夫を行うなど効果的に指導できるようにすること。
- (4) 児童生徒の実態等を考慮し、指導の効果を高めるため、合科的・関連的な指導を進めること。
- (5) 個々の児童生徒の実態を的確に把握し、個別の指導計画を作成し、計画に基づいて行われた学習の状況や結果を適切に評価し、指導の改善に努めること。
- (6) 児童生徒の経験を広めて積極的な態度を養い、社会性や豊かな人間性をはぐくむために、学校の教育活動全体を通して、各学校や地域等との交流及び共同学習を計画的、組織的に行うこと。
- (7) 個別指導を重視するとともに、授業形態や集団の構成の工夫、それぞれの教師の専門性を生かした指導などにより、学習活動が効果的に行われるようすること。
- (8) 必要に応じて専門の医師及びその他の専門家の指導・助言を求めて、学習効果を一層高めるようにすること。
- (9) 各教科等の指導に当たっては、児童生徒の思考力・判断力・表現力等をはぐくむ観点から、基礎的・基本的知識技能の活用を図る学習活動を重視するとともに、言語に対する関心や理解を深め、言語に関する能力の育成を図る上で、必要な言語環境を整え、児童生徒の言語活動を充実すること。
- (10) 各教科等の指導に当たっては、体験的な学習や問題解決的な学習を重視するとともに、児童生徒の興味・関心を生かし、自主的、自発的な学習が促されるように工夫すること。
- (11) 教師と児童生徒の信頼関係及び児童生徒の好ましい人間関係を育てるとともに児童生徒理解を深め、生徒指導の充実に努めること。また、児童生徒が自らの生き方を考え主体的に進路を選択することができるよう計画的、組織的なキャリア教育、進路指導を行うこと。その際には、関係機関との連携を十分に図るよう努めること。
- (12) 重複障害者のうち、障害の状態により特に必要がある場合には、自立活動を主として指導を行うことができるものとし、実情に応じた授業時数を適切に定めること。
- (13) 生きて働く知識・技能の習得など、新しい時代に求められる資質・能力の育成を目指し、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善や間接体験、疑似体験等を取り入れた指導方法の工夫に努めること。

6 本校経営の基本構想図

令和4年度 県立森川特別支援学校

国の施策	教育基本法(教育の目的) 教育は、人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を期して行なわれなければならない。 学校教育法(第8章特別支援教育) 第72条(抜粋) 障害者・病弱者に対して、小・中・高等学校に準ずる教育を施すとともに、障害による学習上または生活上の困難を克服し自立を図るために必要な知識技能を授けることを目的とする。 第74条(抜粋) 幼・小・中・高等学校の要請に応じて、障害等を有する幼児・児童生徒の教育に関し、必要な助言又は援助を行うよう努めるものとする。

沖縄県の学校教育における指導の努力点 ・確かな学力の育成 ・豊かな心の育成 ・健やかな体の育成 ・目的意識の高揚 ・基本的な生活習慣の確立 ・地域の自然・歴史・文化の重視	学 校 教 育 目 標 小学校・中学校並びに高等学校に準ずる教育を施し、心身の調和的発達を促し、力強くたくましく生きる意志や態度を養い、病気や障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服し、自立・社会参加できる児童生徒を育成する。	沖縄県の特別支援学校の努力事項の中から今年度の重点取組 ・教育課程の効果的な展開 ・学習指導の工夫・改善・充実 ・学校安全・防災教育の推進 ・キャリア教育の充実 ・自立活動の充実 ・情報教育の充実 ・交流及び共同学習の推進 ・生徒指導の充実
---	---	--

め ざ す 学 校 像 ・児童生徒と教職員が仲良く、元気に朗らかに学びあう学校 ・児童生徒個々のニーズに応じた教育が実践できる学校 ・安全・安心・安定した教育活動が実施できる学校 ・保護者や地域社会から親しまれ信頼される学校 ・医療機関等及び関係学校等との連携と協力が築ける学校	本 校 校 訓 明るく元気で ねばり強く 思いやりのある児童生徒 め ざ す 児 童 生 徒 像 ・明るく元気な児童生徒 ・ねばり強い児童生徒 ・思いやりのある児童生徒	め ざ す 教 職 員 像 ・病弱教育の担い手としての自覚と責任を持ち、専門性の向上に努める教職員 ・常に子供たちのために創意工夫を凝らし、指導・支援力の向上に努める教職員 ・相手の置かれた立場を想像して、物事を考える努力のできる教職員 ・自他の敬愛と協力を重んじ、明るく向上心のある職場作りに貢献できる教職員
--	---	---

小学部教育目標 (1)心豊かで思いやりのある子 (2)明るくみんなと協力しあえる子 (3)自己の体調を理解し、健康な生活を心がける子 (4)よく考え、進んで学習する子	中学部教育目標 (1)体調管理を図りながら、明るく強く希望を持って努力する生徒 (2)情操豊かで思いやりのある生徒 (3)自主的に学習に取り組み、ねばり強く問題解決に取り組む生徒 (4)他人と協力し積極的に自らの役割を果たす生徒	高等部教育目標 (1)広く豊かな心で互いを尊重し、協力し合える生徒 (2)自己の心身の状態や特性を理解し、自らの可能性を伸ばし、意欲を持って主体的に学ぶ生徒 (3)社会の一員としての自覚を持ち、積極的に社会参加できる生徒
---	--	---

学校経営上の基本方針	病弱・身体虚弱教育を担う特別支援学校として、社会参加・自立へ向かうための自信と意欲を育てる学校を目指し、医療機関・家庭・関係機関等との密な連携のもと、以下の方針で教育実践にのぞむ。 (1)社会参加・自立に向けて「何ができるようにするか」の視点のもと、個別的教育支援計画、個別の指導計画、個別の移行計画を作成し、個々のニーズに応じた教育の実践に努める。 (2)教育目標の効果的な達成に向け、知識・技能を活用・発揮する活動を意識した授業作りに努める。 (3)病院内訪問学級の児童生徒に対し、原籍校への復帰に向け、学習保障・心理的サポートに努める。 (4)「何ができるようになったか」の視点で教育活動の成果を捉え、評価に応じた授業及び教育課程の改善に取り組み、カリキュラムマネジメントの確立を図る。 (5)多様なニーズに応じた教育を効果的に実践でき、児童生徒が安心して学習できるよう基礎的環境整備・合理的配慮・連続性のある多様な学びの場の保障等、教育体制・学習環境の整備に努める。 (6)保護者支援・連携へ取り組むとともに、病弱・身体虚弱教育及び特別支援教育全般における地域のセンター校としての役割を果たせるよう努める。
-------------------	---

本年度の重点目標	(1)豊かな学びのある学校づくり ①人と関わる・協働する力等より良く生きる力を身につけるため「自立活動」「道徳」「特別活動」の充実を図る。 ②学習の基盤となる資質・能力（言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等）や現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力の育成に向け、「総合的な学習の時間」「総合的な探求の時間」の充実を図る。 ③小・中・高の系統性のある「キャリア教育」を実践する。 ④ICT活用や授業におけるユニバーサルデザインを取り入れて、学びの深化・定着を図る。 ⑤児童生徒のニーズに合わせた「交流及び共同学習」や地域と繋がる交流学習の充実を図る。 ⑥病気理解と健康管理について意識づけを行い、健康的な生活習慣の確立を図る。 ⑦個に応じた継続的な学習の取り組みを通して、学習習慣を身に付け自信と意欲を育てる。 (2)信頼される学校づくり・・・①教育相談の充実を図り、特別支援教育に関する地域ニーズに対応し貢献できるようにする。②家庭や地域との連携を図る。（保護者ゆんたく会の充実。地域資源や学習支援ボランティアの活用。）③心因性疾患に関する内容等、本校・地域のニーズに応じた公開研修会を実施する。④学校情報を広く発信する。 (3)教職員が主体的に働く学校づくり ①授業力向上。個別的教育支援計画・個別の指導計画をもとにして、個々のニーズに応じた教育実践を行う。 ②アセスメントに基づく個に応じた指導の徹底を図る。（心理検査等を活用し指導に役立てる。） ③カンファレンス・事例検討会への主体的参加とチーム支援・連携による指導実践を行う。 ④校内外の研修、県外研修への積極的参加と伝達報告会を通し、情報の共有及び資質向上に努める。 ⑤評価システム（育成・評価記録書）・学校評価を通して、学校経営参画の意識の醸成と向上を図る。 ⑥新たな時代のあるべき学校の姿を模索して、個人やチーム・組織が主体的に働ける組織づくりに取り組む。
-----------------	--

Ⅲ 各学部教育課程

1 小学部（本校・病院内訪問学級）

（1）小学部の教育目標

- ① 心豊かで思いやりのある子
- ② 明るくみんなと協力しあえる子
- ③ 自己の体調を理解し、健康な生活を心がける子
- ④ よく考え、進んで学習する子

（2）教育課程の編成方針

- ① 児童の実態を十分に把握し、教育内容を精選して、基礎的・基本的内容を押さえ、教科等横断的な視点に立った編成をする。
- ② 児童の実態を踏まえ、基本的生活習慣の確立を目指し、日常生活に生かせるように編成する。
- ③ 医療機関との連携を密にし、児童の病気や障害の状態に応じた効果的な指導が行えるように弾力的に編成する。
- ④ 重複障害児については、その発達段階に応じ弾力的に編成する。
- ⑤ 児童の実態や発達段階に応じて、コンピュータ等の情報機器に親しませ、情報教育の充実を図られるように編成する。
- ⑥ 本校・病院内訪問学級との交流、居住地校や地域等との交流及び共同学習を通して視野を広げ、社会性を養うように編成する。

（3）各教科、各領域の指導の重点

観点：（ア）知識および技能 （イ）思考力・判断力・表現力等 （ウ）学びに向かう力・人間性等

< I 課程 >

① 各教科

国 語

- （ア） 日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができる。
- （イ） 日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- （ウ） 言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

社 会

- （ア） 地域や我が国の国土の地理的環境、現代社会の仕組みや働き、地域や我が国の歴史や伝統と文化を通して社会生活について理解するとともに、様々な資料や調査活動を通して情報を適切に調べまとめる技能を身に付ける。
- （イ） 社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考えたり、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断したりする力、考えたことや選択・判断したことを適切に表現する力を養う。
- （ウ） 社会的事象について、よりよい社会を考え主体的に問題解決しようとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚、我が国の国土と歴史に対する愛情、我が国の将来を担う国民としての自覚、世界の国々の人々と共に生きていくことの大切さについての自覚などを養う。

算 数

- （ア） 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに、日常の事象を数理的に処理する技能を身に付ける。
- （イ） 日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり目的に応じて柔軟に表したりする力を養う。
- （ウ） 数学的活動の楽しさや数学のよさに気付き、学習を振り返ってよりよく問題解決しようとする態度、算数で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。

理 科

- (ア) 自然の事物・現象についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。
- (イ) 観察、実験などを行い、問題解決の力を養う。
- (ウ) 自然を愛する心情や主体的に問題解決しようとする態度を養う。

生 活

- (ア) 活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付ける。
- (イ) 身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、自分自身や自分の生活について考え、表現することができる。
- (ウ) 身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり生活を豊かにしたりしようとする態度を養う。

音 楽

- (ア) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な技能を身に付ける。
- (イ) 音楽表現を工夫することや、音楽を味わって聴くことができる。
- (ウ) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育むとともに、音楽に親しむ態度を養い、豊かな情操を培う。

図画工作

- (ア) 対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して理解するとともに、材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりする。
- (イ) 造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方などについて考え、創造的に発想や構想をしたり、作品などに対する自分の見方や感じ方を深めたりする。
- (ウ) つくりだす喜びを味わうとともに、感性を育み、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養い、豊かな情操を培う。

家 庭

- (ア) 家族や家庭、衣食住、消費や環境などについて、日常生活に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付ける。
- (イ) 日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。
- (ウ) 家庭生活を大切にすることや心情を育み、家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として、生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を養う。

体 育

- (ア) その特性に応じた各種の運動の行い方及び身近な生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な動きや技能を身に付ける。
- (イ) 運動や健康についての自己の課題を見付け、その解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- (ウ) 運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、楽しく明るい生活を営む態度を養う。

外国語

- (ア) 外国語の音声や文字、語彙、表現、文構造、言語の働きなどについて、日本語と外国語との違いに気付き、これらの知識を理解するとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付ける。
- (イ) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を推測しながら読んだり、語順を意識しながら書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。
- (ウ) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

② 道徳科

- ・ 自己の病気や障害を受け止め、前向きに改善・克服しようとする態度を養う。
- ・ 他者を尊重し、お互いに助け合い、認め合い、温かい心で接しようとする心情を養う。
- ・ 伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛する心を育てる。
- ・ 日常生活の中で道徳的な判断ができるようにし、強く明るく生きようとする態度を育てる。

③ 特別活動

- (ア) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付ける。
- (イ) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりする。
- (ウ) 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

④ 自立活動

- ・ 個の実態に応じ、運動や動作、ゲーム等の身体活動を通し身体機能の維持・活用を図る。
- ・ 情緒の安定と心身の健康の維持・改善を図り意欲的な生活態度を養う。
- ・ いろいろな活動を通して集団に参加できるようにし、コミュニケーションの基礎的能力を高める。
- ・ 医療機関や家庭と連携しながら、自分の病状を知り、自分の力で課題を解決しようとする態度を育てる。

⑤ 総合的な学習の時間

- (ア) 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解する。
- (イ) 実社会や実生活の中から問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現する。
- (ウ) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

⑥ 外国語活動

- (ア) 外国語を通して、言語や文化について体験的に理解を深め、日本語と外国語との音声の違い等に気付くとともに、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむ。
- (イ) 身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合う力の素地を養う。
- (ウ) 外国語を通して、言語やその背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

<Ⅱ課程A>特別支援学校学習指導要領 目標・内容の一覧2・3段階

<Ⅱ課程B>特別支援学校学習指導要領 目標・内容の一覧1段階

※Ⅱ課程A、Ⅱ課程B共に、各教科の指導の重点目標は同じとする。

① 各教科

生 活 (1～6年の知的障害特別支援学校代替)

- (ア) 活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気付くとともに、生活に必要な習慣や技能を身に付けるようにする。
- (イ) 自分自身や身の回りの生活のことや、身近な人々、社会及び自然と自分との関わりについて理解し、考えたことを表現することができるようにする。
- (ウ) 自分のことに取り組んだり、身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとしたりする態度を養う。

国 語

- (ア) 日常生活に必要な国語について、その特質を理解し使うことができるようにする。
- (イ) 日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を身に付け、思考力や想像力を養う。
- (ウ) 言葉で伝え合うよさを感じるとともに、言語感覚を養い、国語を大切にしてその能力の向上を図る態度を養う。

算 数

- (ア) 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などに気付き理解するとともに、日常の事象を数量や図形に注目して処理する技能を身に付けるようにする。
- (イ) 日常の事象の中から数量や図形を直感的に捉える力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などに気付き感じ取る力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり柔軟に表したりする力を養う。
- (ウ) 数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとする態度、算数で学んだことを学習や生活に活用しようとする態度を養う。

音 楽

- (ア) 曲名や曲想と音楽のつくりについて気付くとともに、感じたことを音楽表現するために必要な技能を身に付けるようにする。
- (イ) 感じたことを表現することや、曲や演奏の楽しさを見いだしながら、音や音楽の楽しさを味わって聴くことができるようにする。
- (ウ) 音や音楽に楽しく関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じるとともに、身の回りの様々な音楽に親しむ態度を養い、豊かな情操を培う。

図画工作

- (ア) 形や色などの造形的な視点に気付き、表したいことに合わせて材料や用具を使い、表し方を工夫してつくることができるようにする。
- (イ) 造形的なよさや美しさ、表したいことや表し方などについて考え、発想や構想をしたり、身の回りの作品などから自分の見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。
- (ウ) つくりだす喜びを味わうとともに、感性を育み、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養い、豊かな情操を培う。

体 育

- (ア) 遊びや基本的な運動の行い方及び身近な生活における健康について知るとともに、基本的な動きや健康な生活に必要な事柄を身に付けるようにする。
- (イ) 遊びや基本的な運動及び健康についての自分の課題に気付き、その解決に向けて自ら考え行動し、他者に伝える力を養う。
- (ウ) 遊びや基本的な運動に親しむことや健康の保持増進と体力の向上を目指し、楽しく明るい生活を営む態度を養う。

② 特別の教科 道徳科

- ・ 自己の病気や障害を受け止め、前向きに改善・克服しようとする態度を養う。
- ・ 他者を尊重し、お互いに助け合い、認め合い、温かい心で接しようとする心情を養う。
- ・ 伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛する心を育てる。
- ・ 日常生活の中で道徳的な判断ができるようにし、強く明るく生きようとする態度を育てる。

③ 特別活動

- (ア) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付ける。
- (イ) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができる。
- (ウ) 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

④ 自立活動

- ・ 体温の調節、覚醒と睡眠、食事、排泄、衣服の調節など、健康状態の維持・改善に必要な生活リズムを整え、生活習慣の形成及び心理的安定を図る。
- ・ 遊具やいろいろな素材の物に触れて、視覚・聴覚・触覚・嗅覚に刺激を与え、人や物への興味・関心を広げる。
- ・

⑤ 外国語活動（Ⅱ課程Aのみ）

- (ア) 外国語を用いた体験的な活動を通して、日本語と外国語の音声の違いなどに気付き、外国語の音声に慣れ親しむようにする。
- (イ) 身近で簡単な事柄について、外国語に触れ、自分の気持ちを伝え合う力の素地を養う。
- (ウ) 外国語を通して、外国の文化などに触れながら、言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

<Ⅲ課程>

① 自立活動

- ・ 体温の調節、覚醒と睡眠、食事、排泄、衣服の調節など、健康状態の維持・改善に必要な生活リズムを整え、生活習慣の形成及び心理的安定を図る。
- ・ 遊具やいろいろな素材の物に触れて、視覚・聴覚・触覚・嗅覚に刺激を与え、人や物への興味・関心を広げる。

② 各教科等を合わせた指導

日常生活の指導

- ・ 基本的生活習慣を身に付け、食事、衣服の調節など、健康状態の維持・改善を図る。
- ・ 諸活動（係の仕事、朝の会、帰りの会等）を通して、生活経験の拡大を図る。

（４）交流及び共同学習等の重点

- ① いろいろな交流を通して豊かな人間性を養う。（ICT 交流など）
- ② 病院内訪問学級や居住地校及び地域等とふれあいの中で生活経験を広げ、社会性を養う。
- ③ 互いに協力しあい、理解しようとする態度を大切にする。

（５）生徒指導の重点

- ① 保護者との連携を密にし、基本的生活習慣を養い、意欲的で明るい学校生活を送る。

（６）キャリア教育の重点

- ① 自分が好きなことを知る。
- ② 身近で働く人たちへ興味・関心を持ち、憧れている職業や将来の夢について考える。
- ③ 職場見学や情報機器の活用を通して働くことの大切さを知る。

（７）生涯学習への意欲を高める指導の重点

- ① 基礎的な知識及び技能を修得する態度を培う。
- ② 主体的に学習に取り組む態度を培う。
- ③ （低学年）学習した内容を活用して課題を解決する意欲を育む。
- ④ （高学年）学習した内容を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力を培う。

（８）ICT機器利活用の重点

- ① 基礎的な基本的な知識技能を用いて必要な情報を収集する能力を育てる。
- ② 著作権や情報社会でのルールを知り、自他を大事にする態度を育てる。
- ③ 情報モラル（危険回避など）を正しく理解し、ネットを安全に利用する態度を育てる。
- ④ 健康に気を使いながら、情報機器を活用していく態度を養う。
- ⑤ 簡単なプログラミング学習にふれることで、道筋を立て問題解決をしていこうとする素地を養う。

(9) 安全教育の重点

- ① 自己の障害の状態を理解し、事故を防ごうとする主体的な態度を養う。
- ② 登下校時の安全や校内の安全指導の充実を図る。
- ③ 療養生活及び家庭生活における安全指導を行う。
- ④ 校外学習や交流及び共同学習における安全指導を行う。
- ⑤ 災害時の危険について理解し、防災意識を高めるとともに、安全な行動の仕方を身につける。
- ⑥ 学校給食を通して、健全な食生活の実現及び健全な心身の成長を図る。

(10) 授業日数及び授業時数の配当

様式 2

① 年間授業日数配当表(本校：小学部)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
1 年	16	19	21	13	0	20	20	20	17	17	19	17	199
2 年	16	19	21	13	0	20	20	20	17	17	19	17	199
3 年	16	19	21	13	0	20	20	20	17	17	19	17	199
4 年	16	19	21	13	0	20	20	20	17	17	19	17	199
5 年	16	19	21	13	0	20	20	20	17	17	19	17	199
6 年	16	19	21	13	0	20	20	20	17	17	19	16	198

② 年間総授業時数の配当表

ア I 課程（準ずる教育課程・下学年適用の教育課程）

教科等		1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
各教科	国語	227	228	226	226	186	188
	社会			75	113	112	113
	算数	151	190	189	188	186	188
	理科			113	113	112	113
	生活	76	76				
	音楽	76	76	38	38	37	38
	図画工作	76	76	38	38	37	38
	家庭					37	38
	体育	76	76	38	38	37	38
	外国語					37	38
小計		682	722	717	754	781	792
道徳科		38	38	38	38	37	38
外国語活動				38	38		
総合的な学習の時間				38	38	37	38
特別活動		38	38	38	38	37	38
自立活動		188	188	187	186	188	184
小計		264	264	339	338	299	298
合計		946	986	1056	1092	1080	1090

※児童生徒の健康状態に応じて、短縮授業など授業時数を弾力的に扱えるように配慮する。

※道徳は、学校の教育活動全体の中で指導する。

様式 5

イ II 課程 A (知的障害特別支援学校代替の教育課程)

日：日常生活の指導 生：生活単元学習 遊：遊びの指導

		1年			2年			3年			4年			5年			6年		
		総 時数	教科別 の指導	合わせた 指導	総 時数	教科別 の指導	合わせた 指導	総 時数	教科別 の指導	合わせた 指導	総 時数	教科別 の指導	合わせた 指導	総 時数	教科別 の指導	合わせた 指導	総 時数	教科別 の指導	合わせた 指導
各教科	生活	416	416	0	417	417	0	415	415	0	414	414	0	410	410	0	413	413	0
	国語	76	76	0	76	76	0	113	113	0	113	113	0	112	112	0	113	113	0
	算数	38	38	0	76	76	0	75	75	0	113	113	0	112	112	0	113	113	0
	音楽	38	38	0	38	38	0	38	38	0	38	38	0	37	37	0	38	39	0
	図画工作	38	38	0	38	38	0	38	38	0	38	38	0	37	37	0	38	39	0
	体育	38	38	0	38	38	0	38	38	0	38	38	0	37	37	0	38	38	0
道徳科		38	38	0	38	38	0	38	38	0	38	38	0	37	37	0	38	38	0
外国語活動								38	38	0	38	38	0	37	37	0	38	38	0
特別活動		38	38	0	38	38	0	38	38	0	38	38	0	37	37	0	38	38	0
自立活動		226	226	0	227	227	0	225	225	0	224	224	0	224	224	0	223	220	0
合計	教科別の指導で行う時間	946			986			1056			1092			1080			1089		
	合わせた指導で行う時間	0			0			0			0			0			0		
総時数		946			986			1056			1092			1080			1090		
【指導形態】																			
日常生活の指導		0			0			0			0			0			0		
生活単元学習		0			0			0			0			0			0		
遊びの指導		0			0			0			0			0			0		
合計		0			0			0			0			0			0		

ウ II 課程 B (知的障害特別支援学校代替の教育課程)

日：日常生活の指導 生：生活単元学習 遊：遊びの指導

		1年			2年			3年			4年			5年			6年		
		総 時数	教科別 の指導	合わせた 指導	総 時数	教科別 の指導	合わせた 指導	総 時数	教科別 の指導	合わせた 指導	総 時数	教科別 の指導	合わせた 指導	総 時数	教科別 の指導	合わせた 指導	総 時数	教科別 の指導	合わせた 指導
各教科	生活	378	378	0	417	417	0	453	453	0	452	452	0	447	447	0	451	451	0
	国語	38	38	0	38	38	0	75	75	0	75	75	0	74	74	0	75	75	0
	算数	38	38	0	38	38	0	38	38	0	75	75	0	74	74	0	75	75	0
	音楽	76	76	0	76	76	0	75	75	0	75	75	0	74	74	0	75	75	0
	図画工作	76	76	0	76	76	0	75	75	0	75	75	0	74	74	0	75	75	0
	体育	38	38	0	38	38	0	38	38	0	38	38	0	37	37	0	38	38	0
道徳科		38	38	0	38	38	0	38	38	0	38	38	0	37	37	0	38	38	0
外国語活動								0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
特別活動		38	38	0	38	38	0	38	38	0	38	38	0	37	37	0	38	38	0
自立活動		226	226	0	227	227	0	226	226	0	226	226	0	226	226	0	225	225	0
合計	教科別の指導で行う時間	946			986			1056			1092			1080			1090		
	合わせた指導で行う時間	0			0			0			0			0			0		
総時数		946			986			1056			1092			1080			1090		
【指導形態】																			
日常生活の指導		0			0			0			0			0			0		
生活単元学習		0			0			0			0			0			0		
遊びの指導		0			0			0			0			0			0		
合計		0			0			0			0			0			0		

様式 5

エ III課程（自立活動を主とした教育課程）

日：日常生活の指導 生：生活単元学習 遊：遊びの指導

		1年			2年			3年			4年			5年			6年		
		総 時数	教科別 の指導	合わせた 指導	総 時数	教科別 の指導	合わせた 指導	総 時数	教科別 の指導	合わせた 指導	総 時数	教科別 の指導	合わせた 指導	総 時数	教科別 の指導	合わせた 指導	総 時数	教科別 の指導	合わせた 指導
各教科	生活	40		40 日 40 生 0 遊 0	40		40 日 40 生 0 遊 0	40		40 日 40 生 0 遊 0	40		40 日 40 生 0 遊 0	40		40 日 40 生 0 遊 0	40		40 日 40 生 0 遊 0
	国語	20		20 日 20 生 0 遊 0	20		20 日 20 生 0 遊 0	22		22 日 22 生 0 遊 0	22		22 日 22 生 0 遊 0	22		22 日 22 生 0 遊 0	22		22 日 22 生 0 遊 0
	算数	20		20 日 20 生 0 遊 0	20		20 日 20 生 0 遊 0	22		22 日 22 生 0 遊 0	22		22 日 22 生 0 遊 0	22		22 日 22 生 0 遊 0	22		22 日 22 生 0 遊 0
	音楽	30		30 日 30 生 0 遊 0	30		30 日 30 生 0 遊 0	22		22 日 22 生 0 遊 0	22		22 日 22 生 0 遊 0	22		22 日 22 生 0 遊 0	22		22 日 22 生 0 遊 0
	図画工作	20		20 日 20 生 0 遊 0	20		20 日 20 生 0 遊 0	22		22 日 22 生 0 遊 0	22		22 日 22 生 0 遊 0	22		22 日 22 生 0 遊 0	22		22 日 22 生 0 遊 0
	体育	20		20 日 20 生 0 遊 0	20		20 日 20 生 0 遊 0	22		22 日 22 生 0 遊 0	22		22 日 22 生 0 遊 0	20		20 日 20 生 0 遊 0	19		19 日 19 生 0 遊 0
道徳科		20		20 日 20 生 0 遊 0	20		20 日 20 生 0 遊 0	20		20 日 20 生 0 遊 0	19		19 日 19 生 0 遊 0	19		19 日 19 生 0 遊 0	19		19 日 19 生 0 遊 0
外国語活動								0		0 日 0 生 0 遊 0	0		0 日 0 生 0 遊 0	0		0 日 0 生 0 遊 0	0		0 日 0 生 0 遊 0
特別活動		20		20 日 20 生 0 遊 0	20		20 日 20 生 0 遊 0	20		20 日 20 生 0 遊 0	20		20 日 20 生 0 遊 0	20		20 日 20 生 0 遊 0	20		20 日 20 生 0 遊 0
自立活動		756	756	0 日 0 生 0 遊 0	796	796	0 日 0 生 0 遊 0	866	866	0 日 0 生 0 遊 0	903	903	0 日 0 生 0 遊 0	893	893	0 日 0 生 0 遊 0	904	904	0 日 0 生 0 遊 0
合計	教科別の指導で行う時数	756			796			866			903			893			904		
	合わせた指導で行う時数	190			190			190			189			187			186		
総時数		946			986			1056			1092			1080			1090		
【指導形態】																			
日常生活の指導		190			190			190			189			187			186		
生活単元学習		0			0			0			0			0			0		
遊びの指導		0			0			0			0			0			0		
合計		190			190			190			189			187			186		

(11) 特別活動の計画

様式 8

① 年間行事計画（本校：小学部）

学期	月日	曜日	行事名		時間配当						備考
			種類	事項	1年	2年	3年	4年	5年	6年	
一学期	4月7日	木	儀式的	1学期始業式		1	1	1	1	1	
	4月7日	木	儀式的	入学式	1	1	1	1	1	1	
	4月21日	木	健康安全・体育的	歯科検診	1	1	1	1	1	1	
	4月28日	木	旅行・集团的	遠足	6	6	6	6	6	6	
	5月12日	木	健康安全・体育的	眼科検診	1	1	1	1	1	1	
	5月18日	水	健康安全・体育的	火災避難訓練	1	1	1	1	1	1	
	6月14日	火	健康安全・体育的	内科検診	1	1	1	1	1	1	
	7月6日	水	健康安全・体育的	不審者対応訓練	1	1	1	1	1	1	
	7月20日	水	儀式的	1学期終業式	1	1	1	1	1	1	
	小計					13	14	14	14	14	14
学期	月日	曜日	行事名		時間配当						備考
			種類	事項	1年	2年	3年	4年	5年	6年	
二学期	9月1日	木	儀式的	2学期始業式	1	1	1	1	1	1	
	10月16日	日	健康安全・体育的	第19回運動会	4	4	4	4	4	4	
	10月26日	水	健康安全・体育的	総合避難訓練	1	1	1	1	1	1	
	12月8日～9日	木～金	旅行・集团的	宿泊学習					12		
	12月23日	金	儀式的	2学期終業式	1	1	1	1	1	1	
	小計					7	7	7	7	19	7
学期	月日	曜日	行事名		時間配当						備考
			種類	事項	1年	2年	3年	4年	5年	6年	
三学期	1月6日	金	儀式的	3学期始業式	1	1	1	1	1	1	
	3月17日	金	儀式的	高等部卒業式	2	2	2	2	2	2	
	3月23日	木	儀式的	小中学部卒業式	2	2	2	2	2	2	
	3月24日	金	儀式的	修了式・離任式	2	2	2	2	2		
	小計					7	7	7	7	7	5
合計					27	28	28	28	40	26	

様式 9

② その他の特別活動の計画

児童会活動年間予定時数

	学期	実施予定		時間配当					
		回数	内容（時数）	1年	2年	3年	4年	5年	6年
児童会活動	1学期	3	訪問職員顔合わせ会(1) 新入生歓迎会(1) 児童生徒総会(1)	3	3	3	3	3	3
	2学期	2	児童生徒会立候補者演説・投票(1) 児童生徒会新役員認証式、新旧役員交代式(1)	2	2	2	2	2	2
	3学期	0		0	0	0	0	0	0
	合計			5	5	5	5	5	5

2 中学部（本校）

(1) 中学部の教育目標

- ① 体調管理を図りながら、明るく強く希望を持って努力する生徒
- ② 情操豊かで思いやりのある生徒
- ③ 自主的に学習に取り組み、ねばり強く問題解決に取り組む生徒
- ④ 他人と協力し積極的に自らの役割を果たす生徒

(2) 教育課程の編成方針

- ① 生徒の障害の状態及び発達段階や特性等に応じて弾力的に編成する。
- ② 行事の精選や時間割の編成を考慮し、授業時数の確保に努める。
- ③ 特定の教科・領域に偏ることなく調和と統一のある教育課程を編成する。
- ④ 生徒の実態に応じてコンピュータ等の情報機器に親しみ、情報教育の充実が図られるよう編成する。
- ⑤ 重複障害学級については、個々の生徒の実態を十分考慮し、発達段階に応じて弾力的に編成する。
- ⑥ 病院内訪問学級や他の特別支援学校との交流や地域、他の普通学校との交流及び共同学習を通して視野を広げ、社会性を培えるよう編成する。

(3) 各教科等の指導の重点

観点：(ア) 知識および技能 (イ) 思考力・判断力・表現力等 (ウ) 学びに向かう力・人間性等

< I 課程 >

① 各教科

国 語

- (ア) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができる。
- (イ) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- (ウ) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書に親しみ、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

社 会

- (ア) 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、諸資料から様々な情報を調べまとめる技能を身に付ける。
- (イ) 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明する力を養う。
- (ウ) 社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

数 学

- (ア) 数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解し、その知識を用いて表現・処理したりする技能を身に付ける。
- (イ) 数学を活用して事象を論理的に考察し、各場面で解決の手段を適切に判断し、簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- (ウ) 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、生活に生かして問題解決を図ろうとする態度を養う。

理 科

- (ア) 自然の仕組みや働きなどについての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。
- (イ) 観察、実験などを行い、科学的に探究する基礎的な力を養う。
- (ウ) 自然の仕組みや働きなどに進んで関わり、科学的に探究しようとする基礎的な態度を養う。

音 楽

- (ア) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付ける。
- (イ) 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴く。
- (ウ) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。

美 術

- (ア) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。
- (イ) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりする。
- (ウ) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

保健体育

- (ア) 各種の運動の特性を理解し、基本的な技能を身につけるとともに、個人生活における健康・安全について理解する。
- (イ) 運動や健康についての課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- (ウ) 生涯にわたって運動に親しむことで健康の保持増進と体力の向上を図り、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

技術・家庭

- (ア) 生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付ける。
- (イ) 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。
- (ウ) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

外国語（英語）

- (ア) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付ける。
- (イ) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
- (ウ) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

② 道徳科

- ・ 病弱等に基づく学習上又は生活上の困難を克服し、強く生きようとする意欲を高め、明るい生活態度を養うとともに、健全な人生観の育成を図る。
- ・ 法やきまりの意義を理解させ、主体的に社会の形成に参画しようとする態度を養う。
- ・ 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する心を育てる。
- ・ 自他の生命を尊重し、国際社会に生きる日本人としての自覚を養う。
- ・ 経験の拡充を図り、豊かな道徳的心情を育て、広い視野に立って道徳的判断や行動ができる。

③ 特別活動

- (ア) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付ける。
- (イ) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりする。
- (ウ) 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

④ 自立活動

- ・ 健康状態の維持・改善を図るための知識を習得し、健康の自己管理を適切に行う態度を養う。
- ・ 状況の変化に主体的に対応し、意欲の向上や情緒の安定を図る。
- ・ 諸活動を通して、現存機能の維持と補助用具や補助手段の活用を図り、コミュニケーション能力の向上や人間関係の形成を図る。
- ・ 基本的生活習慣を身に付け、体温の調節、食事、衣服の調節など、健康状態の維持・改善を図る。

⑤ 総合的な学習の時間

- (ア) 探求的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探求的な学習のよさを理解する。
- (イ) 実社会や実生活の中から問いを見いだし、自分で課題を立てて、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができる。
- (ウ) 探求的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、お互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

<Ⅱ 課程>

国 語

- (ア) 日常生活や社会生活に必要な読み書きやコミュニケーションに関することについて、生徒の学習段階に応じてその知識や技能を身につけるとともに、適切に使う。
- (イ) 日常生活や社会生活における人との関わりの中で相手の意図を理解して聞くことや、場に応じて話したりする能力などの伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- (ウ) 言葉がもつよさに気付くとともに、読書に親しみ、言語感覚を養い、国語を大切にしてその能力の向上を図る態度を養う。

社 会

- (ア) 地域や我が国の国土の地理的環境、現代社会の仕組みや役割、地域や我が国の歴史や伝統と文化及び外国の様子について、理解するとともに、調べまとめる技能を身に付ける。
- (イ) 社会的事象について、具体的に考え、社会との関わりの中で、選択・判断したことを適切に表現する力を養う。
- (ウ) 社会に主体的に関わろうとする態度を養い、地域社会の一員として人々と共に生きて

いくことの大切さについての自覚を養う。

数 学

- (ア) 日常生活に必要な数量や図形などに関する初歩的な事柄についての理解を深め、それらを実生活で活用する技能を身に付ける。
- (イ) 日常の事象を数理的に捉えて考察し、適切な処理方法を判断し、表現する力を養う。
- (ウ) 数学的活動の楽しさや数学のよさに気づき、数学で学んだことを日常の生活の中でも活用して問題解決をしようとする態度を養う。

理 科

- (ア) 日常生活に関係の深い自然の仕組みや働きについての基本的な理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付ける。
- (イ) 観察、実験などを行い、疑問をもつ力と予想や仮説を立てる基礎的な力を養う。
- (ウ) 自然を愛する心情を養うとともに、学んだことを主体的に日常生活や社会生活などに生かそうとする態度を養う。

音 楽

- (ア) 生徒の実態に応じて、曲名や曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な技能を身に付ける。
- (イ) 音楽表現を考えることや、曲や演奏のよさなどを見いだしながら、音や音楽を味わって聴く。
- (ウ) 進んで音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じるとともに、様々な音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。

美 術

- (ア) 生徒の実態に応じて、造形的な視点について理解し、表したいことに合わせて材料や用具を使い、表し方を工夫する技能を身に付ける。
- (イ) 造形的なよさや面白さ、美しさ、表したいことや表し方などについて考え、経験したことや材料などを基に、発想し構想するとともに、造形や作品などを鑑賞し、自分の見方や感じ方を深める。
- (ウ) 創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を営む態度を養い、豊かな情操を培う。

保健体育

- (ア) 各種の運動の特性を知り、個人の運動能力に応じた技能を身に付け、自分の生活における健康・安全について理解する。
- (イ) 各種の運動や健康・安全についての課題を知り、その解決に向けて自ら思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- (ウ) 生涯にわたって運動に親しむことと健康の保持増進、体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

職業・家庭

- (ア) 生活や職業に対する関心を高め、将来の家庭生活や職業生活に係る基礎的な知識や技能を身に付ける。
- (イ) 将来の家庭生活や職業生活に必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、自分の考えを表現するなどして、課題を解決する力を養う。
- (ウ) よりよい家庭生活や将来の職業生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。

外国語（英語）

- (ア) 外国語を用いた体験的な活動を通して、身近な生活で見聞きする外国語に興味や関心をもち、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむ。
- (イ) 身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合う力の素地を養う。
- (ウ) 外国語を通して、外国語やその背景にある文化の多様性を知り、相手に配慮しながらコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

② 道徳科

- ・ 病弱等に基づく学習上又は生活上の困難を克服し、強く生きようとする意欲を高め、明るい生活態度を養うとともに、健全な人生観の育成を図る。
- ・ 法やきまりの意義を理解させ、主体的に社会の形成に参画しようとする態度を養う。
- ・ 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する心を育てる。
- ・ 自他の生命を尊重し、国際社会に生きる日本人としての自覚を養う。
- ・ 経験の拡充を図り、豊かな道徳的心情を育て、広い視野に立って道徳的判断や行動ができる。

③ 特別活動

- (ア) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付ける。
- (イ) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりする。
- (ウ) 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

④ 自立活動

- ・ 体温の調節、覚醒と睡眠、食事、排泄、衣服の調節など、健康状態の維持・改善に必要な生活リズムを整え、生活習慣の形成及び心理的安定を図る。
- ・ 遊具やいろいろな素材のものに触れて、視覚・聴覚・触覚・嗅覚に刺激を与え、人や物への興味・関心を広げる。

⑤ 総合的な学習の時間

- (ア) 探求的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、探求的な学習のよさを理解する。
- (イ) 実社会や実生活の中における問いについて、自ら情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現する。
- (ウ) 探求的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、お互いを尊重しながら、積極的に社会に参加しようとする態度を養う。

⑥ 各教科等を合わせた指導

日常生活の指導

- ・ 好ましい生活習慣を身に付け、規則正しい生活を送る。
- ・ 諸活動（係の仕事、朝の会、帰りの会等）を通して、生活経験の拡大を図る。

作業学習

- ・ 働くことに興味を持ち、基礎的な知識と技能を身につけ、働く喜びを味わう。
- ・ 道具類の扱い方がわかり、安全や衛生に気をつけて作業や実習を行う。

生活単元学習

- ・ 学校行事や季節行事など様々な体験を通して生活経験を豊かにしていく。
- ・ 生徒の興味・関心、発達段階に応じ、諸活動を通して、人との関わり方を学び社会性を高める。

＜Ⅲ課程＞

① 道徳科

- ・ 病弱等に基づく学習上又は生活上の困難を克服し、強く生きようとする意欲を高め、明るい生活態度を養うとともに、健全な人生観の育成を図る。
- ・ 法やきまりの意義を理解させ、主体的に社会の形成に参画しようとする態度を養う。
- ・ 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する心を育てる。
- ・ 自他の生命を尊重し、国際社会に生きる日本人としての自覚を養う。
- ・ 経験の拡充を図り、豊かな道徳的心情を育て、広い視野に立って道徳的判断や行動ができる。

② 特別活動

- (ア) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付ける。
- (イ) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができる。
- (ウ) 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

③ 自立活動

- ・ 体温の調節、覚醒と睡眠、食事、排泄、衣服の調節など、健康状態の維持・改善に必要な生活リズムを整え、生活習慣の形成及び心理的安定を図る。
- ・ 遊具やいろいろな素材のものに触れて、視覚・聴覚・触覚・嗅覚に刺激を与え、人や物への興味・関心を広げる。

(4) 交流及び共同学習の重点

- ① 豊かな人間性を養い、好ましい人間関係を育てる。
- ② 他校や地域、社会等とのふれあいの中で生活経験を広げ、社会性を養う。
- ③ 互いに協力し合い、認識を深めることを大切にする。

(5) 生徒指導の重点

- ① 人と人とのふれ合いを大切にし、健康の管理と学習の両立を考え、意欲的で自主性のある学校生活を送る。
- ② 病院職員、保護者との連携を図り、意欲的で明るい学校生活を送る態度を育てる。

(6) キャリア教育の重点

- ① 自分のよさや個性が分かり、他者の感情や立場に配慮しながら行動ができる。
- ② 職場見学や情報機器の活用を通して、いろいろな職業を知り、仕事への関心や意欲を高める。
- ③ 将来の進路希望に基づいて当面の目標を立て、その達成に向けて努力する。
- ④ 医療機関や家庭と連携しながら、自分の病状を理解し、働くことの意義や将来の生き方を考える。

(7) 生涯学習への意欲を高める指導の重点

- ① 学校教育を通じて身につけた知識及び技能を活用する態度を培う。
- ② 持てる能力を最大限に伸ばし、さらなる学習への意欲を高める。
- ③ 多様なスポーツや文化芸術活動を体験し、生涯を通じて親しむ態度を培う。

(8) ICT 機器利活用の重点

- ① 基礎的基本的な知識技能を用いて課題解決に必要な情報を収集し活用する能力を育てる。
- ② 自他の権利（著作権など）を尊重し情報社会での行動に責任を持つ態度を養う。
- ③ 危険回避（ネット犯罪など）情報を正しく安全に利用できる能力を身につける。
- ④ 健康に気を遣いながら、情報機器を活用していく態度を養う。
- ⑤ 簡単なプログラミング学習にふれることで、道筋を立て問題解決をしていこうとする実践力を養う。

(9) 安全教育の重点

- ① 自己の健康状態及び障害を正しく理解し、事故を未然に防ぐ態度を養う。
- ② 登下校時及び校内での安全指導の充実徹底を図る。
- ③ 校外学習等の安全及び交通安全指導の充実徹底を図る。
- ④ 療養生活及び家庭生活における安全指導を行う。
- ⑤ 災害時における危険について理解させ、防災意識を高めるとともに、安全な行動の仕方を身に付ける。

(10) 授業日数及び授業時数の配当

様式 3

① 年間授業日数配当表(本校：中学部)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1 年	16	19	21	13	0	20	20	20	17	17	19	17	199
2 年	16	19	21	13	0	20	20	20	17	17	19	17	199
3 年	16	19	21	13	0	20	20	20	17	17	19	16	198
備考													

② 年間総授業時数の配当表

I 課程（準ずる教育課程・下学年適用の教育課程）

教科等			1 年	2 年	3 年	備考
各教科	国語		110	108	110	
	社会		73	72	73	
	数学		110	108	110	
	理科		73	72	73	
	音楽		73	72	73	
	美術		73	72	73	
	保健体育		110	108	110	保健を含む
	技術・家庭	技術分野	37	36	37	
		家庭分野	36	36	36	
	外国語		110	108	110	
	選択教科					
小計			805	792	805	
道徳科			37	36	37	
総合的な学習の時間			37	36	37	
特別活動			37	36	37	
自立活動			175	175	174	
計			286	283	285	
合計			1091	1075	1090	

様式 6

Ⅱ 課程 A (知的障害特別支援学校代替の教育課程)

日：日常生活の指導 生：生活単元学習 作：作業学習

			1 年					2 年					3 年				
			総 時数	教科別 の指導	合わせた 指導			総 時数	教科別 の指導	合わせた 指導			総 時数	教科別 の指導	合わせた 指導		
各教科	国語		135	110	25	日 生 作	0 0 25	133	108	25	日 生 作	0 0 25	135	110	25	日 生 作	0 0 25
	社会		73	73	0	日 生 作	0 0 0	72	72	0	日 生 作	0 0 0	73	73	0	日 生 作	0 0 0
	数学		135	110	25	日 生 作	0 0 25	132	108	24	日 生 作	0 0 24	135	110	25	日 生 作	0 0 25
	理科		73	73	0	日 生 作	0 0 0	72	72	0	日 生 作	0 0 0	73	73	0	日 生 作	0 0 0
	音楽		73	73	0	日 生 作	0 0 0	72	72	0	日 生 作	0 0 0	73	73	0	日 生 作	0 0 0
	美術		73	73	0	日 生 作	0 0 0	72	72	0	日 生 作	0 0 0	73	73	0	日 生 作	0 0 0
	保健体育		110	110	0	日 生 作	0 0 0	108	108	0	日 生 作	0 0 0	110	110	0	日 生 作	0 0 0
	職業・家庭	職業分野	12	0	12	日 生 作	0 0 12	12	0	12	日 生 作	0 0 12	12	0	12	日 生 作	0 0 12
		家庭分野	12	0	12	日 生 作	0 0 12	12	0	12	日 生 作	0 0 12	12	0	12	日 生 作	0 0 12
	外国語		73	73	0	日 生 作	0 0 0	72	72	0	日 生 作	0 0 0	73	73	0	日 生 作	0 0 0
	選択教科		0					0					0				
			0					0					0				
道徳科			37	37	0	日 生 作	0 0 0	36	36	0	日 生 作	0 0 0	37	37	0	日 生 作	0 0 0
特別活動			37	37	0	日 生 作	0 0 0	36	36	0	日 生 作	0 0 0	37	37	0	日 生 作	0 0 0
自立活動			211	211	0	日 生 作	0 0 0	210	210	0	日 生 作	0 0 0	210	210	0	日 生 作	0 0 0
総合的な学習の時間				37					36					37			
合計	教科別の指導で行う時数			1017					1002					1016			
	合わせた指導で行う時数				74					73					74		
	総時数			1091					1075					1090			

【指導形態】

日常生活の指導		0		0		0
生活単元学習		0		0		0
作業学習		74		73		74
合計		74		73		74

※時数が 0 時間の教科は「各教科等を合わせた指導」の中で指導する。

Ⅱ 課程 B（知的障害特別支援学校代替の教育課程）

日：日常生活の指導 生：生活単元学習 作：作業学習

			1 年			2 年			3 年		
			総 時数	教科別 の指導	合わせた 指導	総 時数	教科別 の指導	合わせた 指導	総 時数	教科別 の指導	合わせた 指導
各教科	国語		140	73	67 日 29 生 17 作 21	139	72	67 日 29 生 17 作 21	140	73	67 日 29 生 17 作 21
	社会		47	0	47 日 23 生 10 作 14	46	0	46 日 23 生 10 作 13	47	0	47 日 23 生 10 作 14
	数学		120	73	47 日 23 生 10 作 14	118	72	46 日 23 生 10 作 13	120	73	47 日 23 生 10 作 14
	理科		47	0	47 日 23 生 10 作 14	46	0	46 日 23 生 10 作 13	47	0	47 日 23 生 10 作 14
	音楽		95	73	22 日 14 生 2 作 6	94	72	22 日 13 生 2 作 7	95	73	22 日 14 生 2 作 6
	美術		95	73	22 日 14 生 2 作 6	94	72	22 日 13 生 2 作 7	95	73	22 日 14 生 2 作 6
	保健体育		120	73	47 日 23 生 10 作 14	118	72	46 日 23 生 10 作 13	120	73	47 日 23 生 10 作 14
	職業・家庭	職業分野	10	0	10 日 6 生 1 作 3	10	0	10 日 6 生 1 作 3	10	0	10 日 6 生 1 作 3
		家庭分野	12	0	12 日 7 生 2 作 3	12	0	12 日 7 生 2 作 3	12	0	12 日 7 生 2 作 3
	外国語		84	37	47 日 23 生 9 作 15	82	36	46 日 23 生 8 作 15	84	37	47 日 23 生 9 作 15
選択教科			0			0			0		
			0			0			0		
道徳科			37	37	0 日 0 生 0 作 0	36	36	0 日 0 生 0 作 0	37	37	0 日 0 生 0 作 0
特別活動			37	37	0 日 0 生 0 作 0	36	36	0 日 0 生 0 作 0	37	37	0 日 0 生 0 作 0
自立活動			210	210	0 日 0 生 0 作 0	208	208	0 日 0 生 0 作 0	209	209	0 日 0 生 0 作 0
総合的な学習の時間			37			36			37		
合計	教科別の指導で行う時数			723			712			722	
	合わせた指導で行う時数		368			363			368		
	総時数		1091			1075			1090		

【指導形態】

日常生活の指導		185		183		185
生活単元学習		73		72		73
作業学習		110		108		110
合計		368		363		368

※時数が 0 時間の教科は「各教科等を合わせた指導」の中で指導する。

Ⅲ課程（自立活動を主とした教育課程）

日：日常生活の指導　生：生活単元学習　作：作業学習

			1 年			2 年			3 年						
			総 時数	教科別 の指導	合わせた 指導	総 時数	教科別 の指導	合わせた 指導	総 時数	教科別 の指導	合わせた 指導				
各教科	国語		0	0	0	日	0	0	日	0	0	日	0		
						生	0		生	0		生	0		
						作	0		作	0		作	0		
	社会		0	0	0	日	0	0	日	0	0	日	0		
						生	0		生	0		生	0		
						作	0		作	0		作	0		
	数学		0	0	0	日	0	0	日	0	0	日	0		
						生	0		生	0		生	0		
						作	0		作	0		作	0		
	理科		0	0	0	日	0	0	日	0	0	日	0		
						生	0		生	0		生	0		
						作	0		作	0		作	0		
音楽		0	0	0	日	0	0	日	0	0	日	0			
					生	0		生	0		生	0			
					作	0		作	0		作	0			
美術		0	0	0	日	0	0	日	0	0	日	0			
					生	0		生	0		生	0			
					作	0		作	0		作	0			
保健体育		0	0	0	日	0	0	日	0	0	日	0			
					生	0		生	0		生	0			
					作	0		作	0		作	0			
職業・家庭	職業分野	0	0	0	日	0	0	日	0	0	日	0			
					生	0		生	0		生	0			
					作	0		作	0		作	0			
職業・家庭	家庭分野	0	0	0	日	0	0	日	0	0	日	0			
					生	0		生	0		生	0			
					作	0		作	0		作	0			
外国語		0	0	0	日	0	0	日	0	0	日	0			
					生	0		生	0		生	0			
					作	0		作	0		作	0			
選択教科		0			0			0			0				
		0			0			0			0				
道徳科			37	37	0	日	0	0	日	0	37	37	0	日	0
特別活動		37	37	0	生	0	生		0	生		0			
					作	0	作		0	作		0			
自立活動			1017	1017	0	日	0	0	日	0	1016	1016	0	日	0
		1017	1017	0	生	0	生		0	生		0			
					作	0	作		0	作		0			
総合的な学習の時間															
合計	教科別の指導で行う時数			1091				1075				1090			
	合わせた指導で行う時数				0			0				0			
	総時数			1091				1075				1090			

【指導形態】

日常生活の指導		0		0		0
生活単元学習		0		0		0
作業学習		0		0		0
合計		0		0		0

(11) 特別活動の計画

様式 8

① 年間行事計画（本校：中学部）

年間行事計画（本校：1学期）							
学期	月日	曜日	行事名		時間配当		
			種類	事項	1年	2年	3年
一学期	4月7日	木	儀式的	1学期始業式	0	1	1
	4月7日	木	儀式的	入学式	1	1	1
	4月21日	木	健康安全・体育的	歯科検診	1	1	1
	4月28日	木	旅行・集团的	遠足	6	6	6
	5月12日	木	健康安全・体育的	眼科検診	1	1	1
	5月18日	水	健康安全・体育的	火災避難訓練	1	1	1
	6月14日	火	健康安全・体育的	内科検診	1	1	1
	7月6日	水	健康安全・体育的	不審者対応訓練	1	1	1
	7月20日	水	儀式的	1学期終業式	1	1	1
	小計					13	14
学期	月日	曜日	行事名		時間配当		
			種類	事項	1年	2年	3年
二学期	9月1日	木	儀式的	2学期始業式	1	1	1
	10月16日	日	健康安全・体育的	第19回運動会	4	4	4
	10月26日	水	健康安全・体育的	総合避難訓練	1	1	1
	11月9日～11日	水～金	旅行・集团的	修学旅行	0	17	0
	12月23日	金	儀式的	2学期終業式	1	1	1
	小計					7	24
学期	月日	曜日	行事名		時間配当		
			種類	事項	1年	2年	3年
三学期	1月6日	金	儀式的	3学期始業式	1	1	1
	3月17日	金	儀式的	高等部卒業式	2	2	2
	3月23日	木	儀式的	小中学部卒業式	2	2	2
	3月24日	金	儀式的	修了式・離任式	2	2	0
	小計					7	7
合計					27	45	26

様式 9

② その他の特別活動の計画

生徒会活動年間予定時数

	学期	実施予定		時間配当		
		回数	内容（時数）	1年	2年	3年
生徒会活動	1 学期	3	訪問職員顔合わせ会(1) 新入生歓迎会(1) 児童生徒総会(1)	3	3	3
	2 学期	2	児童生徒会立候補者演説・投票 (1) 児童生徒会新役員認証式、 新旧役員交代式 (1)	2	2	2
	3 学期	0		0	0	0
合計				5	5	5

3 高等部(本校)

(1) 高等部の教育目標

- ① 広く豊かな心で互いを尊重し、協力し合える生徒
- ② 自己の心身の状態や特性を理解し、自らの可能性を伸ばし、意欲を持って主体的に学ぶ生徒
- ③ 社会の一員としての自覚を持ち、積極的に社会参加できる生徒

(2) 教育課程の編成方針

- ① 生徒の実態及び障害の状態、発達段階に即し個に応じた指導が十分に行われるように編成する。
- ② 行事を適切に配置し、授業時数の確保に努める。
- ③ 各教科、科目等の目的や内容について、その発展性や系統性を重視し、教材の精選及び指導内容の充実を図る。
- ④ 生徒の身体活動の状態等に応じて、教材・教具の工夫やコンピュータ等の情報機器の有効な活用を図る。
- ⑤ 病院内訪問学級や他の特別支援学校との交流、地域や普通高校等との交流及び共同学習を通して社会性を養い、好ましい人間関係を育てる。
- ⑥ 卒業後の自立や社会参加に備え、進路指導の充実を図る。

(3) 各教科、各領域の指導の重点

観点：(ア) 知識および技能 (イ) 思考力・判断力・表現力等 (ウ) 学びに向かう力・人間性等

〈I 課程〉

① 各教科・科目

国 語

- (ア) 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができる。
- (イ) 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
- (ウ) 目的や場面、意図に応じて話す能力、聞く能力、読む能力、書く能力の育成を図る。

地理歴史

- (ア) 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。
- (イ) 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力養う。
- (ウ) 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に関する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

公 民

- (ア) 選択・判断の手掛かりとなる概念や理論及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。
- (イ) 現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
- (ウ) 社会自立と、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、自立した人間としての在り方生き方についての自覚や、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さ

についての自覚などを深める。

数 学

- (ア) 数量や図形についての基礎的・基本的な概念や原理・法則の理解を深めるとともに、事象を数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。
- (イ) 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し考察する力、数学の用語、記号を用いて思考を深め、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- (ウ) 身近な生活の中にある数学の事象に触れ、数学への興味・関心高め数学のよさを認識し、積極的に数学を活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

理 科

- (ア) 日常生活に関係の深い自然の事物・現象についての基本的な理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。
- (イ) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力の基礎を養う。
- (ウ) 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度の基礎を養う。

保健体育

- (ア) 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付ける。
- (イ) 運動や健康についての課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- (ウ) 生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を育て、健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

芸 術

音 楽

- (ア) 音楽に関する専門的で幅広く多様な内容について理解を深めるとともに、表現意図を音楽で表すために必要な技能を身に付ける。
- (イ) 音楽に関する専門的な知識や技能を総合的に働かせ、音楽の表現内容を解釈したり音楽の文化的価値などについて考えたりし、表現意図を明確にもったり、音楽や演奏の価値を見いだして鑑賞したりする。
- (ウ) 主体的に音楽に関する専門的な学習に取り組み、感性を磨き、音楽文化の 継承、発展、創造に寄与する態度を養う。

美 術

- (ア) 美術に関する専門的で幅広く多様な内容について理解を深めるとともに、独創的・創造的に表す。
- (イ) 美術に関する専門的な知識や技能を総合的に働かせ、創造的な思考力、判断力、表現力等を育成する。
- (ウ) 主体的に美術に関する専門的な学習に取り組み、感性を磨き、美術文化の 継承、発展、創造に寄与する態度を養う。

外国語

- (ア) 外国語の基本的な音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付ける。
- (イ) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
- (ウ) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

家 庭

- (ア) 人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、 家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、

- 生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付ける。
- (イ) 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。
- (ウ) 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

情 報

- (ア) 情報と情報技術及びこれらを活用して問題を発見・解決する方法について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについての理解を深める。
- (イ) 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。
- (ウ) 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

職業生活

- (ア) 働くことの意義や、将来の職業生活に係る技能やマナーを身に付ける。
- (イ) 将来の進路について考え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、表現する力を養う。
- (ウ) よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への貢献に向けて、生活を改善しようとする実践的な態度を養う。

② 道徳科

- ・ 病弱等に基づく学習上又は生活上の困難を克服し、自立の精神を重んじ、目標に向かって着実にやりぬく強い意志を育てる。
- ・ 互いの人格を尊重し、感謝と思いやりや他者に学ぶ豊かな心を育む。
- ・ 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する心を育てる。
- ・ 自他の生命を尊重し、国際社会の平和と発展や環境の保全に貢献し、主体的に未来を拓く態度を育てる。
- ・ 社会連帯の精神、義務を果たし責任を重んずる態度や人権を尊重し、社会の一員となる態度を育てる。

③ 特別活動

- (ア) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や、活動を行う上で必要となること、行動の仕方を知り、身に付ける。
- (イ) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、相互の意見の一致を図ったり、意思決定したりする。
- (ウ) 実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かし、主体的に集団や社会の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

④ 自立活動

- ・ 健康状態や安全について関心をもち、個々に必要な日常生活についての理解を深め適切な自己管理ができる。
- ・ 自立を目指し、障害に基づく種々の困難を主体的に改善・克服しようとする意欲・態度の育成を図る。
- ・ 障害の実態を踏まえ、補助用具や補助的手段を活用し、状況に応じたコミュニケーション能力を高め、人間関係の形成を図る。

⑤ 総合的な学習（探究）の時間

- (ア) 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念の形成に努め、探究の意義や価値を理解する。
- (イ) 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができる。
- (ウ) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

〈Ⅱ課程、Ⅲ課程〉

① 各教科・科目

国 語

- (ア) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができる。
- (イ) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- (ウ) 言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にその能力の向上を図る態度を養う。

社 会

- (ア) 地域や我が国の国土の地理的環境、現代社会の仕組みや働き、地域や我が国の歴史や伝統と文化及び外国の様子について、様々な資料や具体的な活動を通して理解し、まとめる技能を身に付ける。
- (イ) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を考えたり、自分の生活と結び付けて考えたり、社会への関わり方を選択・判断したりする力、考えたことや選択・判断したことを適切に表現する力を養う。
- (ウ) 社会に主体的に関わろうとする態度や、学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚、我が国の国土と歴史に対する愛情、我が国の将来を担う国民としての自覚、世界の国々の人々と共に生きていくことの大切さについての自覚などを養う。

数 学

- (ア) 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに、日常の事象を数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。
- (イ) 生活に必要な数量や図形などに関する理解を深め、見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形などの性質を見だし、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現したり目的に応じて柔軟に表したりする力を養う。
- (ウ) 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え、よりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学を生活や学習に活用しようとする態度を養う。

理 科

- (ア) 日常生活に関係の深い自然の事物・現象についての基本的な理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付ける。
- (イ) 観察、実験などを行い、解決の方法を考える力とより妥当な考えを思考する力の基礎を養う。
- (ウ) 自然を愛する心情を養うとともに、学んだことを主体的に生活に生かそうとする態度を養う。

保健体育

- (ア) 各種の運動の特性を知り、個人の運動能力に応じた技能を身に付け、個人生活及び社会生活における健康・安全についての理解を深める。
- (イ) 各種の運動や健康・安全についての課題を知り、その解決に向けて仲間と思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。
- (ウ) 生涯にわたって運動に親しもうとする気持ちや、健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

芸 術

音 楽

- (ア) 生徒の実態に応じて、曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付ける。
- (イ) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができる。
- (ウ) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育むとともに、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。

美 術

- (ア) 生徒の実態に応じて、造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。
- (イ) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫などについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化などに対する見方や感じ方を深めたりする。
- (ウ) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

外国語

- (ア) 外国語の基本的な音声や文字、語彙、表現、言語の働きなどについて、日本語と外国語との違いに気付くとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付ける。
- (イ) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。
- (ウ) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

家 庭

- (ア) 家族・家庭の機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- (イ) 家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。
- (ウ) 家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。

情 報

- (ア) 身近にある情報と情報技術及びこれらを活用して問題を知り、問題を解決する方法について理解し、基礎的な技能を身に付けるとともに、情報社会と人との関わりについて理解できる。
- (イ) 身近な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題を知り、問題を解決するために必要な情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。
- (ウ) 身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に参画しようとする態度を養う。

職業・家庭

- (ア) 職業に関する事柄について理解を深めるとともに、将来の職業生活に係る技能を身に付ける。
- (イ) 将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、表現する力を養う。
- (ウ) よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への貢献に向けて、生活を改善しようとする実践的な態度を養う。

② 道徳科

- ・ 病弱等に基づく学習上又は生活上の困難を克服し、自立の精神を重んじ、目標に向かって着実にやりぬく強い意志を育てる。
- ・ 互いの人格を尊重し、感謝と思いやりや他者に学ぶ豊かな心を育む。
- ・ 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する心を育てる。
- ・ 自他の生命を尊重し、国際社会の平和と発展や環境の保全に貢献し、主体的に未来を拓く態度を育てる。
- ・ 社会連帯の精神、義務を果たし責任を重んずる態度や人権を尊重し、社会の一員となる態度を育てる。

③ 特別活動

- (ア) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や、活動を行う上で必要となること、行動の仕方を知り、身に付ける。
- (イ) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見いだし、解決するために話し合い、相互の意見の一致を図ったり、意思決定したりする。
- (ウ) 生徒の障害の状態や特性等を考慮し、望ましい集団活動を通して生活経験を広げ、社会性を育む。

④ 自立活動

- ・ 体温の調節、覚醒と睡眠、食事、排泄、衣服の調節など、健康状態の維持・改善に必要な生活リズムを整え、生活習慣の形成及び心理的安定を図る。
- ・ 遊具やいろいろな素材の物に触れて、視覚・聴覚・触覚・嗅覚に刺激を与え、人や物への興味・関心を広げる。

⑤ 総合的な学習（探究）の時間

- (ア) 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念の形成に努め、探究の意義や価値を理解する。
- (イ) 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見いだし、課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができる。
- (ウ) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

⑥ 各教科等を合わせた指導

日常生活の指導

- ・ 健康状態の安定及び生活習慣の形成を図り、コミュニケーション能力を育て、より豊かな日常生活を送るための態度や習慣を養う。

生活単元学習

- ・ 集団生活を通し、楽しい生活を送るための能力を身につける。
- ・ 生活に基づいた目標や課題を設定し、解決する能力を身につける。

作業学習

- ・ 作業を経験し、生徒個々の実態に応じた作業能力を高めるとともに、作業を最後までやり通す態度を育てる。
- ・ 職業生活や家庭生活に必要な基礎的な知識技術の習得を図り就労への意識を高める。

(4) 交流及び共同学習の重点

- ① 豊かな人間性を養い、好ましい人間関係を育てる。
- ② 他校や地域、社会等とのふれあいの中で生活経験を広げ、社会性を養う。
- ③ 互いに協力し合い、認識を深めることを大切にする。

(5) 生徒指導の重点

- ① 人と人とのふれあいを大切にし、健康の管理と学習の両立を考え、意欲的で自主性のある学校生活を送る。
- ② 基本的なマナーやルールを守る態度を身につけ、社会に適応できる。

(6) キャリア教育の重点

- ① 自己の能力や適性を理解し、場に応じた適切なコミュニケーション能力を育成する。
- ② 生徒に早い段階から望ましい職業観・勤労観及び職業に関する知識・技能を身につけ、自己の個性についての理解と主体的に進路を選択する能力と態度を育成する。
- ③ 進路の情報を多角的に収集し、就業体験や情報機器の活用を通して自己を生かせる進路を考える態度を養う。
- ④ 医療機関や家庭と連携しながら自分の病状をふまえ、進路希望の実現に向け、課題を設定し解決に取り組む。

(7) 生涯学習への意欲を高める指導の重点

- ① 主体的に学習や体験の中から生きがいを見つけ、人と繋がる意欲を育む。
- ② 行政や民間による必要な支援について学び、地域における活動に参加し、楽しむ態度を培う。
- ③ ライフステージ全体を充実させるために、継続的に知識や技能を高めようとする姿勢を身につける。

(8) ICT機器利活用の重点

- ① 情報収集・活用能力を用いて、生活の中のさまざまな課題を自ら解決していくことができる。
- ② 自他の権利（著作権など）を正しく理解し、情報社会での行動に責任を持つ態度を養う。
- ③ 情報モラル（危険回避など）を正しく理解し、ネット上で安全に情報を活用できる能力を身につける。
- ④ 健康に気を遣いながら、情報機器を活用していく態度を養う。
- ⑤ 簡単なプログラミング学習に触れることで、道筋を立て問題解決をしていこうとする素地を養う。

(9) 安全教育の重点

- ① 自己の健康状態及び障害を正しく理解し、自ら事故を防ぐ態度を養う。
- ② 登下校時及び校内での安全指導の充実徹底を図る。
- ③ 校外学習、宿泊学習等の安全及び交通安全指導を行う。
- ④ 療養生活及び家庭生活における安全指導を行う。
- ⑤ 災害時における危険について理解し、防災意識を高めると共に、安全な行動の仕方を身につける。

(10) 授業日数及び授業時数の配当

様式 4

① 年間授業日数配当表(本校：高等部)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1 年	16	19	21	13	0	20	20	20	17	17	19	17	199
2 年	16	19	21	13	0	20	20	20	17	17	19	17	199
3 年	16	19	21	13	0	20	20	20	17	17	19	13	195
備考													

② 年間総授業時数の配当表(本校)

ア-i I 課程 A (令和4年度入学 準ずる教育課程・下学年適用の教育課程)

教科等		科目名	標準 単位数	1年	2年	3年	合計	備考
各学科に共通する各教科・科目	国語	現代の国語	2	111	111	0	222	
		言語文化	2	0	0	110	110	
	地理歴史	歴史総合	2	0	0	73	73	
		地理総合	2	37	37	0	74	
	公民	公共	2	37	37	0	74	
	数学	数学Ⅰ	3	74	74	0	148	
		数学A	2	0	0	73	73	
	理科	生物基礎	2	74	0	0	74	
		化学基礎	2	0	0	73	73	
		地学基礎	2	0	74	0	74	
	保健体育	体育	7	74	74	110	258	
		保健	2	37	37	0	74	
	芸術	音楽Ⅰ	2	0	74	0	74	
		音楽表現		74	0	73	147	
		美術Ⅰ	2	74	0	0	74	
		美術表現		0	74	73	147	
	外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	111	111	110	332	
	家庭	家庭基礎	2	74	0	73	147	
	情報	情報Ⅰ	2	37	37	37	111	
	学校設定教科	職業と生活		0	74	0	74	
共通教科・科目単位数計			41	814	814	805	2433	
総合的な探究の時間			3	37	37	37	111	
特別活動		ホームルーム活動	3	37	37	37	111	
自立活動				224	225	220	669	
計			6	298	299	294	891	
合計			47	1112	1113	1099	3324	

※行事等取り組みの事前事後学習や就業体験は「総合的な探究の時間」とする。

<本校 高等部>

様式 7

ア- i I 課程 B (令和 4 年度入学 準ずる教育課程・下学年適用の教育課程)

教科等		科目名	標準 単位数	1年	2年	3年	合計	備考
各 学 科 に 共 通 す る 各 教 科 ・ 科 目	国語	現代の国語	2	37	74	0	111	
		言語文化	2	0	0	73	73	
	地理歴史	歴史総合	2	0	0	73	73	
		地理総合	2	37	37	0	74	
	公民	公共	2	37	37	0	74	
	数学	数学Ⅰ	3	74	37	0	111	
		数学A	2	0	0	73	73	
	理科	生物基礎	2	74	0	0	74	
		化学基礎	2	0	0	73	73	
		地学基礎	2	0	74	0	74	
	保健体育	体育	7	74	74	110	258	
		保健	2	37	37	0	74	
	芸術	音楽Ⅰ	2	0	74	0	74	
		音楽表現		37	0	73	110	
		美術Ⅰ	2	74	0	0	74	
		美術表現		0	37	73	110	
	外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	74	74	37	185	
	家庭	家庭基礎	2	74	0	37	111	
	情報	情報Ⅰ	2	37	37	37	111	
	学校設定教科	職業と生活		0	74	0	74	
共通教科・科目単位数計			41	666	666	659	1991	
総合的な探究の時間			3	37	37	37	111	
特別活動		ホームルーム活動	3	37	37	37	111	
自立活動				372	373	366	1111	
計			6	446	447	440	1333	
合計			47	1112	1113	1099	3324	

※行事等取り組みの事前事後学習や就業体験は「総合的な探究の時間」とする。

様式 7

イ- i II 課程 A (令和 4 年度入学 知的障害特別支援学校代替の教育課程)

日：日常生活の指導 生：生活単元学習 作：作業学習

	教科等		1 年				2 年				3 年			
			総時数	教科別の指導	合わせた指導		総時数	教科別の指導	合わせた指導		総時数	教科別の指導	合わせた指導	
各学科に共通する各教科	国語		111	111	0	日 0 生 0 作 0	111	111	0	日 0 生 0 作 0	110	110	0	日 0 生 0 作 0
	社会		74	74	0	日 0 生 0 作 0	74	74	0	日 0 生 0 作 0	73	73	0	日 0 生 0 作 0
	数学		74	74	0	日 0 生 0 作 0	74	74	0	日 0 生 0 作 0	73	73	0	日 0 生 0 作 0
	理科		74	74	0	日 0 生 0 作 0	74	74	0	日 0 生 0 作 0	73	73	0	日 0 生 0 作 0
	音楽		74	74	0	日 0 生 0 作 0	74	74	0	日 0 生 0 作 0	73	73	0	日 0 生 0 作 0
	美術		74	74	0	日 0 生 0 作 0	74	74	0	日 0 生 0 作 0	73	73	0	日 0 生 0 作 0
	保健体育		111	111	0	日 0 生 0 作 0	111	111	0	日 0 生 0 作 0	110	110	0	日 0 生 0 作 0
	職業		19	0	19	日 0 生 0 作 19	19	0	19	日 0 生 0 作 19	19	0	19	日 0 生 0 作 19
	家庭		20	0	20	日 0 生 0 作 20	20	0	20	日 0 生 0 作 20	19	0	19	日 0 生 0 作 19
	外国語		111	111	0	日 0 生 0 作 0	111	111	0	日 0 生 0 作 0	110	110	0	日 0 生 0 作 0
	情報		37	37	0	日 0 生 0 作 0	37	37	0	日 0 生 0 作 0	37	37	0	日 0 生 0 作 0
	学校設定教科		0				0				0			
			0				0				0			
共通教科時数計			779	740			779	740			770	732		
道徳科			35	0	35	日 0 生 0 作 35	35	0	35	日 0 生 0 作 35	35	0	35	日 0 生 0 作 35
特別活動	ホームルーム活動		37	37	0	日 0 生 0 作 0	37	37	0	日 0 生 0 作 0	37	37	0	日 0 生 0 作 0
自立活動			224	224	0	日 0 生 0 作 0	225	225	0	日 0 生 0 作 0	220	220	0	日 0 生 0 作 0
総合的な探究の時間				37				37				37		
合計	教科別の指導で行う時数			1038				1039				1026		
	合わせた指導で行う時数				74				74				71	
	総時数			1112				1113				1099		
【指導形態】														
日常生活の指導				0				0				0		
生活単元学習				0				0				0		
作業学習				74				74				73		
合計				74				74				73		

※道徳科を「各教科等を合わせた指導」において設定し、教育活動全体を通して行う。

※時数が 0 時間の教科は「各教科等を合わせた指導」の中で指導する。

イ- i II 課程 B (令和 4 年度 知的障害特別支援学校代替の教育課程)

日：日常生活の指導 生：生活単元学習 作：作業学習

	教科等		1年				2年				3年						
			総時数	教科別の指導	合わせた指導		総時数	教科別の指導	合わせた指導		総時数	教科別の指導	合わせた指導				
各学科に共通する各教科	国語		37	37	0	日 生 作	0 0 0	74	74	0	日 生 作	0 0 0	73	73	0	日 生 作	0 0 0
	社会		74	74	0	日 生 作	0 0 0	74	74	0	日 生 作	0 0 0	73	73	0	日 生 作	0 0 0
	数学		74	74	0	日 生 作	0 0 0	37	37	0	日 生 作	0 0 0	73	73	0	日 生 作	0 0 0
	理科		74	74	0	日 生 作	0 0 0	74	74	0	日 生 作	0 0 0	73	73	0	日 生 作	0 0 0
	音楽		37	37	0	日 生 作	0 0 0	74	74	0	日 生 作	0 0 0	73	73	0	日 生 作	0 0 0
	美術		74	74	0	日 生 作	0 0 0	37	37	0	日 生 作	0 0 0	73	73	0	日 生 作	0 0 0
	保健体育		111	111	0	日 生 作	0 0 0	111	111	0	日 生 作	0 0 0	110	110	0	日 生 作	0 0 0
	職業		19	0	19	日 生 作	0 0 19	19	0	19	日 生 作	0 0 19	0	0	0	日 生 作	0 0 0
	家庭		20	0	20	日 生 作	0 0 20	20	0	20	日 生 作	0 0 20	2	0	2	日 生 作	0 0 2
	外国語		74	74	0	日 生 作	0 0 0	74	74	0	日 生 作	0 0 0	37	37	0	日 生 作	0 0 0
	情報		37	37	0	日 生 作	0 0 0	37	37	0	日 生 作	0 0 0	37	37	0	日 生 作	0 0 0
	学校設定教科		0					0					0				
			0					0					0				
共通教科時数計			631	592				631	592				624	622			
道徳科			35	0	35	日 生 作	0 0 35	35	0	35	日 生 作	0 0 35	35	0	35	日 生 作	0 0 35
特別活動	ホームルーム活動	37	37	0	日 生 作	0 0 0	37	37	0	日 生 作	0 0 0	37	37	0	日 生 作	0 0 0	
自立活動			372	372	0	日 生 作	0 0 0	373	373	0	日 生 作	0 0 0	366	366	0	日 生 作	0 0 0
総合的な探究の時間			37				37				37						
合計	教科別の指導で行う時数			1038					1039					1062			
	合わせた指導で行う時数		74				74				37						
	総時数		1112				1113				1099						
【指導形態】																	
日常生活の指導			0				0				0						
生活単元学習			0				0				0						
作業学習			74				74				37						
合計			74				74				37						

※道徳科を「各教科等を合わせた指導」において設定し、教育活動全体を通して行う。
 ※時数が 0 時間の教科は「各教科等を合わせた指導」の中で指導する。

様式 7

ウ-ⅰ Ⅲ課程（令和4年度入学 自立活動を主とした教育課程）

日：日常生活の指導 生：生活単元学習 作：作業学習

	教科等		1 年				2 年				3 年			
			総時数	教科別の指導	合わせた指導		総時数	教科別の指導	合わせた指導		総時数	教科別の指導	合わせた指導	
各学科に共通する各教科	国語		0		0	日 0 生 0 作 0	0		0	日 0 生 0 作 0	0		0	日 0 生 0 作 0
	社会		0		0	日 0 生 0 作 0	0		0	日 0 生 0 作 0	0		0	日 0 生 0 作 0
	数学		0		0	日 0 生 0 作 0	0		0	日 0 生 0 作 0	0		0	日 0 生 0 作 0
	理科		0		0	日 0 生 0 作 0	0		0	日 0 生 0 作 0	0		0	日 0 生 0 作 0
	音楽		0		0	日 0 生 0 作 0	0		0	日 0 生 0 作 0	0		0	日 0 生 0 作 0
	美術		0		0	日 0 生 0 作 0	0		0	日 0 生 0 作 0	0		0	日 0 生 0 作 0
	保健体育		0		0	日 0 生 0 作 0	0		0	日 0 生 0 作 0	0		0	日 0 生 0 作 0
	職業		0		0	日 0 生 0 作 0	0		0	日 0 生 0 作 0	0		0	日 0 生 0 作 0
	家庭		0		0	日 0 生 0 作 0	0		0	日 0 生 0 作 0	0		0	日 0 生 0 作 0
	外国語		0		0	日 0 生 0 作 0	0		0	日 0 生 0 作 0	0		0	日 0 生 0 作 0
	情報		0		0	日 0 生 0 作 0	0		0	日 0 生 0 作 0	0		0	日 0 生 0 作 0
	学校設定教科		0				0				0			
			0				0				0			
共通教科時数計			0	0			0				0			
道徳科			37	37	0	日 0 生 0 作 0	37	37	0	日 0 生 0 作 0	37	37	0	日 0 生 0 作 0
特別活動	ホームルーム活動		37	37	0	日 0 生 0 作 0	37	37	0	日 0 生 0 作 0	37	37	0	日 0 生 0 作 0
自立活動			1038	1038	0	日 0 生 0 作 0	1039	1039	0	日 0 生 0 作 0	1025	1025	0	日 0 生 0 作 0
総合的な探究の時間														
合計	教科別の指導で行う時数			1112				1113				1099		
	合わせた指導で行う時数													
	総時数			1112				1113				1099		

【指導形態】

日常生活の指導	0	0	0
生活単元学習	0	0	0
作業学習	0	0	0
合計	0	0	0

<本校 高等部>

ア-ii I 課程 A (令和3年度入学 準ずる教育課程・下学年適用の教育課程)

教科等		科目名	標準 単位数	1年	2年	3年	合計	備考
各 学 科 に 共 通 す る 各 教 科 ・ 科 目	国語	国語総合	4	0	111	110	221	
		国語表現	3	111	0	0	111	
	地理歴史	世界史A	2	74	0	0	74	
		地理A	2	0	0	73	73	
	公民	現代社会	2	0	74	0	74	
	数学	数学 I	3	0	74	73	147	
		数学A	2	74	0	0	74	
	理科	化学基礎	2	74	0	0	74	
		生物基礎	2	0	74	0	74	
		地学基礎	2	0	0	73	73	
	保健体育	体育	7	111	74	73	258	
		保健	2	0	37	37	74	
	芸術	音楽 I	2	0	0	73	73	
		音楽表現		74	74	0	148	
		美術 I	2	0	74	0	74	
		美術表現		74	0	73	147	
	外国語	コミュニケーション英語基礎	3	0	111	0	111	
		コミュニケーション英語 I	4	111	0	110	221	
	家庭	家庭基礎	2	0	74	0	74	
	情報	社会と情報	2	0	37	37	74	
	学校設定教科	職業と生活		74	0	73	147	
共通教科・科目単位数計			48	777	814	805	2396	
総合的な探究の時間			3	74	37	37	148	
特別活動		ホームルーム活動	3	37	37	37	111	
自立活動				224	225	220	669	
計			6	335	299	294	928	
合計			54	1112	1113	1099	3324	

※行事等取り組みの事前事後学習や就業体験は「総合的な探究の時間」とする。

<本校 高等部>

ア-ii I 課程 B (令和3年度入学 準ずる教育課程・下学年適用の教育課程)

教科等		科目名	標準 単位数	1年	2年	3年	合計	備考
各学科に共通する各教科・科目	国語	国語総合	4	0	37	73	110	
		国語表現	3	74	0	0	74	
	地理歴史	世界史A	2	74	0	0	74	
		地理A	2	0	0	73	73	
	公民	現代社会	2	0	74	0	74	
	数学	数学I	3	0	74	37	111	
		数学A	2	74	0	0	74	
	理科	化学基礎	2	74	0	0	74	
		生物基礎	2	0	74	0	74	
		地学基礎	2	0	0	73	73	
	保健体育	体育	7	111	74	73	258	
		保健	2	0	37	37	74	
	芸術	音楽I	2	0	0	73	73	
		音楽表現		74	37	0	111	
		美術I	2	0	74	0	74	
		美術表現		74	0	37	111	
	外国語	コミュニケーション英語基礎	3	0	74	0	74	
		コミュニケーション英語I	4	37	0	73	110	
	家庭	家庭基礎	2	0	74	0	74	
	情報	社会と情報	2	0	37	37	74	
	学校設定教科	職業と生活		37	0	73	110	
共通教科・科目単位数計			48	629	666	659	1954	
総合的な探究の時間			3	74	37	37	148	
特別活動		ホームルーム活動	3	37	37	37	111	
自立活動				372	373	366	1111	
計			6	483	447	440	1370	
合計			54	1112	1113	1099	3324	

※行事等取り組みの事前事後学習や就業体験は「総合的な探究の時間」とする。

様式 7

イ-ii II 課程 A (令和 3 年度入学 知的障害特別支援学校代替の教育課程)

日：日常生活の指導 生：生活単元学習 作：作業学習

	教科等		1 年				2 年				3 年							
			総時数	教科別の指導	合わせた指導		総時数	教科別の指導	合わせた指導		総時数	教科別の指導	合わせた指導					
各学科に共通する各教科	国語		111	111	0	日 生 作	0	111	111	0	日 生 作	0	110	110	0	日 生 作	0	
	社会		74	74	0	日 生 作	0	74	74	0	日 生 作	0	73	73	0	日 生 作	0	
	数学		74	74	0	日 生 作	0	74	74	0	日 生 作	0	73	73	0	日 生 作	0	
	理科		74	74	0	日 生 作	0	74	74	0	日 生 作	0	73	73	0	日 生 作	0	
	音楽		74	74	0	日 生 作	0	74	74	0	日 生 作	0	73	73	0	日 生 作	0	
	美術		74	74	0	日 生 作	0	74	74	0	日 生 作	0	73	73	0	日 生 作	0	
	保健体育		111	111	0	日 生 作	0	111	111	0	日 生 作	0	110	110	0	日 生 作	0	
	職業		19	0	19	日 生 作	19	19	0	19	日 生 作	19	19	0	19	日 生 作	19	
	家庭		20	0	20	日 生 作	20	20	0	20	日 生 作	20	19	0	19	日 生 作	19	
	外国語		111	111	0	日 生 作	0	111	111	0	日 生 作	0	110	110	0	日 生 作	0	
	情報		0	0	0	日 生 作	0	37	37	0	日 生 作	0	37	37	0	日 生 作	0	
	学校設定教科		0					0					0					
			0					0					0					
共通教科時数計			742	703			779	740			770	732						
道徳科			35	0	35	日 生 作	35	0	35	日 生 作	35	35	0	35	日 生 作	35		
特別活動		ホームルーム活動	37	37	0	日 生 作	0	37	37	0	日 生 作	0	37	37	0	日 生 作	0	
自立活動			224	224	0	日 生 作	0	225	225	0	日 生 作	0	220	220	0	日 生 作	0	
総合的な探究の時間			74				37				37							
合計	教科別の指導で行う時数			1038					1039					1026				
	合わせた指導で行う時数		74				74				71							
	総時数		1112				1113				1099							
【指導形態】																		
日常生活の指導			0				0				0							
生活単元学習			0				0				0							
作業学習			74				74				73							
合計			74				74				73							

※道徳科を「各教科等を合わせた指導」において設定し、教育活動全体を通して行う。

※時数が 0 時間の教科は「各教科等を合わせた指導」の中で指導する。

イ-ii II 課程 B (令和3年度入学 知的障害特別支援学校代替の教育課程)

日：日常生活の指導 生：生活単元学習 作：作業学習

	教科等		1 年				2 年				3 年			
			総時数	教科別の指導	合わせた指導		総時数	教科別の指導	合わせた指導		総時数	教科別の指導	合わせた指導	
各 学 科 に 共 通 す る 各 教 科	国語		74	74	0	日 0 生 0 作 0	37	37	0	日 0 生 0 作 0	73	73	0	日 0 生 0 作 0
	社会		74	74	0	日 0 生 0 作 0	74	74	0	日 0 生 0 作 0	73	73	0	日 0 生 0 作 0
	数学		74	74	0	日 0 生 0 作 0	74	74	0	日 0 生 0 作 0	37	37	0	日 0 生 0 作 0
	理科		74	74	0	日 0 生 0 作 0	74	74	0	日 0 生 0 作 0	73	73	0	日 0 生 0 作 0
	音楽		74	74	0	日 0 生 0 作 0	37	37	0	日 0 生 0 作 0	73	73	0	日 0 生 0 作 0
	美術		74	74	0	日 0 生 0 作 0	74	74	0	日 0 生 0 作 0	37	37	0	日 0 生 0 作 0
	保健体育		111	111	0	日 0 生 0 作 0	111	111	0	日 0 生 0 作 0	110	110	0	日 0 生 0 作 0
	職業		1	0	1	日 0 生 0 作 1	19	0	19	日 0 生 0 作 19	19	0	19	日 0 生 0 作 19
	家庭		1	0	1	日 0 生 0 作 1	20	0	20	日 0 生 0 作 20	19	0	19	日 0 生 0 作 19
	外国語		37	37	0	日 0 生 0 作 0	74	74	0	日 0 生 0 作 0	73	73	0	日 0 生 0 作 0
	情報		0	0	0	日 0 生 0 作 0	37	37	0	日 0 生 0 作 0	37	37	0	日 0 生 0 作 0
	学校設定教科		0				0				0			
			0				0				0			
共通教科時数計			594	592			631	592			624	586		
道徳科			35	0	35	日 0 生 0 作 35	35	0	35	日 0 生 0 作 35	35	0	35	日 0 生 0 作 35
特別活動	ホームルーム活動		37	37	0	日 0 生 0 作 0	37	37	0	日 0 生 0 作 0	37	37	0	日 0 生 0 作 0
自立活動			372	372	0	日 0 生 0 作 0	373	373	0	日 0 生 0 作 0	366	366	0	日 0 生 0 作 0
総合的な探究の時間			74				37				37			
合計	教科別の指導で行う時数			1075				1039				1026		
	合わせた指導で行う時数		37				74				73			
	総時数		1112				1113				1099			

【指導形態】

日常生活の指導	0	0	0
生活単元学習	0	0	0
作業学習	37	74	73
合計	37	74	73

※道徳科を「各教科等を合わせた指導」において設定し、教育活動全体を通して行う。
 ※時数が0時間の教科は「各教科等を合わせた指導」の中で指導する。

様式 7

ウ-ii III課程（令和3年度入学 自立活動を主とした教育課程）

日：日常生活の指導 生：生活単元学習 作：作業学習

	教科等		1 年					2 年					3 年				
			総時数	教科別の指導	合わせた指導			総時数	教科別の指導	合わせた指導			総時数	教科別の指導	合わせた指導		
各学科に共通する各教科	国語		0		0	日	0	0		0	日	0	0		0	日	0
						生	0				生	0				生	0
						作	0				作	0				作	0
	社会		0		0	日	0	0		0	日	0	0		0	日	0
						生	0				生	0				生	0
						作	0				作	0				作	0
	数学		0		0	日	0	0		0	日	0	0		0	日	0
						生	0				生	0				生	0
						作	0				作	0				作	0
	理科		0		0	日	0	0		0	日	0	0		0	日	0
						生	0				生	0				生	0
						作	0				作	0				作	0
	音楽		0		0	日	0	0		0	日	0	0		0	日	0
						生	0				生	0				生	0
						作	0				作	0				作	0
	美術		0		0	日	0	0		0	日	0	0		0	日	0
						生	0				生	0				生	0
						作	0				作	0				作	0
	保健体育		0		0	日	0	0		0	日	0	0		0	日	0
						生	0				生	0				生	0
						作	0				作	0				作	0
	職業		0		0	日	0	0		0	日	0	0		0	日	0
						生	0				生	0				生	0
						作	0				作	0				作	0
	家庭		0		0	日	0	0		0	日	0	0		0	日	0
						生	0				生	0				生	0
						作	0				作	0				作	0
	外国語		0		0	日	0	0		0	日	0	0		0	日	0
						生	0				生	0				生	0
						作	0				作	0				作	0
	情報		0		0	日	0	0		0	日	0	0		0	日	0
						生	0				生	0				生	0
						作	0				作	0				作	0
	学校設定教科		0					0					0				
			0					0					0				
共通教科時数計			0	0				0					0				
道徳科			37	37	0	日	0	37	37	0	日	0	37	37	0	日	0
						生	0				生	0				生	0
						作	0				作	0				作	0
特別活動		ホームルーム活動	37	37	0	日	0	37	37	0	日	0	37	37	0	日	0
						生	0				生	0				生	0
						作	0				作	0				作	0
自立活動			1038	1038	0	日	0	1039	1039	0	日	0	1025	1025	0	日	0
						生	0				生	0				生	0
						作	0				作	0				作	0
総合的な探究の時間																	
合計	教科別の指導で行う時数			1112					1113					1099			
	合わせた指導で行う時数																
	総時数			1112					1113					1099			

【指導形態】

日常生活の指導	0	0	0
生活単元学習	0	0	0
作業学習	0	0	0
合計	0	0	0

<本校 高等部>

ア-iii I 課程 A (令和2年度入学 準ずる教育課程・下学年適用の教育課程)

教科等		科目名	標準 単位数	1年	2年	3年	合計	備考
各学科に共通する各教科・科目	国語	国語総合	4	111	0	110	221	
		国語表現	3	0	111	0	111	
	地理歴史	世界史A	2	0	74	0	74	
		地理A	2	74	0	0	74	
	公民	現代社会	2	0	0	73	73	
	数学	数学 I	3	74	0	73	147	
		数学A	2	0	74	0	74	
	理科	化学基礎	2	0	74	0	74	
		生物基礎	2	0	0	73	73	
		地学基礎	2	74	0	0	74	
	保健体育	体育	7	74	111	73	258	
		保健	2	37	0	37	74	
	芸術	音楽 I	2	74	0	0	74	
		音楽表現		0	74	73	147	
		美術 I	2	0	0	73	73	
		美術表現		74	74	0	148	
	外国語	コミュニケーション英語基礎	3	0	0	110	110	
		コミュニケーション英語 I	4	111	111	0	222	
	家庭	家庭基礎	2	0	0	73	73	
	情報	社会と情報	2	37	0	37	74	
	学校設定教科	職業と生活		74	74	0	148	
共通教科・科目単位数計			48	814	777	805	2396	
総合的な探究の時間			3	37	74	37	148	
特別活動		ホームルーム活動	3	37	37	37	111	
自立活動				224	225	220	669	
計			6	298	336	294	928	
合計			54	1112	1113	1099	3324	

※行事等取り組みの事前事後学習や就業体験は「総合的な探究の時間」とする。

<本校 高等部>

ア-iii I 課程 B (令和2年度入学 準ずる教育課程・下学年適用の教育課程)

教科等		科目名	標準 単位数	1年	2年	3年	合計	備考
各学科に共通する各教科・科目	国語	国語総合	4	74	0	37	111	
		国語表現	3	0	74	0	74	
	地理歴史	世界史A	2	0	74	0	74	
		地理A	2	74	0	0	74	
	公民	現代社会	2	0	0	73	73	
	数学	数学 I	3	37	0	73	110	
		数学A	2	0	74	0	74	
	理科	化学基礎	2	0	74	0	74	
		生物基礎	2	0	0	73	73	
		地学基礎	2	74	0	0	74	
	保健体育	体育	7	74	111	73	258	
		保健	2	37	0	37	74	
	芸術	音楽 I	2	74	0	0	74	
		音楽表現		0	74	37	111	
		美術 I	2	0	0	73	73	
		美術表現		37	74	0	111	
	外国語	コミュニケーション英語基礎	3	0	0	73	73	
		コミュニケーション英語 I	4	74	37	0	111	
	家庭	家庭基礎	2	0	0	73	73	
	情報	社会と情報	2	37	0	37	74	
	学校設定教科	職業と生活		74	37	0	111	
共通教科・科目単位数計			48	666	629	659	1954	
総合的な探究の時間			3	37	74	37	148	
特別活動		ホームルーム活動	3	37	37	37	111	
自立活動				372	373	366	1111	
計			6	446	484	440	1370	
合計			54	1112	1113	1099	3324	

※行事等取り組みの事前事後学習や就業体験は「総合的な探究の時間」とする。

イ-iii II 課程 A (令和2年度入学 知的障害特別支援学校代替の教育課程)

日：日常生活の指導 生：生活単元学習 作：作業学習

	教科等		1 年					2 年					3 年				
			総時数	教科別の指導	合わせた指導			総時数	教科別の指導	合わせた指導			総時数	教科別の指導	合わせた指導		
各学科に共通する各教科	国語		111	111	0	日 生 作	0 0 0	111	111	0	日 生 作	0 0 0	110	110	0	日 生 作	0 0 0
	社会		74	74	0	日 生 作	0 0 0	74	74	0	日 生 作	0 0 0	73	73	0	日 生 作	0 0 0
	数学		74	74	0	日 生 作	0 0 0	74	74	0	日 生 作	0 0 0	73	73	0	日 生 作	0 0 0
	理科		74	74	0	日 生 作	0 0 0	74	74	0	日 生 作	0 0 0	73	73	0	日 生 作	0 0 0
	音楽		74	74	0	日 生 作	0 0 0	74	74	0	日 生 作	0 0 0	73	73	0	日 生 作	0 0 0
	美術		74	74	0	日 生 作	0 0 0	74	74	0	日 生 作	0 0 0	73	73	0	日 生 作	0 0 0
	保健体育		111	111	0	日 生 作	0 0 0	111	111	0	日 生 作	0 0 0	110	110	0	日 生 作	0 0 0
	職業		19	0	19	日 生 作	0 0 19	19	0	19	日 生 作	0 0 19	19	0	19	日 生 作	0 0 19
	家庭		20	0	20	日 生 作	0 0 20	20	0	20	日 生 作	0 0 20	19	0	19	日 生 作	0 0 19
	外国語		111	111	0	日 生 作	0 0 0	111	111	0	日 生 作	0 0 0	110	110	0	日 生 作	0 0 0
	情報		37	37	0	日 生 作	0 0 0	0	0	0	日 生 作	0 0 0	37	37	0	日 生 作	0 0 0
	学校設定教科		0					0					0				
			0					0					0				
共通教科時数計			779	740			742	703			770	732					
道徳科			35	0	35	日 生 作	0 0 35	35	0	35	日 生 作	0 0 35	35	0	35	日 生 作	0 0 35
特別活動	ホームルーム活動	37	37	0	日 生 作	0 0 0	37	37	0	日 生 作	0 0 0	37	37	0	日 生 作	0 0 0	
自立活動			224	224	0	日 生 作	0 0 0	225	225	0	日 生 作	0 0 0	220	220	0	日 生 作	0 0 0
総合的な探究の時間			37					74					37				
合計	教科別の指導で行う時数			1038					1039					1026			
	合わせた指導で行う時数		74					74					71				
	総時数		1112					1113					1099				
【指導形態】																	
日常生活の指導			0					0					0				
生活単元学習			0					0					0				
作業学習			74					74					73				
合計			74					74					73				

※道徳科を「各教科等を合わせた指導」において設定し、教育活動全体を通して行う。

※時数が0時間の教科は「各教科等を合わせた指導」の中で指導する。

イ-iii II 課程 B (令和 2 年度入学 知的障害特別支援学校代替の教育課程)

日：日常生活の指導 生：生活単元学習 作：作業学習

	教科等		1 年				2 年				3 年			
			総時数	教科別の指導	合わせた指導	日	生	作	総時数	教科別の指導	合わせた指導	日	生	作
各学科に共通する各教科	国語		74	74	0	0	0	0	74	74	0	0	0	0
	社会		74	74	0	0	0	0	74	74	0	0	0	0
	数学		37	37	0	0	0	0	74	74	0	0	0	0
	理科		74	74	0	0	0	0	74	74	0	0	0	0
	音楽		74	74	0	0	0	0	74	74	0	0	0	0
	美術		37	37	0	0	0	0	74	74	0	0	0	0
	保健体育		111	111	0	0	0	0	111	111	0	0	0	0
	職業		19	0	19	0	19	0	1	0	1	0	19	0
	家庭		20	0	20	0	20	0	1	0	1	0	19	0
	外国語		74	74	0	0	0	0	37	37	0	0	0	0
	情報		37	37	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	学校設定教科		0						0					
共通教科時数計			631	592					594	592				
道徳科			35	0	35	0	35	0	35	0	35	0	35	0
特別活動	ホームルーム活動		37	37	0	0	0	0	37	37	0	0	0	0
自立活動			372	372	0	0	0	0	373	373	0	0	0	0
総合的な探究の時間			37				74				37			
合計	教科別の指導で行う時数			1038						1076				
	合わせた指導で行う時数		74				37				71			
	総時数		1112				1113				1099			

【指導形態】

日常生活の指導	0	0	0
生活単元学習	0	0	0
作業学習	74	37	73
合計	74	37	73

※道徳科を「各教科等を合わせた指導」において設定し、教育活動全体を通して行う。

※時数が 0 時間の教科は「各教科等を合わせた指導」の中で指導する。

様式 7

ウ-iii III課程（令和2年度入学 自立活動を主とした教育課程）

日：日常生活の指導 生：生活単元学習 作：作業学習

	教科等		1 年					2 年					3 年							
			総時数	教科別の指導	合わせた指導			総時数	教科別の指導	合わせた指導			総時数	教科別の指導	合わせた指導					
各学科に共通する各教科	国語		0		0	日	0	0		0	日	0	0		0	日	0	0		
						生	0			0	生	0			0	生	0			
						作	0			0	作	0			0	作	0			
	社会		0		0	日	0	0		0	日	0	0		0	日	0			
						生	0			0	生	0			0	生	0			
						作	0			0	作	0			0	作	0			
	数学		0		0	日	0	0		0	日	0	0		0	日	0			
						生	0			0	生	0			0	生	0			
						作	0			0	作	0			0	作	0			
	理科		0		0	日	0	0		0	日	0	0		0	日	0			
						生	0			0	生	0			0	生	0			
						作	0			0	作	0			0	作	0			
音楽		0		0	日	0	0		0	日	0	0		0	日	0				
					生	0			0	生	0			0	生	0				
					作	0			0	作	0			0	作	0				
美術		0		0	日	0	0		0	日	0	0		0	日	0				
					生	0			0	生	0			0	生	0				
					作	0			0	作	0			0	作	0				
保健体育		0		0	日	0	0		0	日	0	0		0	日	0				
					生	0			0	生	0			0	生	0				
					作	0			0	作	0			0	作	0				
職業		0		0	日	0	0		0	日	0	0		0	日	0				
					生	0			0	生	0			0	生	0				
					作	0			0	作	0			0	作	0				
家庭		0		0	日	0	0		0	日	0	0		0	日	0				
					生	0			0	生	0			0	生	0				
					作	0			0	作	0			0	作	0				
外国語		0		0	日	0	0		0	日	0	0		0	日	0				
					生	0			0	生	0			0	生	0				
					作	0			0	作	0			0	作	0				
情報		0		0	日	0	0		0	日	0	0		0	日	0				
					生	0			0	生	0			0	生	0				
					作	0			0	作	0			0	作	0				
学校設定教科		0						0					0							
		0						0					0							
共通教科時数計			0	0				0					0							
道徳科			37	37	0	日	0	37	37	0	日	0	37	37	0	日	0			
						生	0				生	0				生	0			
						作	0				作	0				作	0			
特別活動	ホームルーム活動	37	37	0	日	0	37	37	0	日	0	37	37	0	日	0				
					生	0				生	0				生	0				
					作	0				作	0				作	0				
自立活動			1038	1038	0	日	0	1039	1039	0	日	0	1025	1025	0	日	0			
						生	0				生	0				生	0			
						作	0				作	0				作	0			
総合的な探究の時間																				
合計	教科別の指導で行う時数			1112							1113						1099			
	合わせた指導で行う時数																			
	総時数	1112					1113					1099								
【指導形態】																				
日常生活の指導			0					0					0							
生活単元学習			0					0					0							
作業学習			0					0					0							
合計			0					0					0							

(11) 特別活動の計画

様式 8

① 年間行事計画（本校：高等部）

学期	月日	曜日	行事名		時間配当		
			種類	事項	1年	2年	3年
一学期	4月7日	木	儀式的	1学期始業式		1	1
	4月7日	木	儀式的	入学式	1	1	1
	4月21日	木	健康安全・体育的	歯科検診	1	1	1
	4月22日	金	旅行・集团的	遠足	6	6	6
	5月12日	木	健康安全・体育的	眼科検診	1	1	1
	5月18日	水	健康安全・体育的	火災避難訓練	1	1	1
	6月15日	水	健康安全・体育的	内科検診	1	1	1
	7月6日	水	健康安全・体育的	不審者対応訓練	1	1	1
	7月20日	水	儀式的	1学期終業式	1	1	1
	小計					13	14
学期	月日	曜日	行事名		時間配当		
			種類	事項	1年	2年	3年
二学期	9月1日	木	儀式的	2学期始業式	1	1	1
	10月16日	日	健康安全・体育的	第19回運動会	4	4	4
	10月26日	水	健康安全・体育的	総合避難訓練	1	1	1
	12月23日	金	儀式的	2学期終業式	1	1	1
	小計					7	7
学期	月日	曜日	行事名		時間配当		
			種類	事項	1年	2年	3年
三学期	1月6日	金	儀式的	3学期始業式	1	1	1
	3月17日	金	儀式的	高等部卒業式	2	2	2
	3月23日	木	儀式的	小中卒業式	2	2	
	3月24日	金	儀式的	修了式・離任式	2	2	
	小計					7	7
合計					27	28	24

様式 9

② その他の特別活動の計画

生徒会活動年間予定時数

	学期	実施予定		時間配当		
		回数	内容（時数）	1年	2年	3年
生徒会活動	1 学期	3	訪問職員顔合わせ会(1) 新入生歓迎会(1) 児童生徒総会(1)	3	3	3
	2 学期	2	児童生徒会立候補者演説・投票(1) 児童生徒会新役員認証式、新旧役員交代式(1)	2	2	2
	3 学期	0		0	0	0
合計				5	5	5

4 中学部（病院内訪問学級）

（1）中学部の教育目標

- ① 体調管理を図りながら、前向きに努力する生徒
- ② 情操豊かで思いやりのある生徒
- ③ 自主的に学習し、ねばり強く問題解決に取り組む生徒
- ④ 他人と協力し積極的に自らの役割を果たす生徒

（2）教育課程の編成方針

- ① 生徒個々の障害等の状態及び発達段階や特性等に応じて弾力的に編成する。
- ② 生徒の体調に配慮した時間割の編成を考慮し、授業時数を確保する。
- ③ 特定の教科・領域に偏ることなく、調和と統一のある教育課程を編成するように努める。
- ④ 生徒の実態に応じてコンピュータ等の情報機器を活用し、情報教育の充実が図られるように編成する。
- ⑤ 重複障害学級については、個々の生徒の実態を十分考慮し、発達段階に応じて弾力的に編成する。
- ⑥ 本校、他病院内訪問学級との交流、原籍校との交流及び共同学習を通して視野を広げ社会性を養うように編成する。
- ⑦ 毎週水曜日は本校での職員連絡会及び研修会のため休業日とする。

（3）各教科等の指導の重点

観点：（ア）知識及び技能 （イ）思考力・判断力・表現力等 （ウ）学びに向かう力・人間性等

〈Ⅰ 課程〉

①各教科

国 語

- （ア）社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができる。
- （イ）社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- （ウ）言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

社 会

- （ア）我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付ける。
- （イ）社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- （ウ）社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

数 学

- （ア）数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。
- （イ）数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- （ウ）数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。

理 科

- （ア）自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。
- （イ）観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

(ウ) 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

外国語(英語)

- (ア) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解し、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付ける。
- (イ) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的及び社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えを理解、表現、伝え合ったりすることができる力を養う。
- (ウ) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

技術・家庭

- (ア) 生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付ける。
- (イ) 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。
- (ウ) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

音楽

- (ア) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付ける。
- (イ) 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができる。
- (ウ) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。

美術

- (ア) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。
- (イ) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。
- (ウ) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

保健体育

- (ア) 体調に応じ各種の運動の特性を知り、技能等及び個人生活における健康・安全について理解する。
- (イ) 運動や健康についての課題を見つけ、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- (ウ) 生涯にわたって運動に親しむ態度を育て、健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

②道徳科

- ・病弱等に基づく学習上又は生活上の困難を克服し、強く生きようとする意欲を高め明るい生活態度を養うとともに、健全な人生観の育成を図る。
- ・法やきまりの意義を理解させ、主体的に社会の形成に参画しようとする態度を養う。
- ・伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する心を育てる。
- ・自他の生命を尊重し、国際社会に生きる日本人としての自覚を養う。
- ・経験の拡充を図り、豊かな道徳的心情を育て、広い視野に立って道徳的判断や行動ができる力を培う。

③特別活動

- (ア) 多様な他者と協働し、活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付ける。

- (イ) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決や合意形成を図ったり意思決定したりすることができる。
- (ウ) 生徒の病状や体調等を考慮し、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

④ 自立活動

- ・ 健康状態の維持・改善を図るための知識を習得し、健康の自己管理を適切に行う態度を養う。
- ・ 状況の変化に主体的に対応し、意欲の向上や情緒の安定を図る。
- ・ 個々の実態を踏まえ補助用具や補助的手段の活用を図り、コミュニケーション能力の向上や人間関係の形成を図る。
- ・ 体温の調節、覚醒と睡眠、食事、排泄、衣服の調節など、健康状態の維持・改善に必要な生活リズムを整え、生活習慣の形成及び心理的安定を図る。
- ・ 人との関わりや音楽・感触遊び等の活動を通して快の体験を広げ、情緒の安定を図る。
- ・ いろいろな素材の物に触れて、視覚、聴覚、触覚、嗅覚に刺激を与え、人や物への興味・関心を広げる。

⑤ 総合的な学習の時間

- (ア) 探求的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探求的な学習のよさを理解する。
- (イ) 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立てて、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができる。
- (ウ) 探求的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、お互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

〈Ⅱ・Ⅲ課程〉

① 各教科

国 語

- (ア) 日常生活や社会生活に必要な読み書きやコミュニケーションに関することについて、生徒の学習段階に応じてその知識や技能を身につけるとともに、適切に使うことができる。
- (イ) 日常生活や社会生活における人との関わりの中で相手の意図を理解して聞くことや、場に応じて話したりする能力などの伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- (ウ) 言葉がもつよさに気付くとともに、言語感覚を養い、国語を大切にしてその能力の向上を図る態度を養う。

社 会

- (ア) 地域や我が国の国土の地理的環境、現代社会の仕組みや役割、地域や我が国の歴史や伝統と文化及び外国の様子について、具体的な活動や体験を通して理解するとともに、経験したことと関連付けて、調べまとめる技能を身に付ける。
- (イ) 社会的事象について、自分の生活と結び付けて具体的に考え、社会との関わりの中で、選択・判断したことを適切に表現する力を養う。
- (ウ) 社会に主体的に関わろうとする態度を養い、地域社会の一員として人々と共に生きていくことの大切さにての自覚を養う。

数 学

- (ア) 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解し、事象を数理的に処理する技能を身に付ける。
- (イ) 日常の事象を数理的に捉え、見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

- (ウ) 数学的活動の楽しさや数学のよさに気づき、学習を振り返ってよりよく問題を解決しようとする態度、数学で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。

理 科

- (ア) 自然の事物・現象についての基本的な理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付ける。
- (イ) 観察、実験などを行い、疑問をもつ力と予想や仮説を立てる力を養う。
- (ウ) 自然を愛する心情を養うとともに、学んだことを主体的に日常生活や社会生活などに生かそうとする態度を養う。

外国語（英語）

- (ア) 外国語の音声や語彙、表現などの働きなどを理解し、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付ける。
- (イ) コミュニケーションを行う目的や場面などに応じて、日常的な話題について、外国語で簡単な情報や考えを理解、表現、伝え合ったりすることができる力を養う。
- (ウ) 外国語の背景にある文化に対する理解し、聞き手、読み手、話し手、書き手のことを考えながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

技術・家庭

- (ア) 生活や職業に対する関心を高め、将来の家庭生活や職業生活に係る基礎的な知識や技能を身に付ける。
- (イ) 将来の家庭生活や職業生活に必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、自分の考えを表現するなどして、課題を解決する力を養う。
- (ウ) よりよい家庭生活や将来の職業生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。

音 楽

- (ア) 曲名や曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な技能を身に付ける。
- (イ) 音楽表現を考えることや、曲や演奏のよさなどを見いだしながら、音や音楽を味わって聴くことができる。
- (ウ) 進んで音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じるとともに、様々な音楽に親しんでいく 態度を養い、豊かな情操を培う。

美 術

- (ア) 造形的な視点について理解し、表したいことに合わせて材料や用具を使い、表し方を工夫する技能を身に付ける。
- (イ) 造形的なよさや面白さ、美しさ、表したいことや表し方などについて考え、経験したことや材料などを基に、発想し構想するとともに、造形や作品などを鑑賞し、自分の見方や感じ方を深めることができる。
- (ウ) 創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を営む態度を養い、豊かな情操を培う。

保健体育

- (ア) 体調に応じ各種の運動の特性を知り、技能等及び個人生活における健康・安全について理解する。
- (イ) 健康・安全についての自分の課題を知り、その解決に向けて自ら思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- (ウ) 生涯にわたって運動に親しむことや健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

②道徳科

- ・ 病弱等に基づく学習上又は生活上の困難を克服し、強く生きようとする意欲を高め、明るい生活態度を養うとともに、健全な人生観の育成を図る。
- ・ 法やきまりの意義を理解させ、主体的に社会の形成に参画しようとする態度を養う。
- ・ 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する心を育てる。
- ・ 自他の生命を尊重し、国際社会に生きる日本人としての自覚を養う。
- ・ 経験の拡充を図り、豊かな道徳的心情を育て、広い視野に立って道徳的判断や行動ができる力を培う。

③特別活動

- (ア) 多様な他者と協働し、活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付ける。
- (イ) 集団や自己の生活や人間関係の課題について、解決や合意形成を図ったり、意思決定したりすることができる。
- (ウ) 生徒の病状や体調等を考慮し、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、自己の生き方について考え、自己実現を図ろうとする態度を養う。

④自立活動

- ・ 個々の実態を踏まえ補助用具や補助的手段の活用を図り、コミュニケーション能力の向上や人間関係の形成を図る。
- ・ 体温の調節、覚醒と睡眠、食事、排泄、衣服の調節など、健康状態の維持・改善に必要な生活リズムを整え、生活習慣の形成及び心理的安定を図る。
- ・ 人との関わりや音楽・感触遊び等の活動を通して快の体験を広げ、情緒の安定を図る。
- ・ いろいろな素材の物に触れて、視覚、聴覚、触覚、嗅覚に刺激を与え、人や物への興味・関心を広げる。

⑤総合的な学習の時間

- (ア) 探求的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、探求的な学習のよさを理解する。
- (イ) 実社会や実生活の中における問いについて、自ら情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができる。
- (ウ) 探求的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、お互いを尊重しながら、積極的に社会に参加しようとする態度を養う。

⑥各教科等を合わせた指導

日常生活の指導

- ・ 基礎的生活リズムや生活習慣を身に付け、体温の調節、食事、衣服の調節など、健康状態の維持・改善を図る。
- ・ 諸活動を通して、生活経験の拡大を図る。

生活単元学習

- ・ 学校行事や季節行事など様々な体験を通して生活経験を豊かにする。
- ・ 生徒の興味・関心、発達段階に応じ、諸活動を通して人との関わりを育て社会性を高める。

(4) 交流及び共同学習等の重点

- ① 互いに協力し合い、豊かな人間性を養う。
- ② 他校や地域、社会等とのふれあいの中で生活経験を広げ、社会性を養う。
- ③ 好ましい人間関係を育てるとともに、治療に対する意識や学習意欲の向上を図る。
- ④ 入院中も原籍校とつながりを持ち、退院後に不安なく戻ることができるように、ICT交流を進める。

(5) 生徒指導の重点

病院職員や保護者との連携を密にし、基本的な生活習慣を養い、意欲的で明るい生活を送る。

(6) キャリア教育の重点

- ① 自分の良さや個性が分かり、他者の感情や立場に配慮しながら行動ができる。
- ② 情報機器等の活用を通して、いろいろな職業を知り、仕事への関心や意欲を高める。
- ③ 将来の進路希望に基づいて当面の目標を立て、その達成に向けて努力する。
- ④ 医療機関や家庭と連携しながら、自分の病状を理解し、働くことの意義や将来の生き方を考える。

(7) 生涯学習への意欲を高める指導の重点

- ① 学校教育を通じて身につけた知識及び技能を活用する態度を培う。
- ② 持てる能力を最大限に伸ばし、さらなる学習への意欲を高める。
- ③ 多様なスポーツや文化芸術活動を体験し、生涯を通じて親しむ態度を培う。

(8) ICT機器利活用の重点

- ① 基礎的基本的な知識技能を用いて課題解決に必要な情報を収集し活用する能力を育てる。
- ② 自他の権利（著作権など）を尊重し情報社会での行動に責任を持つ態度を養う。
- ③ 危険回避（ネット犯罪など）情報を正しく安全に利用できる能力を身につける。
- ④ 健康に気を使いながら、情報機器を活用していく態度を養う。
- ⑤ 簡単なプログラミング学習にふれることで、道筋を立て問題解決をしていこうとする実践力を養う。

(9) 安全教育の重点

- ① 自己の健康状態及び障害を理解し、事故を未然に防ぐ態度を養う。
- ② 教室内や移動時における安全指導の充実徹底を図る。
- ③ 入院生活及び家庭生活における安全指導を行う。
- ④ 交流学习、校外学習等の安全及び交通安全指導の充実徹底を図る。
- ⑤ 災害時における危険について理解させ、防災意識を高めると共に、安全な行動の仕方を身につける。

(10) 授業日数及び授業時数の配当

様式 3

① 年間授業日数配当表 (病院内訪問学級：中学部)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1 年	13	16	16	11	0	16	16	16	14	14	15	14	161
2 年	13	16	16	11	0	16	16	16	14	14	15	14	161
3 年	13	16	16	11	0	16	16	16	14	14	15	13	160

② 年間総授業時数の配当表

I 課程（準ずる教育課程・下学年適用の教育課程）

教科等			1 年	2 年	3 年	備考
各教科	国語		137	137	137	
	社会		102	102	102	
	数学		136	137	136	
	理科		102	102	102	
	音楽		17	17	17	
	美術		17	17	17	
	保健体育		17	17	17	保健を含む
	技術・家庭	技術分野	17	17	17	
		家庭分野	17	17	17	
	外国語		136	137	136	
	選択教科					
小計			698	700	698	
道徳科			17	17	17	
総合的な学習の時間			34	34	34	
特別活動			17	17	17	
自立活動			18	17	18	
計			86	85	86	
合計			784	785	784	

※技能教科においては、生徒の実態に応じて授業時数を弾力的に配当する。

※生徒の障害や学級の実状に応じて、授業時数を弾力的に配当する。

様式 6

Ⅱ 課程 A（知的障害特別支援学校代替の教育課程）

日：日常生活の指導 生：生活単元学習 作：作業学習

			1 年				2 年				3 年							
			総 時数	教科別 の指導	合わせた 指導		総 時数	教科別 の指導	合わせた 指導		総 時数	教科別 の指導	合わせた 指導					
各教科	国語		171	137	34	日 生 作	17 17 0	171	137	34	日 生 作	17 17 0	171	137	34	日 生 作	17 17 0	
	社会		33	0	33	日 生 作	16 17 0	32	0	32	日 生 作	15 17 0	33	0	33	日 生 作	16 17 0	
	数学		170	136	34	日 生 作	17 17 0	171	137	34	日 生 作	17 17 0	170	136	34	日 生 作	17 17 0	
	理科		33	0	33	日 生 作	17 16 0	32	0	32	日 生 作	16 16 0	33	0	33	日 生 作	17 16 0	
	音楽		27	17	10	日 生 作	5 5 0	27	17	10	日 生 作	5 5 0	27	17	10	日 生 作	5 5 0	
	美術		27	17	10	日 生 作	5 5 0	27	17	10	日 生 作	5 5 0	27	17	10	日 生 作	5 5 0	
	保健体育		27	17	10	日 生 作	5 5 0	27	17	10	日 生 作	5 5 0	27	17	10	日 生 作	5 5 0	
	職業・家庭	職業分野	11	8	3	日 生 作	1 2 0	13	8	5	日 生 作	3 2 0	11	8	3	日 生 作	1 2 0	
		家庭分野	12	9	3	日 生 作	2 1 0	14	9	5	日 生 作	3 2 0	12	9	3	日 生 作	2 1 0	
	外国語		0	0	0	日 生 作	0 0 0	0	0	0	日 生 作	0 0 0	0	0	0	日 生 作	0 0 0	
	選択教科		0	0			0	0			0	0			0	0		
			0	0			0	0			0	0			0	0		
道徳科			34	0	34	日 生 作	17 17 0	34	0	34	日 生 作	17 17 0	34	0	34	日 生 作	17 17 0	
特別活動			68	34	34	日 生 作	17 17 0	68	34	34	日 生 作	17 17 0	68	34	34	日 生 作	17 17 0	
自立活動			137	103	34	日 生 作	17 17 0	135	101	34	日 生 作	17 17 0	137	103	34	日 生 作	17 17 0	
総合的な学習の時間			34				34				34							
合計	教科別の指導で行う時数				512					511					512			
	合わせた指導で行う時数		272				274				272							
	総時数		784				785				784							

【指導形態】

日常生活の指導		136		137		136
生活単元学習		136		137		136
作業学習		0		0		0
合計		272		274		272

※道徳は教育活動全体の中で指導する。

※生徒の障害や学級の実状に応じて、授業時数を弾力的に配当する。

※時数が 0 時間の教科は「各教科等を合わせた指導」の中で指導する。

Ⅱ 課程 B（知的障害特別支援学校代替の教育課程）

日：日常生活の指導 生：生活単元学習 作：作業学習

			1 年				2 年				3 年				
			総 時数	教科別 の指導	合わせた 指導		総 時数	教科別 の指導	合わせた 指導		総 時数	教科別 の指導	合わせた 指導		
各教科	国語		110		110	日 59 生 51 作 0	110		110	日 59 生 51 作 0	110		110	日 59 生 51 作 0	
	社会		33		33	日 17 生 16 作 0	33		33	日 17 生 16 作 0	33		33	日 17 生 16 作 0	
	数学		108		108	日 57 生 51 作 0	108		108	日 57 生 51 作 0	108		108	日 57 生 51 作 0	
	理科		33		33	日 17 生 16 作 0	33		33	日 17 生 16 作 0	33		33	日 17 生 16 作 0	
	音楽		50	17	33	日 17 生 16 作 0	50	17	33	日 17 生 16 作 0	50	17	33	日 17 生 16 作 0	
	美術		50	17	33	日 17 生 16 作 0	50	17	33	日 17 生 16 作 0	50	17	33	日 17 生 16 作 0	
	保健体育		50	17	33	日 17 生 16 作 0	50	17	33	日 17 生 16 作 0	50	17	33	日 17 生 16 作 0	
	職業・家庭	職業分野	24	8	16	日 8 生 8 作 0	24	8	16	日 8 生 8 作 0	24	8	16	日 8 生 8 作 0	
		家庭分野	26	9	17	日 9 生 8 作 0	26	9	17	日 9 生 8 作 0	26	9	17	日 9 生 8 作 0	
	外国語		0		0	日 0 生 0 作 0	0		0	日 0 生 0 作 0	0		0	日 0 生 0 作 0	
	選択教科		0 0				0 0				0 0				
	道徳科			32		32	日 17 生 15 作 0	32		32	日 17 生 15 作 0	32		32	日 17 生 15 作 0
特別活動			66	34	32	日 16 生 16 作 0	66	34	32	日 16 生 16 作 0	66	34	32	日 16 生 16 作 0	
自立活動			168	136	32	日 22 生 10 作 0	169	137	32	日 22 生 10 作 0	168	136	32	日 22 生 10 作 0	
総合的な学習の時間				34			34			34					
合計	教科別の指導で行う時数			272				273				272			
	合わせた指導で行う時数		512				512				512				
	総時数		784				785				784				

【指導形態】

日常生活の指導		273		273		273
生活単元学習		239		239		239
作業学習		0		0		0
合計		512		512		512

※道徳は教育活動全体の中で指導する。

※生徒の障害や学級の実状に応じて、授業時数を弾力的に配当する。

※時数が 0 時間の教科は「各教科等を合わせた指導」の中で指導する。

Ⅲ課程（自立活動を主とした教育課程）

日：日常生活の指導 生：生活単元学習 作：作業学習

			1 年				2 年				3 年							
			総 時数	教科別 の指導	合わせた 指導		総 時数	教科別 の指導	合わせた 指導		総 時数	教科別 の指導	合わせた 指導					
各教科	国語		12		12	日 生 作	12 0 0	12		12	日 生 作	12 0 0	12		12	日 生 作	12 0 0	
	社会		0		0	日 生 作	0 0 0	0		0	日 生 作	0 0 0	0		0	日 生 作	0 0 0	
	数学		12		12	日 生 作	12 0 0	12		12	日 生 作	12 0 0	12		12	日 生 作	12 0 0	
	理科		0		0	日 生 作	0 0 0	0		0	日 生 作	0 0 0	0		0	日 生 作	0 0 0	
	音楽		12		12	日 生 作	12 0 0	12		12	日 生 作	12 0 0	12		12	日 生 作	12 0 0	
	美術		12		12	日 生 作	12 0 0	12		12	日 生 作	12 0 0	12		12	日 生 作	12 0 0	
	保健体育		12		12	日 生 作	12 0 0	12		12	日 生 作	12 0 0	12		12	日 生 作	12 0 0	
	職業・家庭	職業分野	0		0	日 生 作	0 0 0	0		0	日 生 作	0 0 0	0		0	日 生 作	0 0 0	
		家庭分野	0		0	日 生 作	0 0 0	0		0	日 生 作	0 0 0	0		0	日 生 作	0 0 0	
	外国語		0		0	日 生 作	0 0 0	0		0	日 生 作	0 0 0	0		0	日 生 作	0 0 0	
	選択教科		0					0					0					
			0					0					0					
道徳科			35	35	0	日 生 作	0 0 0	35	35	0	日 生 作	0 0 0	35	35	0	日 生 作	0 0 0	
特別活動			35	35	0	日 生 作	0 0 0	35	35	0	日 生 作	0 0 0	35	35	0	日 生 作	0 0 0	
自立活動			149	149	0	日 生 作	0 0 0	149	149	0	日 生 作	0 0 0	149	149	0	日 生 作	0 0 0	
総合的な学習の時間																		
合計	教科別の指導で行う時数			219					219					219				
	合わせた指導で行う時数				60				60					60				
	総時数			279					279					279				

【指導形態】

日常生活の指導		60		60		60
生活単元学習		0		0		0
作業学習		0		0		0
合計		60		60		60

※病室内対応のため、生徒の実態に応じ授業時数を適切に配当する。

(11) 特別活動の計画

様式 8

① 年間行事計画（病院内訪問学級Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ課程：中学部）

学期	月日	曜日	行事名		時間配当		
			種類	事項	1年	2年	3年
一学期	4月7日	木	儀式的	1学期始業式	0	1	1
	4月7日	木	儀式的	入学式	1	1	1
	5月17日	火	旅行・集团的	春の遠足	6	6	6
	7月20日	水	儀式的	1学期終業式	1	1	1
	小計				8	9	9
学期	月日	曜日	行事名		時間配当		
			種類	事項	1年	2年	3年
二学期	9月1日	木	儀式的	2学期始業式	1	1	1
	10月16日	日	健康安全・体育的	第19回運動会	3	3	3
	12月23日	金	儀式的	2学期終業式	1	1	1
	小計				5	5	5
学期	月日	曜日	行事名		時間配当		
			種類	事項	1年	2年	3年
三学期	1月6日	金	儀式的	3学期始業式	1	1	1
	3月17日	金	儀式的	高等部卒業式	2	2	2
	3月23日	木	儀式的	小中卒業式	2	2	2
	3月24日	金	儀式的	修了式・離任式	2	2	0
	小計				7	7	5
合計					20	21	19

様式 9

② その他の特別活動の計画（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ課程）

生徒会活動年間予定時数

	学期	実施予定		時間配当		
		回数	内容（時数）	1年	2年	3年
生徒会活動	1学期	2	新入生歓迎会(1) 児童生徒総会(1)	2	2	2
	2学期	2	児童生徒会立候補者演説及び選挙投票(1) 児童生徒新役員認証式及び新旧役員交代式(1)	2	2	2
	3学期	0		0	0	0
合計				4	4	4

5 高等部(病院内訪問学級)

(1) 高等部の教育目標

- ① 広く豊かな心で互いを尊重し、協力し合える生徒
- ② 自己の心身の状態や特性を理解し、自らの可能性を伸ばし、意欲を持って主体的に学ぶ生徒
- ③ 社会の一員としての自覚を持ち、積極的に社会参加できる生徒

(2) 教育課程の編成方針

- ① 生徒の実態及び障害の状態、発達段階に即し個に応じた指導が十分に行われるように編成する。
- ② 行事を適切に配置し、授業時数の確保に努める。
- ③ 各教科、科目等の目的や内容について、その発展性や系統性を重視し、教材の精選及び指導内容の充実を図る。
- ④ 生徒の身体活動の状態等に応じて、教材・教具の工夫やコンピュータ等の情報機器の有効な活用を図る。
- ⑤ 本校、他病院内訪問学級との交流、原籍校、居住地校との交流及び共同学習を通して視野を広げ、社会性を養うように編成する。
- ⑥ 卒業後の自立や社会参加に備え、進路指導の充実を図る。
- ⑦ 毎週水曜日は、本校での職員連絡会及び研修会のため午前中授業とする。

(3) 各教科の指導の重点

観点：(ア)知識及び技能 (イ)思考力・判断力・表現力等 (ウ)学びに向かう力・人間性等

< I 課程 >

① 各教科

国 語

(ア)生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

(イ)生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

(ウ)目的や場面、意図に応じて話す能力、聞く能力、読む能力、書く能力の育成を図る。

地理歴史

(ア)現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

(イ)地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

(ウ)地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対かんする愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

公 民

(ア)選択・判断の手掛かりとなる概念や理論及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

(イ)現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。

(ウ)よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、人間としての在り方生き方についての自覚や、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

数 学

(ア)数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化

したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

- (イ) 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- (ウ) 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

理 科

- (ア) 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。
- (イ) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
- (ウ) 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

保健体育

- (ア) 各種の運動の特性を知り、基本的技能等及び社会生活における健康・安全について理解する。
- (イ) 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- (ウ) 生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を育成し、健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

(芸術) 音楽

- (ア) 音楽に関する専門的で幅広く多様な内容について理解を深めるとともに、表現意図を音楽で表すために必要な技能を身に付けるようにする。
- (イ) 音楽に関する専門的な知識や技能を総合的に働かせ、音楽の表現内容を解釈したり音楽の文化的価値などについて考えたりし、表現意図を明確にもったり、音楽や演奏の価値を見いだして鑑賞したりすることができるようにする。
- (ウ) 主体的に音楽に関する専門的な学習に取り組み、感性を磨き、音楽文化の継承、発展、創造に寄与する態度を養う。

(芸術) 美術

- (ア) 美術に関する専門的で幅広く多様な内容について理解を深めるとともに、独創的・創造的に表すことができるようにする。
- (イ) 美術に関する専門的な知識や技能を総合的に働かせ、創造的な思考力、判断力、表現力等を育成する。
- (ウ) 主体的に美術に関する専門的な学習に取り組み、感性を磨き、美術文化の継承、発展、創造に寄与する態度を養う。

外国語(英語)

- (ア) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深め、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。
- (イ) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的及び社会的な話題について、外国語でそれらの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図を的確に理解したり、お互いの考えを表現したり、伝え合ったりすることができる力を養う。
- (ウ) 外国語の背景にある文化に対して理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自立的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

家 庭

- (ア) 人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- (イ) 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。
- (ウ) 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

情 報

- (ア) 情報と情報技術及びこれらを活用して問題を発見・解決する方法について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについての理解を深めるようにする。
- (イ) 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。
- (ウ) 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

課題演習

- (ア) 自ら各教科・科目の課題を設定し、調べ学習や演習などを通してそれらに関連する知識や技能を身に付けるようにする。
- (イ) 各教科・科目の特性や課題について思考し、諸資料や情報機器などを使い課題の解決方法や情報を適切に選択判断する力を養う。
- (ウ) 病気の状態等に考慮しながら、各教科・科目の課題に主体的に取り組む姿勢を養い、個々の目指す将来の実現のために必要な資質や能力を育む。

② 特別活動

- (ア) 多様な他者と協働し、活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身につけるようにする。
- (イ) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決や合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。
- (ウ) 生徒の病状や体調等を考慮し、主体的に集団や社会に参画するために必要な生活及び人間関係を形成するとともに、人間としての在り方や生き方についての自覚を深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

③ 総合的な探求の時間

- (ア) 探求的な学習の課程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探求の意義や価値を理解するようにする。
- (イ) 実社会や実生活と自己の関わりから問いを見だし、自分で課題を立てて、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
- (ウ) 探求に主体的・協働的に取り組むとともに、お互いのよさを生かしながら、新たな価値を見だし、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

④ 道徳科（３年生は道徳）

- ・ 病弱等に基づく学習上又は生活上の困難を克服し、自律の精神を重んじ、目標に向かって着実にやりぬく強い意志を育てる。
- ・ お互いの人格を尊重し、感謝と思いやりや他者に学ぶ豊かな心を育む。
- ・ 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する心を育てる。
- ・ 自他の生命を尊重し、国際社会の平和と発展や環境の保全に貢献し、主体的に未来を拓く態度を育てる。
- ・ 社会連帯の精神、義務を果たし責任を重んずる態度や人権を尊重し、よりよい社会を実現する一員としての態度を育てる。

⑤ 自立活動

- ・ 健康状態や安全について関心をもち、個々に必要な日常生活についての理解を深め、適切な自己管理ができる。
- ・ 自立を目指し、障害に基づく種々の困難を主体的に改善・克服しようとする意欲・態度の育成を図る。
- ・ 個々の実態を踏まえ、補助用具や補助的手段を活用し、状況に応じたコミュニケーション能力を高め、人間関係の形成を図る。
- ・ 体温の調節、覚醒と睡眠、食事、排泄、衣服の調節など、健康状態の維持・改善に必要な生活リズムを整え、生活習慣の形成及び心理的安定を図る。
- ・ 人との関わりや音楽・感触遊び等の活動を通して快の体験を広げ、情緒の安定を図る。
- ・ いろいろな素材の物に触れて、視覚・聴覚・触覚・嗅覚に刺激を与え、人や物への興味・関心を広げる。

<Ⅱ・Ⅲ課程>

国 語

- (ア) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- (イ) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。

- (ウ)言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にしてその能力の向上を図る態度を養う。

社 会

- (ア)地域や我が国の国土の地理的環境、現代社会の仕組みや役割、地域や我が国の歴史や伝統と文化及び外国の様子について、具体的な活動や体験を通して理解するとともに、経験したことと関連付けて、調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (イ)社会的事象について、自分の生活と結び付けて具体的に考え、社会との関わりの中で、選択・判断したことを適切に表現する力を養う。
- (ウ)社会に主体的に関わろうとする態度を養い、地域社会の一員として人々と共に生きていくことの大切さについての自覚を養う。

数 学

- (ア)数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに、日常の事象を数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- (イ)日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形などの性質を見いだし統一的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現したり目的に応じて柔軟に表したりする力を養う。
- (ウ)数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学を生活や学習に活用しようとする態度を養う。

理 科

- (ア)自然の事物・現象についての基本的な理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。
- (イ)観察、実験などを行い、解決の方法を考える力とより妥当な考えをつくりだす力を養う。
- (ウ)自然を愛する心情を養うとともに、学んだことを主体的に生活に生かそうとする態度を養う。

保健体育

- (ア)各種の運動の特性を知り、基本的技能等及び社会生活における健康・安全について理解する。
- (イ)健康・安全についての課題を発見し、その解決に向けて仲間と思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。
- (ウ)生涯にわたって継続して運動に親しむことや、健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

音 楽

- (ア)曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
- (イ)音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
- (ウ)音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育むとともに、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。

美 術

- (ア)造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。
- (イ)造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫などについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化などに対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (ウ)美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

外国語

- (ア)外国語の音声や語彙、表現などの理解し、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面に応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。
- (イ)コミュニケーションを行う目的や場面などに応じて、日常的な話題について、外国語で

それらの概要や要点、話し手や書き手の意図を適切に理解したり、お互いの考えを表現したり、伝え合ったりすることができる力を養う。

(ウ)外国語の背景にある文化を理解し、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

情報

(ア)身近にある情報と情報技術及びこれらを活用して問題を知り、問題を解決する方法について理解し、基礎的な技能を身に付けるとともに、情報社会と人との関わりについて理解できるようにする。

(イ)身近な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題を知り、問題を解決するために必要な情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。

(ウ)身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に参画しようとする態度を養う。

職業・家庭科

(ア)家族・家庭の機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。

(イ)家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。

(ウ)家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。

① 特別活動

(ア)多様な他者と協働し、活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身につけるようにする。

(イ)集団や自己の生活、人間関係の課題について、解決や合意形成を図ったり、意思決定したりすることができる。

(ウ)生徒の病状や体調等を考慮し、主体的に集団や社会に参加するために必要な生活及び人間関係を形成するとともに、自己の在り方や生き方について考え、自己実現を図ろうとする態度を養う。

② 総合的な探求の時間

(ア)探求的な学習の課程において、課題に気付き、解決に必要な知識及び技能を身に付け、探求の意義や価値を理解するようにする。

(イ)実社会や実生活と自己の関わりにおける問いについて、自分で課題を立てて、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。

(ウ)探求的に主体的・協働的に取り組むとともに、お互いを尊重しながら視野を広げ、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

③ 道徳科（3年生は道徳）

- ・病弱等に基づく学習上又は生活上の困難を克服し、自律の精神を重んじ、目標に向かって着実にやりぬく強い意志を育てる。

- ・お互いの人格を尊重し、感謝と思いやりや他者に学ぶ豊かな心を育む。

- ・伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する心を育てる。

- ・自他の生命を尊重し、国際社会の平和と発展や環境の保全に貢献し、主体的に未来を拓く態度を育てる。

- ・社会連帯の精神、義務を果たし責任を重んずる態度や人権を尊重し、よりよい社会を実現する一員としての態度を育てる。

④ 自立活動

- ・健康状態や安全について関心をもち、個々に必要な日常生活についての理解を深め、適切な自己管理ができる。

- ・自立を目指し、障害に基づく種々の困難を主体的に改善・克服しようとする意欲・態度の育成を図る。

- ・個々の実態を踏まえ、補助用具や補助的手段を活用し、状況に応じたコミュニケーション能力を高め、人間関係の形成を図る。

- ・体温の調節、覚醒と睡眠、食事、排泄、衣服の調節など、健康状態の維持・改善に必要な生活リズムを整え、生活習慣の形成及び心理的安定を図る。

- ・人との関わりや音楽・感触遊び等の活動を通して快の体験を広げ、情緒の安定を図る。

- ・いろいろな素材の物に触れて、視覚・聴覚・触覚・嗅覚に刺激を与え、人や物への興味・関心を広げる。

⑤ 各教科等を合わせた指導

日常生活の指導

- ・健康状態の安定及び生活習慣の形成を図り、コミュニケーション能力を育て、より豊かな日常生活を送るための態度や習慣を養う。

生活単元学習

- ・集団生活を通し、楽しい生活を送るための能力を身につける。
- ・生活に基づいた目標や課題を設定し、解決する能力を身につける。

(4) 交流及び共同学習等の重点

- ① 豊かな人間性を養い、好ましい人間関係を育てる。
- ② 原籍校や地域、社会等とのふれあいの中で生活経験を広げ、社会性を養う。
- ③ 互いに協力し合い、認識を深めることを大切にする。

(5) 生徒指導の重点

- ① 人と人とのふれあいを大切にし、健康の管理と学習の両立を考え、意欲的で自主性のある学校生活を送る。
- ② 基本的なマナーやルールを守る態度を身につけ、社会に適応する。

(6) キャリア教育の重点

- ① 自己の能力や適性を理解し、場に応じた適切なコミュニケーション能力を育成する。
- ② 生徒に早い段階から望ましい職業観・勤労観及び職業に関する知識・技能を身につけ、自己の個性についての理解と主体的に進路を選択する能力と態度を育成する。
- ③ 進路の情報を多角的に収集し、就業体験や情報機器の活用を通して自己を生かせる進路を考える態度を養う。
- ④ 医療機関や家庭と連携しながら自分の病状をふまえ、進路希望の実現に向け、課題を設定し解決に取り組む。

(7) 生涯学習への意欲を高める指導の重点

- ① 主体的に学習や体験の中から生きがいを見つけ、人と繋がる意欲を育む。
- ② 行政や民間による必要な支援について学び、地域における活動に参加し、楽しむ態度を養う。
- ③ ライフステージ全体を充実させるために、継続的に知識や技能を高めようとする姿勢を身につける。

(8) ICT機器利活用の重点

- ① 情報収集・活用能力を用いて、生活の中のさまざまな課題を自ら解決していくことができる。
- ② 自他の権利（著作権など）を正しく理解し、情報社会での行動に責任を持つ態度を養う。
- ③ 情報モラル（危険回避など）を正しく理解し、ネット上で安全に情報を活用できる能力を身につける。
- ④ 健康に気を遣いながら、情報機器を活用していく態度を養う。
- ⑤ 簡単なプログラミング学習に触れることで、道筋を立て問題解決をしていこうとする素地を養う。

(9) 安全教育の重点

- ① 自己の健康状態及び障害を正しく理解し、自ら事故を防ぐ態度を養う。
- ② 教室内や移動時における安全指導の充実徹底を図る。
- ③ 交流学習、校外学習等の安全及び交通安全指導を行う。
- ④ 療養生活及び家庭生活における安全指導を行う。
- ⑤ 災害時における危険について理解し、防災意識を高めると共に、安全な行動の仕方を身につける。

(10) 授業日数及び授業時数の配当

I・II課程

様式4

① 年間授業日数配当表(病院内訪問学級 I・II課程：高等部)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1年	16	19	21	13	0	20	20	20	17	17	19	17	199
2年	16	19	21	13	0	20	20	20	17	17	19	17	199
3年	16	19	21	13	0	20	20	20	17	17	19	13	195
備考													

② 年間総授業時数の配当表

普通科 I 課程（準ずる教育課程）

教科等		科目名	標準 単位 数	1年	2年	3年	合計
各学科に共通する各教科・科目	国語	現代の国語		133	133	132	398
		言語文化					0
		論理国語					
		文学国語					
		国語表現					
		古典探究					0
							298
	地理歴史	世界史A		100	100	98	
		世界史B					
		日本史A					
		日本史B					
		地理A					
		地理B					
	公民	現代社会					0
		倫理					
		政治・経済					
	数学	数学Ⅰ		101	101	99	301
		数学Ⅱ					
		数学Ⅲ					
		数学A					
		数学B					0
		数学活用					0
	理科	科学と人間生活		101	101	99	301
		物理基礎					
		物理					
		化学基礎					
		化学					
		生物基礎					
		生物					0
		地学基礎					0
		地学					
		理科課題研究					0
	保健体育	体育		17	17	17	51
		保健					0

各学科に共通する各教科・科目	芸術	音楽Ⅰ		34	34	34	102
		音楽Ⅱ					
		音楽Ⅲ					
		美術Ⅰ		34	34	34	
		美術Ⅱ					
		美術Ⅲ					
	外国語	コミュニケーション英語基礎		101	101	99	301
		コミュニケーション英語Ⅰ					
		コミュニケーション英語Ⅱ					0
		コミュニケーション英語Ⅲ					
		英語表現Ⅰ					
		英語表現Ⅱ					
		英語会話					
	家庭	家庭基礎		34	34	34	
		家庭総合					
		生活デザイン					
	情報	社会と情報		34	34	34	102
		情報の科学					0
	学校設定教科	課題演習		101	101	101	303
共通教科・科目単位数計			0	790	790	781	2361
総合的な探究の時間				35	35	35	105
特別活動			ホームルーム活動	34	35	35	104
自立活動				50	50	50	150
計			0	119	120	120	359
合計			0	909	910	901	2720

※原籍校での学年や単位の修得状況等を考慮し、各教科等の授業科目を設定するものとする。

※体育や保健は自立活動の中で学習し、評価する。

※生徒の障害の状態や学級の実状に応じ、授業時数を弾力的に配当する。

※道徳は教育活動全体の中で指導する。

様式 7

普通科 II 課程（知的障害特別支援学校代替の教育課程）

日：日常生活の指導 生：生活単元学習 作：作業学習

教科等		1 年					2 年					3 年						
		総時数	教科別の指導	合わせた指導			総時数	教科別の指導	合わせた指導			総時数	教科別の指導	合わせた指導				
各学科に共通する各教科	国語	266	131	135	日 生 作	50 85 0	267	131	136	日 生 作	50 86 0	263	130	133	日 生 作	50 83 0		
	社会	20	0	20	日 生 作	10 10 0	20	0	20	日 生 作	10 10 0	20	0	20	日 生 作	10 10 0		
	数学	174	129	45	日 生 作	20 25 0	174	129	45	日 生 作	20 25 0	172	128	44	日 生 作	19 25 0		
	理科	45	0	45	日 生 作	20 25 0	45	0	45	日 生 作	20 25 0	44	0	44	日 生 作	19 25 0		
	音楽	74	34	40	日 生 作	15 25 0	74	34	40	日 生 作	15 25 0	73	34	39	日 生 作	14 25 0		
	美術	49	34	15	日 生 作	0 15 0	49	34	15	日 生 作	0 15 0	49	34	15	日 生 作	0 15 0		
	保健体育	0	0	0	日 生 作	0 0 0	0	0	0	日 生 作	0 0 0	0	0	0	日 生 作	0 0 0		
	職業	25	17	8	日 生 作	4 4 0	25	17	8	日 生 作	4 4 0	25	17	8	日 生 作	4 4 0		
	家庭	25	17	8	日 生 作	4 4 0	25	17	8	日 生 作	4 4 0	25	17	8	日 生 作	4 4 0		
	外国語	0	0	0	日 生 作	0 0 0	0		0	日 生 作	0 0 0	0		0	日 生 作	0 0 0		
	情報	0	0	0	日 生 作	0 0 0	0		0	日 生 作	0 0 0	0		0	日 生 作	0 0 0		
	学校設定教科		0	0			0				0				0			
			0	0			0				0				0			
共通教科時数計		678	362				679	362				671	360					
道徳科		34	34	0	日 生 作	0 0 0	34	34	0	日 生 作	0 0 0	34	34	0	日 生 作	0 0 0		
特別活動	ホームルーム活動	35	35	0	日 生 作	0 0 0	35	35	0	日 生 作	0 0 0	35	35	0	日 生 作	0 0 0		
自立活動		128	128	0	日 生 作	0 0 0	128	128	0	日 生 作	0 0 0	127	127	0	日 生 作	0 0 0		
総合的な探究の時間		34					34					34						
合計	教科別の指導で行う時数			593					593					590				
	合わせた指導で行う時数	316					317					311						
	総時数	909					910					901						
【指導形態】																		
日常生活の指導		123					123					120						
生活単元学習		193					194					191						
作業学習		0					0					0						
合計		316					317					311						

※道徳科は各教科等の中で行う。

※保健体育は自立活動の中で学習し、評価する。

※時数が 0 時間の教科は「各教科等を合わせた指導」の中で指導する。

※生徒の障害の状態や学級の実状に応じ、授業時数を弾力的に配当する。

Ⅲ課程（自立活動を主とする教育課程）

様式4

① 年間授業日数配当表(病院内訪問学級Ⅲ課程：高等部)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1年	13	16	16	11	0	16	16	16	14	14	15	14	161
2年	13	16	16	11	0	16	16	16	14	14	15	14	161
3年	13	16	16	11	0	16	16	16	14	14	15	10	157

様式7

② 年間総授業時数の配当表

普通科 Ⅲ課程（自立活動を主体とした教育課程）

病室内対応

	教科等		1 年					2 年					3 年				
			総時数	教科別の指導	合わせた指導			総時数	教科別の指導	合わせた指導			総時数	教科別の指導	合わせた指導		
各学科に共通する各教科	国語		12		12	日	12	12		12	日	12	12		12	日	12
					生	0			12	生	0			12	生	0	
					作	0				作	0				作	0	
	社会		0		0	日	0	0		0	日	0	0		0	日	0
					生	0				生	0				生	0	
					作	0				作	0				作	0	
	数学		12		12	日	12	12		12	日	12	12		12	日	12
					生	0				生	0				生	0	
					作	0				作	0				作	0	
	理科		0		0	日	0	0		0	日	0	0		0	日	0
					生	0				生	0				生	0	
					作	0				作	0				作	0	
	音楽		12		12	日	12	12		12	日	12	12		12	日	12
					生	0				生	0				生	0	
				作	0				作	0				作	0		
美術		12		12	日	12	12		12	日	12	12		12	日	12	
				生	0				生	0				生	0		
				作	0				作	0				作	0		
保健体育		12		12	日	12	12		12	日	12	12		12	日	12	
				生	0				生	0				生	0		
				作	0				作	0				作	0		
職業		0		0	日	0	0		0	日	0	0		0	日	0	
				生	0				生	0				生	0		
				作	0				作	0				作	0		
家庭		0		0	日	0	0		0	日	0	0		0	日	0	
				生	0				生	0				生	0		
				作	0				作	0				作	0		
外国語		0		0	日	0	0		0	日	0	0		0	日	0	
				生	0				生	0				生	0		
				作	0				作	0				作	0		
情報		0		0	日	0	0		0	日	0	0		0	日	0	
				生	0				生	0				生	0		
				作	0				作	0				作	0		
学校設定教科		0					0					0					
		0					0					0					
共通教科時数計		60	0				60	0				60	0				
道徳科		34	34	0	日	0	34	34	0	日	0	33	33	0	日	0	
					生	0				生	0				生	0	
					作	0				作	0				作	0	
特別活動	ホームルーム活動	34	34	0	日	0	34	34	0	日	0	33	33	0	日	0	
					生	0				生	0				生	0	
					作	0				作	0				作	0	
自立活動		89	89	0	日	0	89	89	0	日	0	87	87	0	日	0	
					生	0				生	0				生	0	
					作	0				作	0				作	0	
総合的な探究の時間																	
合計	教科別の指導で行う時数		157					157					153				
	合わせた指導で行う時数			60					60					60			
	総時数		277					277					273				

【指導形態】

日常生活の指導	60	60	60
生活単元学習	0	0	0
作業学習	0	0	0
合計	60	60	60

(11) 特別活動の計画

様式8

① 年間行事計画（病院内訪問学級：高等部Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ課程）

学期	月日	曜日	行事名		時間配当		
			種類	事項	1年	2年	3年
一学期	4月7日	木	儀式的	1学期始業式		1	1
	4月7日	木	儀式的	入学式	1	1	1
	5月17日	火	旅行・集团的	春の遠足	6	6	6
	7月20日	水	儀式的	1学期終業式	1	1	1
	小計				8	9	9
学期	月日	曜日	行事名		時間配当		
			種類	事項	1年	2年	3年
二学期	9月1日	木	儀式的	2学期始業式	1	1	1
	10月16日	日	健康安全・体育的	第19回運動会	3	3	3
	12月23日	金	儀式的	2学期終業式	1	1	1
	小計				5	5	5
学期	月日	曜日	行事名		時間配当		
			種類	事項	1年	2年	3年
三学期	1月6日	金	儀式的	3学期始業式	1	1	1
	3月17日	金	儀式的	高等部卒業式	2	2	2
	3月23日	木	儀式的	小中卒業式	2	2	0
	3月24日	金	儀式的	修了式・離任式	2	2	0
	小計				7	7	3
合計					20	21	17

様式9

② その他の特別活動の計画

生徒会活動年間予定時数

	学期	実施予定		時間配当		
		回数	内容（時数）	1年	2年	3年
生徒会活動	1学期	2	新入生歓迎会(1) 児童生徒総会(1)	2	2	2
	2学期	2	児童生徒会立候補者演説・投票(1) 児童生徒会新役員認証式、新旧役員交代式(1)	2	2	2
	3学期	0		0	0	0
合計				4	4	4

6 週時程表

(1) 本校（小学部）

1年生：25時間／週

校 時	時 刻	月	火	水	木	金
登校指導	8：40～ 8：50	登 校 指 導				
1	8：50～ 9：35	○	○	○	○	○
2	9：45～10：30	○	○	○	○	○
3	10：40～11：25	○	○	○	○	○
4	11：35～12：20	○	○	○	○	○
	12：20～12：40	給食準備				
給 食	12：40～13：10	給 食				
	13：10～13：20	歯磨き・休憩				
5	13：20～14：05	○	○	○	○	○
帰りの会	14：05～14：15	帰 り の 会				

2年生：26時間／週

校 時	時 刻	月	火	水	木	金
登校指導	8：40～ 8：50	登 校 指 導				
1	8：50～ 9：35	○	○	○	○	○
2	9：45～10：30	○	○	○	○	○
3	10：40～11：25	○	○	○	○	○
4	11：35～12：20	○	○	○	○	○
	12：20～12：40	給食準備				
給 食	12：40～13：10	給 食				
	13：10～13：20	歯磨き・休憩				
5	13：20～14：05	○	○	○	○	○
6	14：15～15：00				○	
帰りの会	15：00～15：15	帰 り の 会				

3年生：28時間／週

校 時	時 刻	月	火	水	木	金
登校指導	8：40～ 8：50	登 校 指 導				
1	8：50～ 9：35	○	○	○	○	○
2	9：45～10：30	○	○	○	○	○
3	10：40～11：25	○	○	○	○	○
4	11：35～12：20	○	○	○	○	○
	12：20～12：40	給食準備				
給 食	12：40～13：10	給 食				
	13：10～13：20	歯磨き・休憩				
5	13：20～14：05	○	○	○	○	○
6	14：15～15：00	○	○		○	
帰りの会	15：00～15：15	帰 り の 会				

4，5，6年生：29時間／週

校 時	時 刻	月	火	水	木	金
登校指導	8：40～ 8：50	登 校 指 導				
1	8：50～ 9：35	○	○	○	○	○
2	9：45～10：30	○	○	○	○	○
3	10：40～11：25	○	○	○	○	○
4	11：35～12：20	○	○	○	○	○
	12：20～12：40	給食準備				
給 食	12：40～13：10	給 食				
	13：10～13：20	歯磨き・休憩				
5	13：20～14：05	○	○	○	○	○
6	14：15～15：00	○	○		○	○
帰りの会	15：00～15：15	帰 り の 会				

※児童の健康状態に応じて、短縮授業など弾力的に扱えるように配慮する。

(2) 本校（中学部） 29時間／週

校 時	時 刻	月	火	水	木	金
登校指導	8：40～ 8：50	登 校 指 導				
1	8：50～ 9：40	○	○	○	○	○
2	9：50～10：40	○	○	○	○	○
3	10：50～11：40	○	○	○	○	○
4	11：50～12：40	○	○	○	○	○
給 食	12：40～13：10	給 食				
	13：10～13：20	歯磨き・休憩				
5	13：20～14：10	○	○	○	○	○
6	14：20～15：10	○	○		○	○
	15：10～15：15	帰 り の 会				
備 考	・水曜日は5校時（14:15）で下校する。					

(3) 本校（高等部） 30時間／週

校 時	時 刻	月	火	水	木	金
登校指導	8：40～ 8：50	登 校 指 導				
1	8：50～ 9：40	○	○	○	○	○
2	9：50～10：40	○	○	○	○	○
3	10：50～11：40	○	○	○	○	○
4	11：50～12：40	○	○	○	○	○
給 食	12：40～13：10	給 食				
	13：10～13：20	歯磨き・休憩				
5	13：20～14：10	○	○	○	○	○
6	14：20～15：10	○	○	○	○	○
	15：10～15：15	S H R				
備 考						

(4) 病院内訪問学級（小学部）

小1～3年 I・II課程20時間/週 III課程8時間/週

校 時	時 刻	月	火	水	木	金
児童生徒登校	9：00～ 9：15					
朝の会	9：15～ 9：25					
1	9：25～10：05	○	○		○	○
2	10：15～10：55	○	○		○	○
3	11：05～11：45	○	○		○	○
昼食・昼休み	11：45～13：00					
4	13：00～13：40	○	○		○	○
5	13：50～14：30	○	○		○	○
帰りの会	14：30～14：40					
備 考	・児童生徒の病状や体調、体力等を考慮し1単位時間を40分授業とする。 ・毎週水曜日は、本校での職員連絡会及び研修会のため休業日とする。 ・Ⅲ課程は、週8時間授業で児童生徒の体調等を考慮する。 ・病院の実態により弾力的に運用する。					

小4～6年 I・II課程23時間/週 III課程8時間/週

校 時	時 刻	月	火	水	木	金
児童生徒登校	9：00～ 9：15					
朝の会	9：15～ 9：25					
1	9：25～10：05	○	○		○	○
2	10：15～10：55	○	○		○	○
3	11：05～11：45	○	○		○	○
昼食・昼休み	11：45～13：00					
4	13：00～13：40	○	○		○	○
5	13：50～14：30	○	○		○	○
6	14：40～15：20	○			○	○
帰りの会	15：20～15：30					
備 考	・児童生徒の病状や体調、体力等を考慮し1単位時間を40分授業とする。 ・毎週水曜日は、本校での職員連絡会及び研修会のため休業日とする。 ・Ⅲ課程は、週8時間授業で児童生徒の体調等を考慮する。 ・DNT医教カンファレンス等、保護者や医療関係機関との情報交換や連携の為、毎週火曜日は5校時とする。 ・病院の実態により弾力的に運用する。					

(5) 病院内訪問学級（中学部）

I・II 課程23時間／週

III 課程 8 時間／週

校 時	時 刻	月	火	水	木	金
生徒登校	9 : 0 0 ～ 9 : 1 5					
朝の会	9 : 1 5 ～ 9 : 2 5					
1	9 : 2 5 ～ 1 0 : 1 0	○	○		○	○
2	1 0 : 1 5 ～ 1 1 : 0 0	○	○		○	○
3	1 1 : 0 5 ～ 1 1 : 5 0	○	○		○	○
昼食・昼休み	1 1 : 5 0 ～ 1 3 : 0 0					
4	1 3 : 0 0 ～ 1 3 : 4 5	○	○		○	○
5	1 3 : 5 0 ～ 1 4 : 3 5	○	○		○	○
6	1 4 : 4 0 ～ 1 5 : 2 5	○			○	○
帰りの会	1 5 : 2 5 ～ 1 5 : 3 5					
備 考	・生徒の病状や体調、体力等を考慮し1単位時間を45分授業とする。 ・Ⅲ課程の生徒は、週8時間授業で生徒の体調等を考慮する。 ・毎週水曜日は、本校での職員連絡会及び研修会のため休業日とする。 ・火曜日は5校時、月・木・金曜日は6校時とする。 ・病院の実態により弾力的に運用する。					

(6) 病院内訪問学級（高等部）

I・II 課程27時間／週

III 課程 8 時間／週

校 時	時 刻	月	火	水	木	金
生徒登校	9 : 0 0 ～ 9 : 1 5					
朝の会	9 : 1 5 ～ 9 : 2 5					
1	9 : 2 5 ～ 1 0 : 1 0	○	○	○	○	○
2	1 0 : 1 5 ～ 1 1 : 0 0	○	○	○	○	○
3	1 1 : 0 5 ～ 1 1 : 5 0	○	○	○	○	○
昼食・昼休み	1 1 : 5 0 ～ 1 3 : 0 0					
4	1 3 : 0 0 ～ 1 3 : 4 5	○	○		○	○
5	1 3 : 5 0 ～ 1 4 : 3 5	○	○		○	○
6	1 4 : 4 0 ～ 1 5 : 2 5	○	○		○	○
帰りの会	1 5 : 2 5 ～ 1 5 : 3 5					
備 考	・生徒の病状や体調、体力等を考慮し1単位時間を45分授業とする。 ・Ⅲ課程の生徒は、週8時間授業で生徒の体調等を考慮する。 ・毎週水曜日は、本校での職員連絡会及び研修会のため午前中授業とする。 ・病院の実態により弾力的に運用する。					

7 使用教科書一覧

小学部使用教科書一覧 中頭地区（訪問）

種目	略称	教科書名
国語	光村	国語四上 かがやき 国語四下 はばたき
書写	光村	書写 四年
社会	教出	小学社会4
地図	帝国	楽しく学ぶ 小学生の地図帳3・4・5・6年
算数	学図	みんなと学ぶ 小学校 算数 4年上下
理科	東書	新しい理科 4
音楽	教芸	小学生の音楽 4
図画工作	日文	図画工作3・4年下 ためしたよ 見つけたよ
保健	光文	小学ほけん 3・4年
英語	文科省	Let's Try ! 2
道徳	光文	小学 どうとく ゆたかな心 4年

中学部使用教科書一覧 中頭地区（本校）

種目	略称	教科書名
国語	三省堂	現代の国語
書写	東書	新しい書写
地理	帝国	社会科 中学の地理
歴史	帝国	社会科 中学の歴史
公民	帝国	社会科 中学生の公民
地図	帝国	中学校社会科地図
数学	東書	新しい数学
理科	東書	新しい科学
音楽	教芸	中学生の音楽
器楽	教芸	中学生の器楽
美術	光村	美術
保体	東書	新しい保健体育
技術	東書	新しい技術・家庭 技術分野
家庭	東書	新しい技術・家庭 家庭分野
英語	光村	Here We Go! ENGLISH COURES
道徳	日文	中学道徳 あすを生きる

中学部使用教科書一覧 島尻地区（訪問）

種目	略称	教科書名
国語	光村	国語
数学	東書	新しい数学
理科	東書	新しい科学
音楽	教芸	中学生の音楽
美術	日文	美術
英語	開隆堂	SUNSHINE ENGLISH
道徳	日文	中学道徳 あすを生きる

中学部使用教科書一覧 国頭（訪問）

種目	略称	教科書名
国語	三省堂	現代の国語
数学	啓林館	未来へひろがる数学
理科	啓林館	未来へひろがるサイエンス
音楽	教出	中学音楽
美術	日文	美術
英語	光村	Here We Go! ENGLISH COURES
道徳	光村	中学道徳 きみがいちばんひかるとき

高等部使用教科書一覧

種目	略称	教科書名
現代の国語	第一	高等学校 新編現代の国語
言語文化	第一	高等学校 新編言語文化
地理総合	第一	高等学校 地理総合 世界を学び地域をつくる
公共	第一	高等学校 新公共
数学Ⅰ	実教	高校数学Ⅰ
生物基礎	第一	高等学校 新生物基礎
保健体育	大修館	現代高等学校保健体育
音楽Ⅰ	教芸	MOUSA 1
美術Ⅰ	日文	高校生の美術 1
英語コミュニケーションⅠ	開隆堂	Amity English Communication Ⅰ
家庭基礎	第一	高等学校 家庭基礎 持続可能な未来をつくる
情報Ⅰ	数研	高等学校 情報Ⅰ
現代社会	第一	高等学校 改訂版 新現代社会

高等部準教科書等一覧

種目	略称	教科書名
生物基礎	第一	高等学校 改訂 生物基礎

月	4	5	6	7・8	9	10	11	12	1	2	3		
月の重点	自分の健康状態を知ろう	清潔な習慣を身につけよう	歯と口の健康について考えよう	夏休みを健康にすごそう	早ね・早起き・朝ごはんをしよう	目を大切にしよう	薬物乱用について考えよう	性・エイズについて考えよう	かぜ・インフルエンザを予防しよう	見つめてみよう自分のこと	健康生活の反省をしよう		
学校保健関係行事	始業式・入学式 歯科検診・身体測定・視力・聴力 新入生歓迎会 春の遠足 三者面談(高)	児童生徒総会 眼科検診・心電図・レントゲン 校内医ケア委員会①	むし歯予防デー 歯と口の健康週間 内科検診 安全学習支援授業① 平和集会 救急救命法研修 不審者対応講習 就業体験(高)	終業式 夏季休業 不審者対応訓練 学校保健委員会	始業式 身体測定 校外学習 安全学習支援授業②	運動会 総合避難訓練	薬物乱用防止教室 校外学習(琉大・こども) 読書月間読書フェスタ 高等部就業体験 修学旅行(中)	性エイズ指導 児童生徒会選挙 終業式 冬季休業	始業式 身体測定 安全学習支援授業③	オリエンテーション(小・中) 学校保健委員会 進路面談(高)	入試 合格者オリエンテーション 修了式 卒業式、離任式 春季休業		
保健管理	対人管理	保健調査、健康観察の実施 結核問診、健康診断の計画 実施、事後措置、諸検査 歯科検診、健康相談 アレルギー実態把握と対応、 緊急時対応把握	心電図検査 胸部X線(直接) 眼科検診、健康相談 救急法講習会 尿二次検査 安全学習支援授業	内科検診、健康相談 歯みがき指導 食中毒と感染症予防 熱中症の予防	健康診断の結果通知 疾病の治療勧告と健康 相談 夏休みの健康生活指導と健康 管理 安全学習支援授業 緊急時シミュレーション	身体測定 夏季休業中の健康状況、疾 病治療状況把握 健康相談活動	眼科健康相談 正しい姿勢について	歯科健康相談 う歯治療勧告(再) 薬物乱用防止教室 修学旅行前(小・中) 健康相談	室温換気(暖房器具等の取 扱い) 感染症の予防(手洗い、咳エ チケット等) 安全学習支援授業 修学旅行前(高) 健康相談	冬季休業中の健康状況把握 健康相談(学校医) 感染症予防強化 健康観察強化 感染症の罹患状況把握	健康相談活動 感染症予防強化 手洗い換気等励行 う歯未処置者治療勧(再々) 感染症の罹患状況把握	健康相談活動 合格者オリエンテーション (保健面談) 成長の記録(卒業生) 1年間の成長(推移)全校	
	対物管理	全体清掃 水質検査(日常) 室温管理	全体清掃 水質検査(日常) 室温管理	全体清掃 水質検査(日常) 室温管理 定期水質検査(薬剤師)	全体清掃 水質検査(日常) 室温管理 給食室衛生検査	全体清掃 水質検査(日常) 室温管理	全体清掃 水質検査(日常) 室温管理 教室の空気検査 ダニ・アレルゲン検査	全体清掃 水質検査(日常) 室温管理 照度検査・騒音検査	半年大清掃 水質検査(日常) 室温管理	全体清掃 水質検査(日常) 室温換気管理 排水溝等排水の施設設備の 検査	全体清掃 水質検査(日常) 室温換気管理 大掃除の実施状況点検	全体清掃 水質検査(日常) タンク清掃 室温管理 学校環境衛生活動に関する 計画立案	
保健教育	教科保健	心身の発達と心の健康 健康な生活、環境 思春期と健康 私たちの健康のすがた	体の発育・発達 呼吸・循環機能の発達、性機 能の成熟 健康の考え方	健康と環境 生活習慣と日常の生活行 動、喫煙・飲酒と健康、体の 発育・発達 環境衛生活動・食品衛生活 動のしくみと働き	快適な環境の条件 健康と環境 環境問題への取組み 加齢と健康 交通事故の現状と要因	家族と家庭生活 健康と環境 傷害の防止 医薬品と健康 感染症の予防	応急手当の意義と手順 きずの手当て 運動と健康 食生活と健康 医療制度と医療費	生活習慣病と予防 薬物乱用と健康 生活の自立と衣食住 心身の相関とストレス 生命の誕生	性感染症の予防とエイズ 感染症とその予防 健康被害の防止と健康 対策、土壌汚染と健康	健康な生活と病気の予防、ス トレス対処法 環境衛生活動の仕組みと働 き、働くことと健康	応急手当の意義 欲求やストレスへの対処、自 己実現 人とのかわり 食品と環境の保全	ともに生きる社会 心肺蘇生法 日常的な応急手当て 健康と職業生活 労働災害と健康	
		◎自立活動において年間をととして指導に取組む(健康体力づくり、心身の安定、人間関係とコミュニケーション、正しい姿勢等) ◎領域・教科を合わせた指導において年間を通して指導(基本的生活習慣の定着・睡眠、バランスのよい食生活、性指導、感染症の予防、手洗い・咳エチケット等)											
	関連教科	人の体のつくりとはたらき 健康に過ごすために 動物の体の作りと働き	健康診断の意義と 正しい受け方 身体の清潔、衣服の清潔、身 だしなみ	歯と口の健康 歯の仕組みと口腔疾患の予 防	夏の健康 鼻の日 病気の治療	救急の日 規則正しい生活習慣	目の健康 目の仕組みとけがの予防	薬の正しい使い方	友達となかよ くからだの清 潔 男女の身体 の違いや特 徴 自分を大切 にしよう	冬の健康 かぜインフル エンザの予 防 うがい・手 洗い励行	正しい姿勢 心の健康	耳の健康	
		総合的な学習	健康管理について(感染症予 防対策、手洗い、) 給食(衛生管理)	清潔な身だしなみ コミュニケーション マナー等	就業体験(高) 安全学習支援授業① 就業体験事後学習 進路講話		安全学習支援授業②(サイ バー犯罪被害防止、ネットい じめ、架空請求等) 運動会事前取組	運動会にむけて 健康安全な取組	就業体験(高) 職場体験(中) 安全学習支援授業 (薬物乱用防止)	就業体験 進路講話	体調管理(高) 進路講話	テーブルマナー等	次年度の準備
	特別活動	学級活動	保健室の利用 健康診断の目的と受け方 保健だより(通年)	健康診断の事前指導 身体・衣服の清潔 生活習慣の確立 運動・栄養・睡眠	むし歯予防と治療 歯周疾患予防 プール時の健康心得 熱中症の予防	健康診断の事後措置 病気の治療 夏の健康 望ましい食生活	早ね早起き朝ごはん 規則正しい生活リズム 衣服・身体の清潔 (汗の始末)	目の健康 けがの予防	薬物の知識と理解 正しい薬の使い 方 薬物乱用の防 止 健康で安全な 生活	性エイズの知識と理解 男女の正しい理 解と協力	冬の健康 かぜインフル エンザの予 防 (手洗い・咳 エチケット)ノ ロウィ ルスの予 防 部屋の換 気	命の大切さ 部屋の換 気 身の回り の整理整 頓	健康生活の反省 春休みの過 ごし方
		生徒会	組織づくりと年間計画 校舎内全体清掃計画 訪問職員・本校児童生徒顔 合わせ、新入生歓迎会	生徒総会 学校探検 衣替え 健康診断補助	歯と口の健康週間について 熱中症予防	夏休み中の健康 安全な過ごし方	運動会にむけて の取り組み	運動会にむけて 健康安全な取組	修学旅行壮行会(中)	生徒会選挙 冬休み中の健康 安全な過ごし方	感染症の予防	お別れ会	1年間の反省 春休みの健康 安全な過 ごし方
	個別・ 日常指導	健康チェック、保健室の利用 法、健康診断の意義と受け 方 感染症の予防	手洗い、うがい の仕方 基本的な生活 習慣の確立 感染症の予 防	むし歯の予防と 治療 食中毒の予 防 熱中症の予 防 感染症の予 防	疾病異常者へ の治療 勧告と個別指 導 夏の健康 感染症の予 防	体力づくり 運動後の汗の 始末 生活リズムを 見直す 感染症の予 防	目の健康 正しい姿勢 けがの予防ト 手当て 感染症の予 防	かぜの予防 手洗い・うが い励行 咳エチケッ ト 感染症の予 防	感染症の予防 冬の健康 冬休みの健 康生活	感染症の予 防 歯みがきと感 染症予防 手洗い、うが い励行 室温換気管 理	手洗い・うが い 室温換気管 理 冬の体力と栄 養 染症の予 防	1年間の健康 生活の反省 春休みの健 康。安全な過 ごし 方 感染症の予 防	
組織活動	保健安全部会 DNT会議	保健安全部会 DNT会議 校内医ケア委員会	保健安全部会 DNT会議	保健安全部会 第1回学校保健委員会	保健安全部会 DNT会議	保健安全部会 DNT会議	保健安全部会 DNT会議	保健安全部会 DNT会議 第2回学校保健委員会	保健安全部会 DNT会議	保健安全部会 DNT会議 第3回学校保健委員会	保健安全部会 DNT会議		

様式2(特別支援学校用)

令和4年度 学校安全計画(特別支援学校)

学校名 沖縄県立森川特別支援学校

項目\月			4	5	6	7・8	9	10	11	12	1	2	3	
月の重点			安全に通学しよう	安全な避難の仕方について考えよう	梅雨時期の移動に注意しよう	夏休みを安全に過ごそう	ケガの予防をしよう	安全に避難しよう	安全な集団行動を心がけよう	冬休みを安全に過ごそう	暖房器具を安全に使う	室内の換気に注意しよう	安全生活の反省をしよう	
学校行事			始業式 入学式 新入生歓迎会 遠足	児童生徒総会 火災避難訓練	救急救命法講習 平和集会 キャリア週間 不審者対応講習 就業体験(高)	不審者対応訓練 終業式 夏季休業	始業式	運動会 総合避難訓練	読書月間 宿泊学習(小) 修学旅行(中) 就業体験(高)	児童生徒会選挙 終業式 冬季休業	始業式	学年末テスト	高等部入試 卒業式 修了式 春季休業	
安全 教育	教科	理科	実験器具の安全な使い方、取り扱い等の説明											
		技術	機械を使用する際の注意点の説明、実習中の安全について等											
		家庭	調理道具、裁縫道具の安全な使い方 道具の整理整頓等											
		体育	体育施設、器具の安全な使い方の説明 プール入水の際の注意点の説明等											
	学級活動		校内での安全な生活の仕方について	避難時の心得について	不審者侵入時の避難について	夏休み期間中の生活について	ケガや熱中症について	地震発生時の対応について	広域避難訓練での一次対応訓練	冬休み期間中の生活について	暖房器具の利用について	感染症予防のために換気をする	▶	
	通学指導		自力通学者指導 (自力通学対象者)	交通安全・登校時指導										▶
	小学部		・校内の環境把握 ・校内事故防止のための ルールの理解	・火災時の避難について	・安全にプールに入るために ・雨の日の交通安全と 校内移動	・不審者侵入時の避難について ・夏休みの安全な過ごし方	・運動会で使う道具や練習における安全	・地震発生時の一次対応について	・宿泊学習の安全について	・冬休みの安全な過ごし方	・暖房器具の使い方と衣服の調節について	・教室内の安全について	・春休みの安全な過ごし方	
	中学部		・校内での事故防止	・火災時の避難について	・安全にプールに入るために ・雨の日の交通安全と 校内移動	・不審者侵入時の避難について ・夏休みの安全な過ごし方	・運動会で使う道具や練習における安全	・地震発生時の一次対応について	・修学旅行の安全について ・特体連への参加時の安全	・冬休みの安全な過ごし方	・暖房器具の使い方と衣服の調節について	・校舎内の安全について	・春休みの安全な過ごし方	
	高等部		・校内での事故防止	・火災時の避難について	・安全にプールに入るために ・就業体験等における安全について	・不審者侵入時の避難について ・夏休みの安全な過ごし方	・運動会で使う道具や練習における安全	・地震発生時の一次対応について	・就業体験時の安全 ・特体連への参加時の安全	・冬休みの安全な過ごし方	・暖房器具の使い方と衣服の調節について ・修学旅行の安全について	・校舎内の安全について	・春休みの安全な過ごし方	
安全 管理	対人管理	学校生活	・避難経路の確認		・救急救命法講習 ・不審者侵入時の対応研修	・緊急シミュレーション	・サイバー犯罪被害防止(安全学習支援授業)	・避難経路の確認	・薬物乱用防止(安全学習支援授業)		・避難経路の確認 ・少年犯罪防止(安全学習支援授業)		・避難経路の確認	
	対物管理	学校環境	・安全点検 ・全体清掃	・安全点検 ・全体清掃	・安全点検 ・全体清掃	・安全点検 ・全体清掃	・安全点検 ・全体清掃	・安全点検 ・全体清掃	・安全点検 ・全体清掃	・安全点検 ・全体清掃	・安全点検 ・全体清掃	・安全点検 ・全体清掃	・安全点検 ・全体清掃	
安全確保に関する点検			・防災設備に関する点検	・エレベーター点検	・自動ドア点検		・防災設備に関する点検	・エレベーター点検	・自動ドア点検		・防災設備に関する点検	・エレベーター点検	・自動ドア点検	
PTA等 組織活動			保健安全部会 DNT会議	保健安全部会 DNT会議 医療的ケア実施委員会	保健安全部会 DNT会議	保健安全部会 DNT会議 学校保健委員会 医療的ケア実施委員会	保健安全部会 DNT会議	保健安全部会 DNT会議	保健安全部会 DNT会議 学校保健委員会	保健安全部会 DNT会議	保健安全部会 DNT会議 医療的ケア実施委員会	保健安全部会 DNT会議 学校保健委員会	保健安全部会 DNT会議	

IV 年間行事予定表

令和4年度 森川特別支援学校年間行事予定(児童生徒)

4 月			5 月			6 月			7 月			8 月			9 月		
1	金	人権の日 学年始休業日(～4/6)	1	日		1	水	人権の日 平和月間(～30日) 歯と口の健康週間(～7日)	1	金	人権の日	1	月	人権の日	1	木	2学期始業式(2) ※本校通常日課、院内調整中 人権の日
2	土		2	月	人権の日	2	木		2	土		2	火		2	金	運動会事前学習 身体測定
3	日		3	火	憲法記念日(公休日)	3	金	第1回漢字検定 申込校内へ切	3	日		3	水		3	土	
4	月		4	水	みどりの日(公休日)	4	土		4	月		4	木		4	日	
5	火		5	木	こどもの日(公休日)	5	日		5	火		5	金		5	月	
6	水		6	金		6	月	前期就業体験(高2:～10日) キャリア教育推進週間(～10日)	6	水	不審者対応訓練(3)	6	土	案2)沖縄県特別支援学校PTAスポーツ大会	6	火	
7	木	就任式・1学期始業式(2) 入学式(3) 午前日課給食無し	7	土		7	火		7	木		7	日		7	水	
8	金	5校時終了後一斉下校(～13日)	8	日		8	水		8	金	校外学習(本校中) 第1回 漢字検定	8	月		8	木	特別支援学校就業支援 キャンペーン
9	土		9	月	中間テスト期間(～13日)	9	木		9	土		9	火		9	金	第2回漢字検定 申込校内へ切
10	日		10	火		10	金		10	日		10	水	旧盆(ウンケー)	10	土	
11	月	5校時終了後一斉下校	11	水		11	土		11	月		11	木	旧盆(ナカンビ) 山の日(公休日)	11	日	
12	火	5校時終了後一斉下校	12	木	眼科検診(3)	12	日		12	火		12	金	旧盆(ワークイ)	12	月	三者面談(本校中)～16日
13	水	5校時終了後一斉下校	13	金	少年を守る日 児童生徒総会(3)	13	月	弁当の日	13	水		13	土		13	火	
14	木	身体測定 視力・聴力(2) 尿・ぎょう虫検査(一次)①	14	土	おきなわ地域教育の日	14	火	内科検診(3)	14	木		14	日		14	水	
15	金	新入生歓迎会(3) 尿・ぎょう虫検査(一次)②	15	日	家庭の日・ファミリー読書	15	水		15	金	少年を守る日 月曜日課	15	月		15	木	
16	土	おきなわ地域教育の日	16	月		16	木		16	土	おきなわ地域教育の日	16	火		16	金	少年を守る日
17	日	家庭の日・ファミリー読書	17	火	春の遠足(訪問) 尿・ぎょう虫検査(二次)	17	金	授業参観日 保護者ゆんたく会①	17	日	家庭の日・ファミリー読書	17	水		17	土	おきなわ地域教育の日
18	月		18	水	火災避難訓練(3)	18	土		18	月	海の日(公休日)	18	木		18	日	家庭の日・ファミリー読書
19	火	令和4年度 全国学力・学習状況調査(小・中・高)	19	木		19	日		19	火		19	金	少年を守る日	19	月	敬老の日(公休日)
20	水	訪問職員との顔合わせ会(3)	20	金	心電図・胸部レントゲン検査	20	月		20	水	1学期終業式(2) ※午前日課給食無し	20	土		20	火	
21	木	三者面談・高等部進路面談 ※本校給食後下校(～4/27) 歯科検診(3)	21	土		21	火	平和集会	21	木	夏季休業期間(～8/31)	21	日		21	水	
22	金	三者面談・高等部進路面談 ※本校給食後下校	22	日		22	水		22	金		22	月	進路面談(～9/16)	22	木	授業参観日 保護者ゆんたく会②
23	土		23	月		23	木	慰霊の日(条例休日)	23	土		23	火		23	金	秋分の日(公休日)
24	日		24	火		24	金	期末テスト期間(～30日)	24	日		24	水		24	土	
25	月	三者面談・高等部進路面談 ※本校給食後下校	25	水		25	土		25	月		25	木		25	日	
26	火	三者面談・高等部進路面談 ※本校給食後下校	26	木		26	日		26	火	第28回沖特中文祭(～31日/県立博物館・美術館)	26	金		26	月	
27	水		27	金		27	月		27	水		27	土		27	火	
28	木	春の遠足(本校)	28	土		28	火		28	木	PTA親子ものづくり教室	28	日		28	水	
29	金	昭和の日(公休日)	29	日		29	水		29	金		29	月		29	木	
30	土		30	月	前期就業体験(高3:～6/10)	30	木		30	土	案1)沖縄県特別支援学校PTAスポーツ大会	30	火		30	金	
・	・		31	火		・	・		31	日		31	水		・	・	
授業日数 16 日			授業日数 19 日 年間累計 35 日			授業日数 21 日 年間累計 56 日			授業日数 13 日 年間累計 69 日			授業日数 0 日 年間累計 69 日			授業日数 20 日 年間累計 89 日		

10 月			11 月			12 月			1 月			2 月			3 月		
1	土		1	火	人権の日 読書月間 校外学習(訪問) 宿泊学習(本校小)～ 2(水)	1	木	人権の日 選挙月間 性 エイズ指導(～2日) 特別 支援学校キャリア教育・就 労支援発表会	1	日	元旦(公休日)	1	水	人権の日	1	水	人権の日
2	日		2	水		2	金		2	月		2	木		2	木	
3	月	中間テスト期間(～7日)	3	木	文化の日(公休日)	3	土		3	火		3	金	授業参観日 保護者ゆ んたく会③	3	金	校外学習(本校中)
4	火		4	金	特別支援学校技能検定 月曜日課	4	日		4	水	仕事始め 人権の日	4	土		4	土	
5	水		5	土	中頭地区中学校文化祭 (読谷村文化センター)	5	月	進路面談(高3:～1/30)	5	木		5	日		5	日	
6	木		6	日		6	火		6	金	3学期始業式(2)	6	月	学年末テスト期間(中3以 外)～10日	6	月	
7	金		7	月	後期就業体験(高2、3 年:～18日)	7	水		7	土		7	火	校外学習(訪問)	7	火	高等部午前日課(午 後:入試準備)
8	土		8	火		8	木	宿泊学習(本校小)12/8 ～9	8	日		8	水	県立高校・特別支援学 校高等部一般入学願書 受付(～9日)	8	水	県立高校・特別支援学 校高等部入学者選抜学 力検査(1日目)
9	日		9	水	修学旅行(中:2泊3日～ 11日)	9	金		9	月	成人の日(公休日)	9	木		9	木	県立高校・特別支援学 校高等部入学者選抜学 力検査(2日目)
10	月	スポーツの日(公休日)	10	木		10	土	第28回沖縄県中学校総 合文化祭(～11日・アイ ムユニバースでだこホー ル)	10	火	身体測定	10	金	(小/本校・訪問)十三祝 い 第3回 漢字検定	10	金	
11	火	修学旅行前健康相談 (中)	11	金		11	日		11	水		11	土	建国記念の日(公休日)	11	土	
12	水		12	土		12	月	音楽五重奏公演(3校 時)	12	木	学年末テスト期間:中3 (～20日)	12	日		12	日	
13	木		13	日		13	火		13	金	少年を守る日	13	月	進路面談(高1、2年:～ 3/10)	13	月	
14	金	少年を守る日 午前日課 (本校:給食あり)	14	月	弁当の日	14	水		14	土	おきなわ地域教育の日	14	火		14	火	5校時終了後一斉下校(～ 22日) 入学者選抜検査 追検査日(2日目)
15	土	おきなわ地域教育の日	15	火		15	木	校外学習(本校中)	15	日	家庭の日・ファミリー読書	15	水	県立高校・特別支援学 校高等部一般入学志願 変更申出(～16日)	15	水	5校時終了後一斉下校
16	日	第19回運動会 ※午前 日課 家庭の日・ファミ リー読書	16	水	志願前相談(1日目)	16	金	少年を守る日 児童生徒 会役員選挙、立会演説 会、投票日(3)	16	月	県立高校連携型・併設 型、推薦入学願書受付 (～17日)	16	木		16	木	高等部卒業式リハーサル 5校時終了後一斉下校 県立高校・特別支援学校 高等部合格発表
17	月	運動会振替休日	17	木	志願前相談(2日目)	17	土	おきなわ地域教育の日	17	火		17	金	中学部リエンテーション(中 学部午前日課) 少年を守る日	17	金	高等部卒業式(2、3)※午前 日課給食無し 県立高校・特 別支援学校高等部二次 募集願書受付(～20日) 少年を守る日
18	火		18	金	少年を守る日	18	日	家庭の日・ファミリー読書	18	水		18	土	おきなわ地域教育の日	18	土	おきなわ地域教育の日
19	水		19	土	おきなわ地域教育の日	19	月		19	木		19	日	家庭の日・ファミリー読書	19	日	家庭の日・ファミリー読書
20	木		20	日	家庭の日・ファミリー読書	20	火		20	金		20	月		20	月	5校時終了後一斉下校
21	金	第2回 漢字検定	21	月	薬物乱用防止教室	21	水		21	土		21	火	県立高校・特別支援学校 高等部一般入学志願取 下・再提出(～22日)	21	火	春分の日(公休日)
22	土		22	火		22	木	第3回漢字検定 申込校 内へ切	22	日		22	水		22	水	5校時終了後一斉下校 小中 卒業式リハーサル 第2回内授業 日・午前日課 県立高校・特 別支援学校高等部二次募集 志願変更申出 弁当の日
23	日	運動会予備日	23	水	勤労感謝の日(公休日)	23	金	児童生徒会新旧役員交 代式(2) 2学期終業式 (3) ※午前日課 給 食無し	23	月	三者面談(本校中)～27 日	23	木	天皇誕生日(公休日)	23	木	令和4年度小中卒業式 (2、3)※午前日課給食無 し
24	月		24	木	期末テスト期間(～30日) 特体連体育大会	24	土		24	火		24	金		24	金	令和4年度修了式・離任 式(2、3)※午前日課給食 無し
25	火		25	金		25	日		25	水	特別支援学校技能検定	25	土		25	土	
26	水	総合避難訓練(3)	26	土		26	月	冬季休業(～1/5)	26	木		26	日		26	日	
27	木		27	日		27	火		27	金		27	月		27	月	学年末休業(～3/31)
28	金		28	月		28	水		28	土		28	火		28	火	
29	土		29	火		29	木		29	日		・	・		29	水	二次募集合格発表
30	日		30	水		30	金		30	月		・	・		30	木	
31	月		・	・		31	土		31	火		・	・		31	金	
授業日数 年間累計 20 日 109 日			授業日数 年間累計 20 日 129 日			授業日数 年間累計 17 日 146 日			授業日数 年間累計 17 日 163 日			授業日数 年間累計 19 日 182 日			授業日数 年間累計 17 日 199 日		

令和4年度 森川特別支援学校年間行事予定（職員）

4 月			5 月			6 月			7 月			8 月			9 月		
1	金	新任職員着任 児童生徒引き継ぎ 安全点検の日	1	日		1	水	全体職朝 安全点検日 訪問部会 校内研修日 救急救命法研修	1	金	安全点検日	1	月	全体職朝 安全点検日 (案2) 第28回 沖特中文祭作品搬入	1	木	全体職朝 (始業式) 安全点検日
2	土		2	月	全体職朝 安全点検日	2	木	教育情報化推進講座(教頭)	2	土		2	火	認定講習(特別支援教育概論/聴覚障害者の心理・病理・生理)～3日	2	金	
3	日		3	火		3	金	運動会実行委員会②	3	日		3	水		3	土	教員候補者選考試験第2次試験(～4日)
4	月	新職員オリエンテーション9時～ 職員会議10時～ 入学式係会14時～ 本校・訪問部会15時～	4	水		4	土		4	月	全体職朝 運動会実行委員会③	4	木	校務分掌・各種委員会	4	日	
5	火	新職員歓迎会12時～ 臨時的就任教員等研修会14:00～ 校内全体清掃	5	木		5	日		5	火	本校部会 琉大DNT 教育相談員等研修会④	5	金		5	月	全体職朝
6	水	入学式会場設営9時～ 校務分掌・各種委員会10時～ 入学式/ハレ5時～	6	金	年間指導計画提出/切日 運動会実行委員会①	6	月	全体職朝	6	水	全体職朝 訪問部会 校内研修日 通知表部主事提出	6	土		6	火	本校部会
7	木	Web職朝(始業式) 児童生徒実態把握研修14:30～	7	土		7	火	本校部会	7	木	第1回学校評議員会(10:40～12:00)	7	日	リフレッシュウィーク(～13日)	7	水	全体職朝 訪問部会 校内研修日 運動会実行委員会⑥
8	金	県立学校校長研修会	8	日		8	水	全体職朝 訪問部会 校務分掌・各種委員会 教育相談員等研修会② 校内研修日	8	金	医ケア委員会②	8	月	全体職朝	8	木	
9	土		9	月	全体職朝 医ケア委員会①	9	木	入選委員会②	9	土		9	火		9	金	入選委員会③ 県立学校校長研修会
10	日		10	火	本校部会 琉大DNT	10	金		10	日	教員候補者選考試験第1次試験	10	水	学校閉庁日(～12日)	10	土	
11	月	全体職朝 研究推進委員会①	11	水	全体職朝 訪問部会 PTA総会(15:30～) 部主事連絡会終了後衛生委員会①	11	土		11	月	全体職朝 学校保健委員会①	11	木		11	日	
12	火	感染対策研修(院内新職員) 15:00～16:30	12	木		12	日		12	火		12	金		12	月	全体職朝 運動会実行委員会⑦
13	水	全体職朝 訪問部会 小学部会	13	金	第1回修学旅行検討委員会(中) 教職大学院実習①	13	月	全体職朝	13	水	全体職朝 訪問部会 校務分掌・各種委員会小学部会 地域教育相談員研修会③	13	土		13	火	研究推進委員会② 琉大DNT
14	木	入選委員会①	14	土		14	火	琉大DNT 特別支援学校部主事研修会	14	木	企画委員会	14	日		14	水	全体職朝 訪問部会 校務分掌・各種委員会 教育相談員等研修会⑤ 小学部会
15	金		15	日		15	水	全体職朝 訪問部会 沖特PT協議会総会 不審者対応研修 小学部会	15	金	県立学校教務主任研修会	15	月	全体職朝 認定講習(聴覚障害者の教育論)～16日	15	木	第3回PTA役員会
16	土		16	月	全体職朝	16	木	企画委員会	16	土		16	火		16	金	第2回修学旅行保護者説明会(中)
17	日		17	火	中学部会/高等部会 教育相談員等研修会①	17	金	第2回修学旅行検討委員会(中) ※保護者も参加	17	日		17	水	認定講習(知的)～18日	17	土	
18	月	全体職朝 個別の指導計画入力説明(Web)	18	水	全体職朝 訪問部会 校務分掌・各種委員会 小学部会	18	土		18	月		18	木	企画委員会	18	日	
19	火	中学部会/高等部会 琉大DNT	19	木	企画委員会	19	日		19	火	中学部会/高等部会 運動会実行委員会④	19	金	公開研修	19	月	
20	水	全体職朝 訪問部会 防災設備研修と緊急時の対応について	20	金	個別の指導計画と教育支援計画/切日 教職大学院実習②	20	月	全体職朝 教職大学院実習④	20	水	全体職朝(終業式) 職員会議 第1回修学旅行保護者説明会(中)	20	土	第63回全国病弱虚弱教育研究進歩研究大会(一日目)	20	火	中学部会/高等部会
21	木	企画委員会 第1回PTA役員会	21	土		21	火	中学部会/高等部会	21	木		21	日	第63回全国病弱虚弱教育研究進歩研究大会(二日目)	21	水	全体職朝 訪問部会
22	金		22	日		22	水	全体職朝 訪問部会 職員会議 教育相談員等研修会③	22	金	諸表庫提出 学級費・教材費・学部補助費/切	22	月	全体職朝 治験審査委員会 認定講習(病弱)～23日	22	木	企画委員会
23	土		23	月	全体職朝 治験審査委員会	23	木		23	土		23	火		23	金	
24	日		24	火		24	金		24	日		24	水	職員会議 校内研修日 校内就学支援委員会②14:00～ 学校説明会 認定講習(視覚障害者の心理・病理・生理)～25日	24	土	
25	月	全体職朝 治験審査委員会 情報セキュリティ強化週間	25	水	全体職朝 訪問部会 職員会議	25	土		25	月	治験審査委員会 認定講習(肢体不自由)～26日(案1) 第28回沖特中文祭作品搬入	25	木		25	日	
26	火	情報セキュリティ強化週間	26	木		26	日		26	火	進路部施設見学	26	金	認定講習(重複)～29日 キャリア教育・生徒指導・高校入試等各地区講座(中頭地区)	26	月	全体職朝 治験審査委員会
27	水	全体職朝 訪問部会 職員会議 情報セキュリティ強化週間 地域教育相談員研修会①	27	金	全体清掃 教職大学院実習③	27	月	全体職朝 治験審査委員会	27	水	入試対策委員会① 認定講習(視覚障害者の教育論)～28日 施設見学(職員)	27	土		27	火	医ケア委員会③
28	木	全体清掃 情報セキュリティ強化週間	28	土		28	火		28	木		28	日		28	水	全体職朝 訪問部会 職員会議
29	金		29	日		29	水	全体職朝 訪問部会 全体清掃	29	金	全体清掃 校内就学支援委員会①10:30～ 認定講習(LD等)～8月1日	29	月	全体職朝 緊急時シュミレーション研修	29	木	
30	土		30	月	全体職朝	30	木	第2回PTA役員会	30	土		30	火	全体清掃 運動会実行委員会⑤	30	金	全体清掃 地域教育相談員研修会④
・	・		31	火	地域教育相談員研修会②	・	・		31	日		31	水	全体職朝 新学期準備 iPadデータ削除日	・	・	
授業日数 16 日			授業日数 年間累計 19 35 日			授業日数 年間累計 21 56 日			授業日数 年間累計 13 69 日			授業日数 年間累計 0 69 日			授業日数 年間累計 20 89 日		

【定例諸会議】

- ①訪問部会（毎週水曜） ②琉大DNT（第1火曜） ③職員研修（第1水曜） ④校務分掌・各種委員会（第2水曜）
⑤企画委員会（第3木曜） ⑥職員会議（第4水曜） ⑦こども医療DNT（4・9・1月の第3金曜）

10 月			11 月			12 月			1 月			2 月			3 月		
1	土		1	火	安全点検日 本校部会	1	木	安全点検日 第2回学校評議員会(10:40～12:00)	1	日		1	水	安全点検日 全体職朝 訪問部会 校内研究発表会・県外報告会①16:00～	1	水	全体職朝 訪問部会 第3回修学旅行検討委員会(中)
2	日		2	水	全体職朝 訪問部会 校内研修日	2	金		2	月		2	木	第1回学校取扱金検討委員会(13:30～15:00) 校内研究発表会・県外報告会②16:00～	2	木	
3	月	全体職朝 運動会実行委員会⑤	3	木		3	土		3	火		3	金		3	金	評価データ入力〆切日(高3以外) 学校取扱金監査(午前:保護者、教諭)
4	火	本校部会 琉大DNT	4	金	校務分掌検討委員会①	4	日		4	水	安全点検日 訪問部会 校内研修日	4	土		4	土	
5	水	全体職朝 訪問部会 校内研修日 部主事連絡会 終了後衛生委員会② 小学部会	5	土		5	月	全体職朝 入選委員会⑥ 評価データ入力〆切日	5	木	新学期準備 校務分掌検討委員会② iPadデータ削除日	5	日		5	日	
6	木		6	日		6	火	本校部会 琉大DNT	6	金	全体職朝(始業式)	6	月	全体職朝 校務分掌検討委員会③	6	月	全体職朝 校務分掌検討委員会⑤
7	金		7	月	全体職朝	7	水	全体職朝 訪問部会 校内研修日 ミニ展示・協同病院(～13日) 通知表部主事提出	7	土		7	火	本校部会	7	火	本校部会 琉大DNT 通知表部主事提出(高3以外) 第2回学校取扱金検討委員会(13:30～15:00)
8	土		8	火	琉大DNT	8	木		8	日		8	水	全体職朝 訪問部会 校務分掌・各種委員会 ミニ展示・北部病院(～15日)	8	水	全体職朝 訪問部会
9	日		9	水	全体職朝 訪問部会 校務分掌・各種委員会	9	金		9	月		9	木	第5回PTA役員会	9	木	
10	月		10	木		10	土		10	火	本校部会 志願者受付(仮) ハートアート展準備 県立学校校長研修会	10	金	第3回学校評議員会(11:00～12:00) 入選委員会⑧	10	金	入選委員会⑨
11	火		11	金		11	日		11	水	全体職朝 訪問部会 校務分掌・各種委員会 ハートアート(～17日)	11	土		11	土	
12	水	全体職朝 訪問部会 校務分掌・各種委員会 運動会会場設営	12	土		12	月	全体職朝	12	木	琉大DNT(ハートアート展準備との調整)	12	日		12	日	
13	木	入選委員会④	13	日		13	火		13	金		13	月	全体職朝 学校保健委員会④	13	月	全体職朝
14	金	公開研修(午前日課)	14	月	全体職朝	14	水	全体職朝 訪問部会 校務分掌・各種委員会 小学部会 入学募集説明会	14	土		14	火	研究推進委員会③ 琉大DNT	14	火	中学部会／高等部会
15	土		15	火	中学部会／高等部会	15	木	企画委員会 特別支援教育研修会	15	日		15	水	全体職朝 訪問部会 全体清掃 小学部会 ミニ展示・中頭病院(～22日)	15	水	全体職朝 訪問部会 校務分掌・各種委員会 小学部会
16	日		16	水	全体職朝 訪問部会 小学部会 ミニ展示・琉大病院(～22日祭23日公休日のため)	16	金		16	月	全体職朝	16	木	企画委員会	16	木	企画委員会
17	月		17	木	企画委員会	17	土		17	火	医ケア委員会④ 入選委員会⑦ ハートアート展片付け	17	金	判定会議評価データ入力〆切日 通知表評価データ入力〆切日(高3)	17	金	
18	火	中学部会／高等部会	18	金	入選委員会⑤ 産業教育フェア(～19日) 県立学校司書教諭研修会	18	日		18	水	全体職朝 訪問部会 小学部会	18	土		18	土	
19	水	全体職朝 訪問部会 入試対策委員会② 運動会反省	19	土		19	月	全体職朝	19	木	企画委員会	19	日		19	日	
20	木	企画委員会	20	日		20	火	中学部会／高等部会	20	金	評価データ入力〆切日(中3)	20	月	全体職朝 校務分掌検討委員会④	20	月	全体職朝 全体清掃
21	金		21	月	全体職朝 学校保健委員会②	21	水	全体職朝 訪問部会 職員会議	21	土		21	火	中学部会／高等部会	21	火	
22	土		22	火	ミニ展示・こども医療(～29日※30日職員会議のため)	22	木		22	日		22	水	全体職朝 訪問部会 職員会議 地域教育相談員研修会⑥ ミニ展示・中部病院(～3月1日)	22	水	全体職朝 訪問部会 職員会議
23	日		23	水		23	金	学級費・教材費〆切 諸表簿提出(出席簿)	23	月	全体職朝 治験審査委員会	23	木		23	木	職員会議(予備)
24	月	全体職朝 治験審査委員会	24	木	第4回PTA役員会	24	土		24	火	中学部会／高等部会	24	金	(高)修学旅行検討委員会②(仮)	24	金	学級・校務分掌引き継ぎ① 諸表簿提出 職員会議(予備)
25	火	特別支援教育管理職連携研修会(校長)	25	金	全体清掃	25	日		25	水	全体職朝 訪問部会 職員会議 部主事連絡会終了後衛生委員会⑤	25	土		25	土	
26	水	全体職朝 訪問部会 職員会議	26	土		26	月	治験審査委員会	26	木	(高)修学旅行検討委員会①(仮) ミニ展示・赤十字(～2月1日)	26	日		26	日	
27	木	特別支援学校教育課程説明会	27	日		27	火	全体清掃	27	金	全体清掃	27	月	全体職朝 治験審査委員会	27	月	学級・校務分掌引き継ぎ② 治験審査委員会 校務用PC回収日
28	金	全体清掃	28	月	全体職朝 治験審査委員会	28	水	仕事納め	28	土		28	火	入選委員会⑨	28	火	学級・校務分掌引き継ぎ③ 校務用PC回収日
29	土		29	火	沖特P協議会 地域教育相談員研修会⑤	29	木		29	日		・	・		29	水	校務用PC回収日
30	日		30	水	全体職朝 訪問部会 職員会議 ミニ展示・那覇市立(～12月6日)	30	金		30	月	全体職朝	・	・		30	木	
31	月	全体職朝	・	・		31	土		31	火		・	・		31	金	
授業日数 年間累計 20 日 109 日			授業日数 年間累計 20 日 129 日			授業日数 年間累計 17 日 146 日			授業日数 年間累計 17 日 163 日			授業日数 年間累計 19 日 182 日			授業日数 年間累計 17 日 199 日		

○全体職員朝会 (毎週月・水曜 8:30～8:45) ○学部職員朝会 (毎週火・木・金曜 8:30～8:45)
○部主事連絡会 (毎週月・水曜 10:00～11:00) ○全体清掃 (最終金曜 16:00～16:50)

Ⅵ 児童生徒の実態

1 在籍数と学級編成

※訪問学級は、児童生徒の入退院（転入転出）により変動があるため、固定数ではない。

(1) 小学部

			1 年		2 年		3 年		4 年		5 年		6 年		計	
一般学級	男	女														
	児童数															
	学級数															
重複学級	男	女														
	児童数															
	学級数															
訪問学級	男	女							1			1			1	1
	児童数								1		1				2	
	学級数								1		1				1	
合計	男	女							1			1			1	1
	児童数								1		1				2	
	学級数										1				1	

(2) 中学部

			1 年		2 年		3 年		計	
一般学級	男	女	1		1		1		3	
	生徒数		1		1		1		3	
	学級数		1		1		1		3	
重複学級	男	女								
	生徒数									
	学級数									
訪問学級	男	女	1	2	1	1		1	2	4
	生徒数		3		2		1		6	
	学級数		1		1		1		2	
合計	男	女	2	2	2	1	1	1	5	4
	生徒数		4		3		2		9	
	学級数		2		1		2		5	

(3) 高等部

			1 年		2 年		3 年		計	
一般学級	男	女	4				1	2	5	2
	生徒数		4				3		7	
	学級数		1				1		2	
重複学級	男	女		2			4	1	4	3
	生徒数		2				5		7	
	学級数		1				2		3	
訪問学級	男	女								
	生徒数									
	学級数									
合計	男	女	4	2			5	3	9	5
	生徒数		6				8		14	
	学級数		2				3		5	

2 病類別児童生徒数（令和4年5月1日時点）

病類名	児童 生徒	本校児童生徒数									病院内訪問学級児童生徒数									男 計	女 計	合 計	
		小学部		中学部		高等部		小計		計	小学部		中学部		高等部		小計		計				
		男	女	男	女	男	女	男	女		男	女	男	女	男	女	男	女					
呼吸器疾患		0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
消化器疾患		0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
心臓疾患		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
精神疾患		0	0	2	0	7	2	9	2	11	0	1	0	1	0	0	0	2	2	9	4	13	
悪性新生物		0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	3	0	0	3	3	6	3	3	6	
脳疾患		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
骨・整形		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
難病		0	0	0	0	2	2	2	2	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	4	
その他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
小計		0	0	2	0	10	5	12	5	17	1	1	2	4	0	0	3	5	8	15	10	25	
合計		0		2		15		17			2		6		0		8						

3 高等部卒業生の進路状況（令和4年5月1日時点）

年度	就職	地域活動支援センター	訓練等サービス利用				福祉サービス	進学	その他	合計
			就労移行	継続A型	継続B型	自立訓練				
1						1		1	1	3
2			3					1		4
3			2					0		2

4 市町村別幼児児童生徒数

様式2

1 市町村（本人住民基本台帳）別幼児児童生徒数

教育部門	市町村	幼稚園				小学部							中学部				高等部				合計
		3歳児	4歳児	5歳児	計	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	計	1学年	2学年	3学年	計	1学年	2学年	3学年	計	
病弱	宜野湾市				0							0	1			1	2		2	4	5
	那覇市				0							0	1			1				0	1
	与那原町				0							0		1		1				0	1
	西原町				0							0	1		1	2				0	2
	糸満市				0							0				0	1			1	1
	浦添市				0							0				0	1		3	4	4
	八重瀬町				0							0				0	1			1	1
	沖縄市				0							0	1			1	1			1	2
	中城村				0							0				0			1	1	1
	豊見城市				0							0		1		1			1	1	2
	読谷村				0							0				0			1	1	1
	宜野座村				0							0		1		1				0	1
	北谷町				0					1		1			1	1				0	2
	うるま市				0				1			1				0				0	1
	計		0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2	4	3	2	9	6	0	8	14

2 市町村（保護者等住民基本台帳）別幼児児童生徒数

教育部門	市町村	幼稚園				小学部							中学部				高等部				合計
		3歳児	4歳児	5歳児	計	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	計	1学年	2学年	3学年	計	1学年	2学年	3学年	計	
病弱	那覇市				0							0				0	1			1	1
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1

Ⅶ 学校防災計画

1 基本方針

- (1) 火災等の災害から、児童生徒の生命確保のための訓練実施と施設設備の保安を図る。
- (2) 非常災害の場合、児童生徒を安全確実に避難させ、被害を最小限にとどめるために必要な措置を講ずる。
- (3) 防災意識を涵養し、災害の未然防止を図る。

2 消火及び避難の実施

- (1) 火災発生現場に居合わせた職員は、大声で火災場所を周り知らせ、初期消火につとめる。
- (2) 応援にかけつけた職員は、管理者へ火災発生場所と状況を連絡する。
- (3) 管理者は火災発生の通報を受けたら、直ちに災害対策本部を設け火災の状況等を把握し、適宜指示する（教頭⇒避難指示 事務長⇒消防へ連絡）
- (4) 火災発生の時は、職員は臨機応変に消火活動、避難誘導等につく。
- (5) 避難誘導後、担任は直ちに人員確認し、異常の有無を学部主事に報告する。
- (6) 定められた重要書類の搬出は、状況にあわせて迅速に行う。

3 防火に対する日常の措置及び避難訓練の実施

- (1) 各教室の火気取締責任者を明確にし、日頃から防火に留意して点検活動を行う。
- (2) 火気を使用する教室、部屋はその取り締まりを厳重にし、授業終了後や帰宅の際は火気の有無を確認し、必要な処置をとる。
- (3) 消防用設備の定期点検と使用方法の熟知を図る（4月 防災設備講習）
- (4) 重要物品（書類）を明示し、非常持ち出し可能な状態に整理整頓する。
（教室⇒出席補助簿 職員室⇒避難確認書 指導要録・出席簿は金庫保管）
- (5) 避難経路等に障害物を置かないように、校舎内外の整理整頓に心がける。
- (6) 東部消防本部と連携して、定期的に避難訓練並びに消火訓練を実施する。

4 長期休業中の防火管理

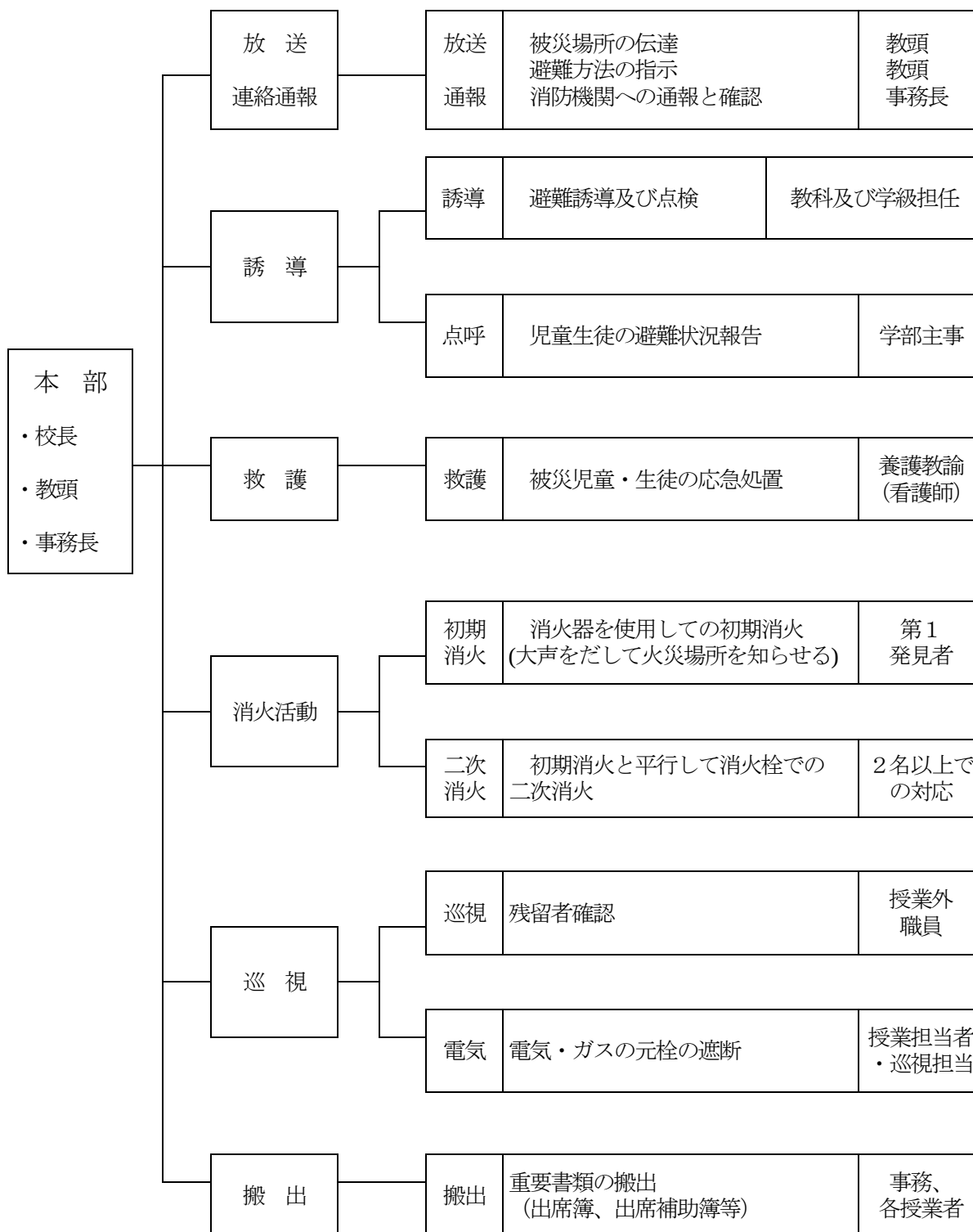
長期休業中等に緊急事態が発生した場合は、消防署へ通報するとともに、防火管理責任者及び職員に連絡する。連絡を受けた職員は、可能な限り速やかに状況に応じて臨時防火組織を構成して作業に当たる。

5 台風対策

- (1) 台風の襲来が予想される場合は、学校長の指示により、雨戸、その他補強の必要な箇所及び花木対策を講ずる。
- (2) 補強対策には全職員があたる。
- (3) 児童生徒の登校後の措置については、その時の状況に応じて学校長の指示に従う。

6 防火計画

(1) 防災対策組織



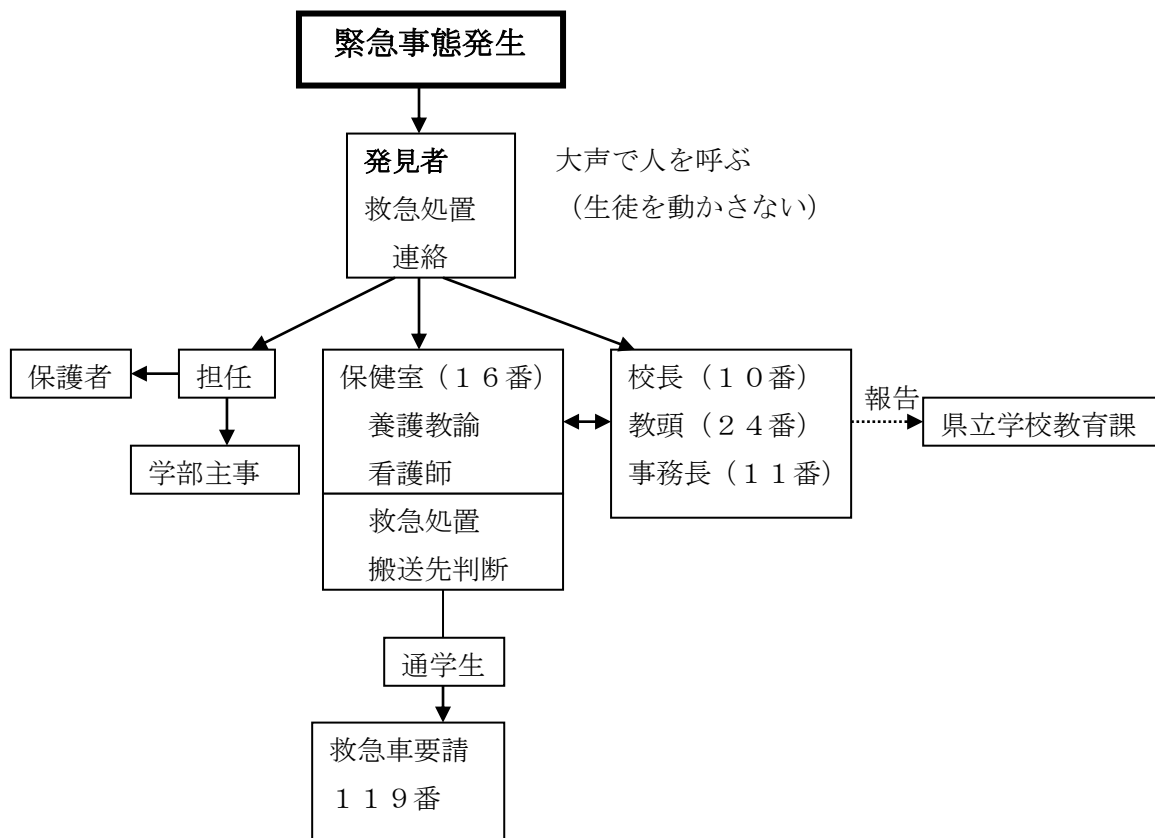
Ⅷ 緊急時体制

1 救急処置の意義と目標

- (1) 学校において発生する急を要する病状やけがに対して、児童生徒の生命尊重を第一とし、適切な救急処置を講ずる。
- (2) 学校で行う救急処置は、あくまでも救急隊や医師にわたすまでの一時的なものであり、その領域を越えたり医療の妨げになってはならない。
- (3) 迅速且つ適切な救急処置が行えるよう正しい知識と技術の研修を深める。
- (4) 緊急時の対応が速やかに機能するよう一人一人の役割分担を熟知しておく。

2 緊急時連絡体制

- (1) フローチャート



※ 緊急時搬送先については、主治医の指示もと、緊急時個別マニュアルであらかじめ決めておく。

(2) 職員の役割分担

- ① 総合的な連絡体制の確保・・・・・・・・・・校長、教頭
 - ・ 情報の収集と職員への指示
 - ・ 対外的な情報の窓口
- ② 応急処置・・・・・・・・・・養護教諭、居合わせた職員
 - ・ 応急手当と処置の判断（病棟医師・看護師の要請や学校看護師の応援の判断、搬送先の判断）
 - ・ 傷病児童生徒の搬送の付き添い。
 - ・ 養護教諭不在時は居合わせた職員が対応し、後日養護教諭と連絡を取る。
- ③ 保護者への連絡・・・・・・・・・・学級担任
- ④ 児童生徒の管理指導・校長の指示による緊急業務・・・教務主任、各学部主事

(3) 事後処置

- ① 県立学校教育課への報告・・・・・・・・・・校長
- ② 事故報告書の作成と主治医への報告・・・・・・・・担任、養護教諭
- ③ 災害給付請求手続き・・・・・・・・・・養護教諭

3 緊急時の心得

- (1) 緊急事態が発生した場合は、迅速な応急措置と連絡体制に最大の努力をする。
 - ① 居合わせた職員はあわてることなく自信ある態度と敏速な行動をとる。
 - ② 特に学級担任は、誰に、どのような内容で連絡するか熟知しておく。
- (2) 常に病状の変化や緊急時の様子に配慮し、異変の早期発見に努める。
- (3) 保護者への連絡は、必要以上の心理的負担を与えないように配慮する。

4 本校児童生徒の予想される緊急事態

- (1) 痰のつまり
 - ① 痰が多く、切れが悪いとき
 - ② 気管カニューレの閉塞による窒息
- (2) 吸引時の気管切開部からの出血
- (3) 車イス・電動車イスの操作ミスによる落下事故
- (4) てんかんの重責発作
- (5) その他、医師の指示による個別の緊急時の状態

5 医療的ケアについて

医療的ケア（吸引・経管栄養・導尿・その他の医療的な生活援助行為）の対象者は、保護者から要請があった児童生徒のうち主治医の指示に基づき、医療的ケア実施委員会の協議を経て、校長が学校で実施可能と認めたものとする。

医療的ケアは看護師が実施する。実施場所は原則として教室とする。

Ⅸ 本校関係病院一覧表

病 院 名	所 在 地	郵便番号	電話番号	備 考
県立北部病院	名護市大中 2-12-3	905-8512	0980-52-2719 (319)	3 F 訪問学級
県立中部病院	うるま市宮里 281	904-2293	098-973-4111 (3629)	6 F 訪問学級
社会医療法人 敬愛会 中 頭 病 院	沖縄市登川 610	904-2195	098-939-1300	4 F 訪問学級
琉球大学病院	西原町字上原 207	903-0125	098-895-3331 (3618)	小児科 6 F訪問学級
那覇市立病院	那覇市古島 2-31-1	902-0061	098-884-5111 (259)	3 F 訪問学級
県立 南部医療センター・ こども医療センター	南風原町新川 118-1	901-1193	098-888-0123 (1427)	4 F・5 F 訪問学級
沖縄赤十字病院	那覇市与儀 1-3-1	902-8588	098-853-3134 (1141)	小児科 4 F
沖縄協同病院	那覇市古波蔵 4-10-55	900-8558	098-853-1200	小児科 3 F
独立行政法人 国立病院機構 沖縄病院	宜野湾市我如古 3-20-14	901-2214	098-898-2121	西病棟 1 F

令和4年度 学校要覧

発行日 令和4年 5月31日

発 行 沖縄県立森川特別支援学校

〒903-0128

沖縄県中頭郡西原町字森川151番地

TEL 098-945-3008

FAX 098-946-5567
